平成 25 年度

鴨川市まちづくりアンケート

調査結果報告書

平成 26 年 3 月

鴨 川 市

目　　次

１．アンケート調査の概要 1
（１）調査の目的 1
（２）実施内容 1
（３）回収結果 1
（４）集計等に関する留意事項 1

２．調査結果 3
（１）回答者の属性 3
（２）居住状況と定住意向について 6
（３）市政への参加と行財政運営について 15
（４）市の魅力と将来イメージについて 27
（５）市の取り組みについて 36
（６）日常生活圏について 51
（７）地域の住み心地について 58
（８）今後の土地利用や施設整備のあり方について 67
（９）住まいの周辺の状況について 81
(10) 土地利用・建築形態の規制誘導の方向性について 86
(11) 自由意見 87

３．資料 88
（１）自由意見（個別） 88
（２）各設問の「その他」の意見 103
（３）市民アンケート調査票 111

１．アンケート調査の概要

（１）調査の目的

○　平成 18 年に策定された総合計画が平成 27 年度に満了を迎えることから、平成 28 年度を初年度とする次期総合計画を策定するとともに、平成 16 年に策定された都市計画マスタープランについても見直しを進めていくにあたり、社会経済状況の変化、地方分権の進展、東日本大震災の発生など、本市を取り巻く環境の変化を踏まえた市民の意識調査を行い、市民のまちづくりに対する意識やニーズを把握・集約し、次期総合計画及び都市計画マスタープランに反映させるための基礎資料とすることを目的としています。

（２）実施内容

○　調査地域：鴨川市全域
○　調査対象：鴨川市在住の 16 歳以上の市民 3,000 人
○　抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
○　調査方法：郵送による配布・回収
○　調査期間：平成 25 年 11 月 7 日～12 月 9 日
（12 月 27 日までの回収票を有効として集計）

（３）回収結果

○　配　布　数：3,000 票
○　回　収　数：1,225 票
○　回　収　率：40.8%　※1,225（回収数）/3,000（配布数）
○　有効配布数：2,974 票　※転出５票・宛先不明 21 票を除いた票数
○　有効回収数：1,218 票　※白票７票を除いた票数
○　有効回収率：41.0%　※1,218（有効回収数）/2,974（有効配布数）

（４）集計等に関する留意事項

○　設問に指定した回答数を超えて回答があった場合は、無回答扱いとしました。
○　集計結果は、比率を全て百分率（%）で表し、小数点第２位以下を四捨五入して表示しています。そのため、比率の合計が 100.0%とならない場合があります。
○　集計結果の表やグラフでは、スペースの都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合があります。

○　年齢や居住地区等のクロス集計で、上位３つまたは下位３つを示している集計結果については、「その他」及び「無回答」を除いた順位となります。

○　満足度や重要度については、評価点（回答の点数化）により評価を行っています。評価点の算出方法は、以下のとおりです。

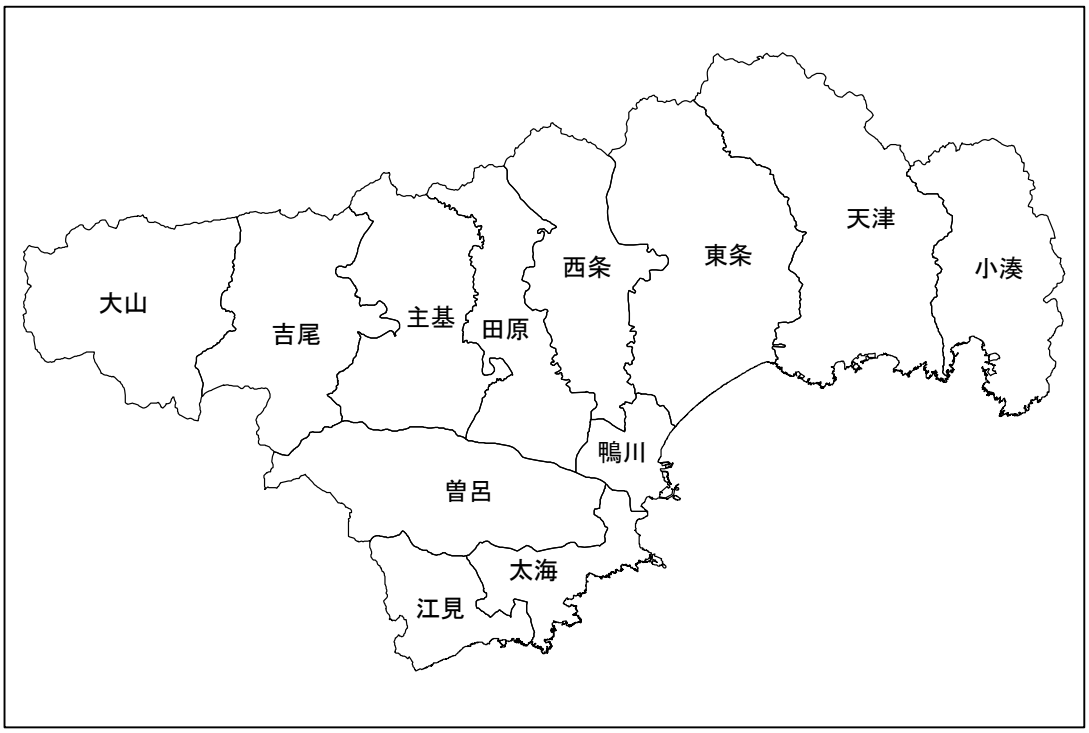
【評価点（満足度･重要度）の計算方法】

$$評価点＝\frac{（２点×満足の票数＋１点×やや満足の票数＋０点×どちらともいえない－１点×やや不満の票数－２点×不満の票数）}{回答票数の合計（無回答を除く）}$$

満足（とても重要）：＋２点	やや満足（やや重要）：＋１点
どちらともいえない：＋０点	
不満（重要でない）：－２点	やや不満（あまり重要でない）：－１点

評価点がプラスのものは、総じて満足度(重要度)が高いと考えられ、マイナスのものは、満足度(重要度)が低いと考えることが出来ます。

■居住地区図（参考）

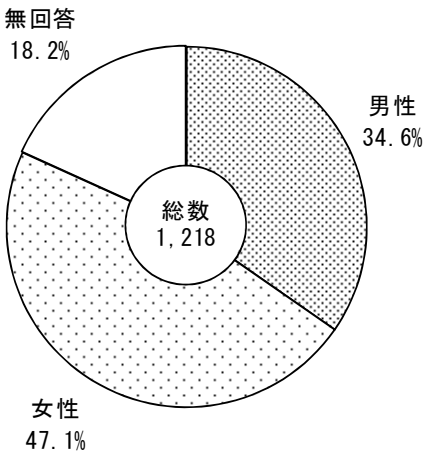


２．調査結果

（１）回答者の属性

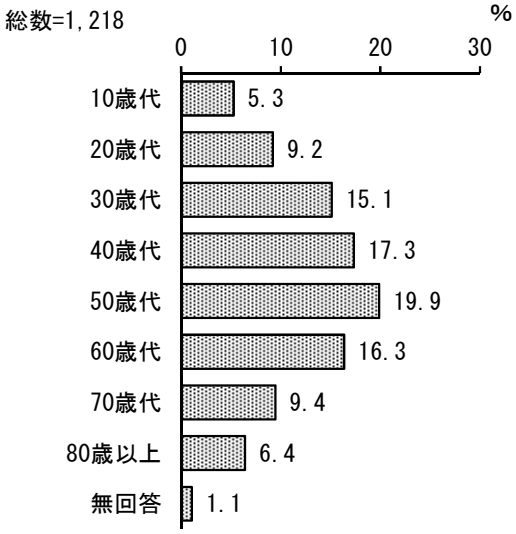
①性別

○　「男性」が 34.6%、「女性」が 47.1%で、女性の回答者が多くなっています。



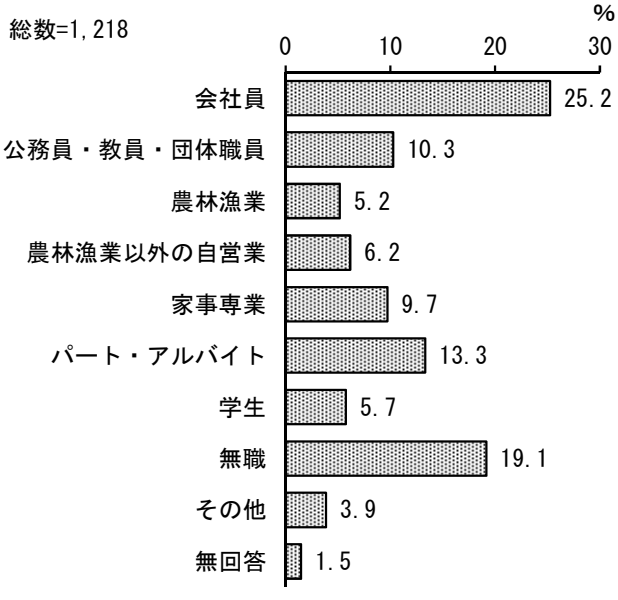
②年齢

○　「50 歳代」が 19.9%で最も高く、次いで「40 歳代」の 17.3%、「60 歳代」の 16.3%の順となっています。



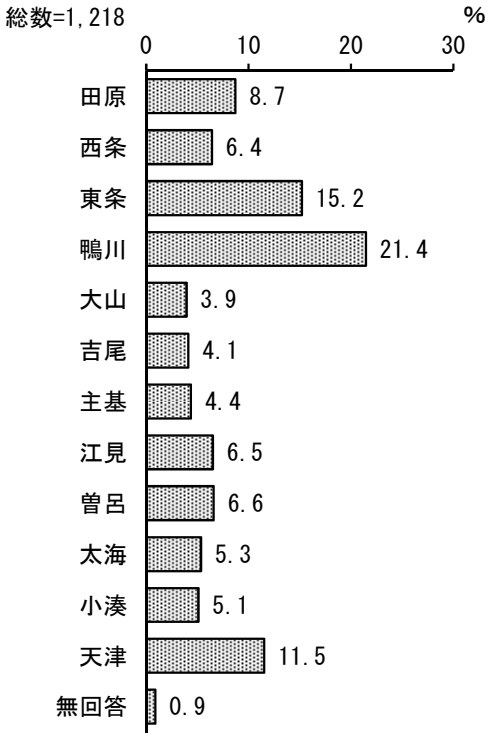
③職業

○　「会社員」が 25.2%で最も高く、次いで「無職」の 19.1%、「パート・アルバイト」の 13.3%の順となっています。



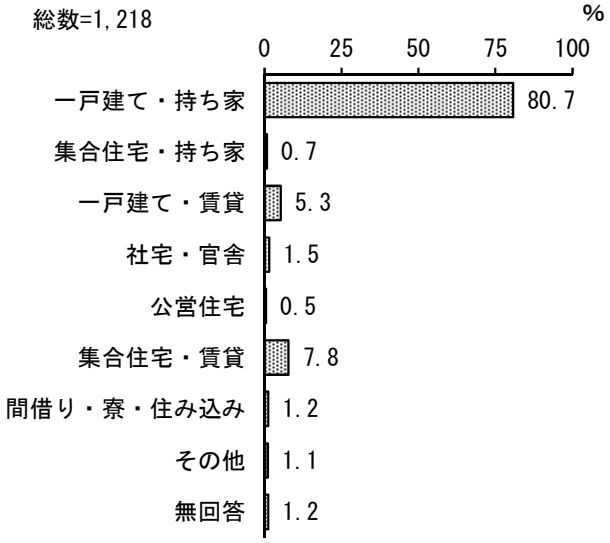
④居住地区

○　「鴨川地区」が 21.4%で最も高く、次いで「東条地区」の 15.2%、「天津地区」の 11.5%の順となっています。



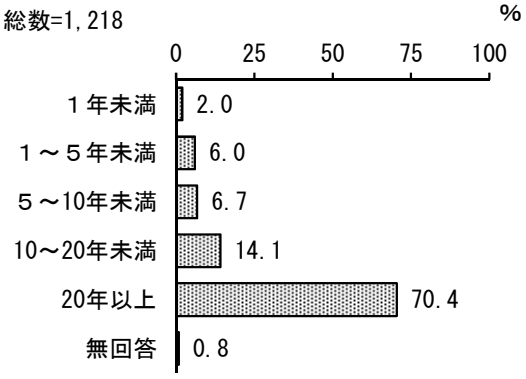
⑤居住形態

○　「一戸建て・持ち家」が 80.7%で大半を占めており、次いで「集合住宅・賃貸」の 7.8%、「一戸建て・賃貸」の 5.3%の順となっています。



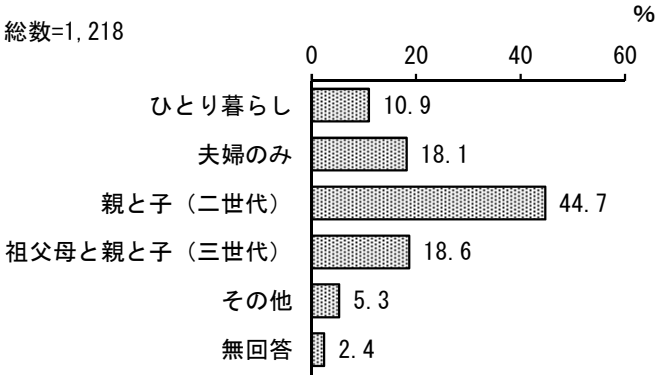
⑥居住年数

○　「20 年以上」が 70.4%で大半を占めており、次いで「10～20 年未満」の 14.1%、「５～10 年未満」の 6.7%の順となっています。



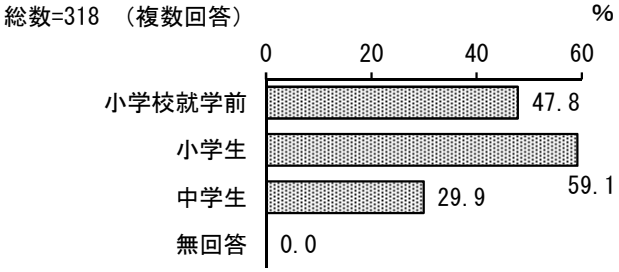
⑦家族構成

○　「親と子（二世代)」が 44.7%で最も高く、次いで「祖父母と親と子（三世代)」の 18.6%、「夫婦のみ」の 18.1%順となっています。



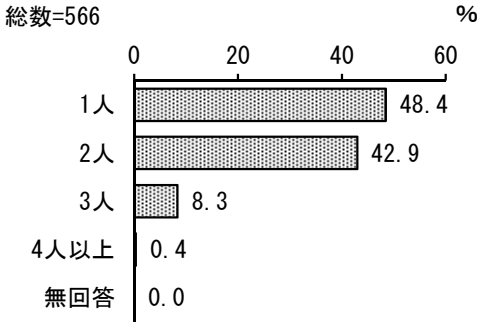
a.中学生以下の子どもの有無

○　中学生以下の子どものいる家族は、318 世帯（全体の 26.1%）で、そのうち小学校就学前の子どもがいる家族は 47.8%、小学生の子どもがいる家族は 59.1%、中学生の子どもがいる家族は 29.9%となっています。



b.高齢者（65 歳以上）の人数

○　高齢者（65 歳以上）のいる家族は、566 世帯（全体の 46.5%）で、そのうち高齢者１人の家族は 48.4%、２人の家族は 42.9%、３人の家族は 8.3%、４人以上の家族は 0.4%となっています。



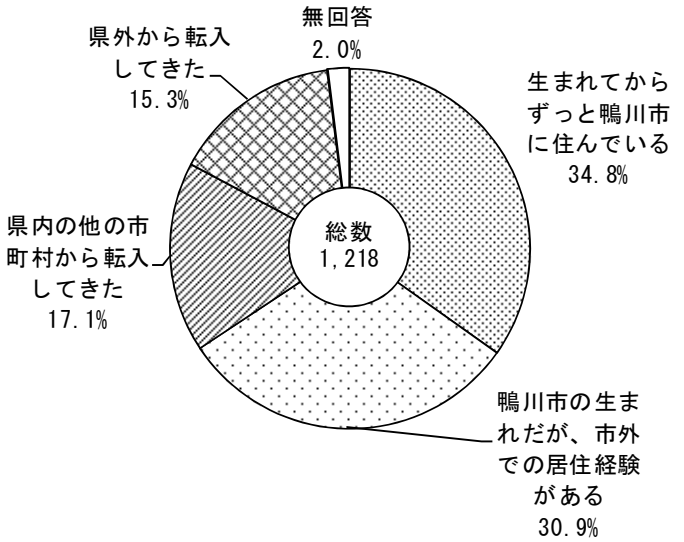
（２）居住状況と定住意向について

１）居住状況

問2　居住状況についてお聞きします。あなたは、どのようにして鴨川市に住むようになりましたか。当てはまるものを１つ選んで、番号に○印を付けてください。

○　鴨川市に住むようになった理由は、「生まれてからずっと鴨川市に住んでいる」が 34.8%で最も高くなっています。

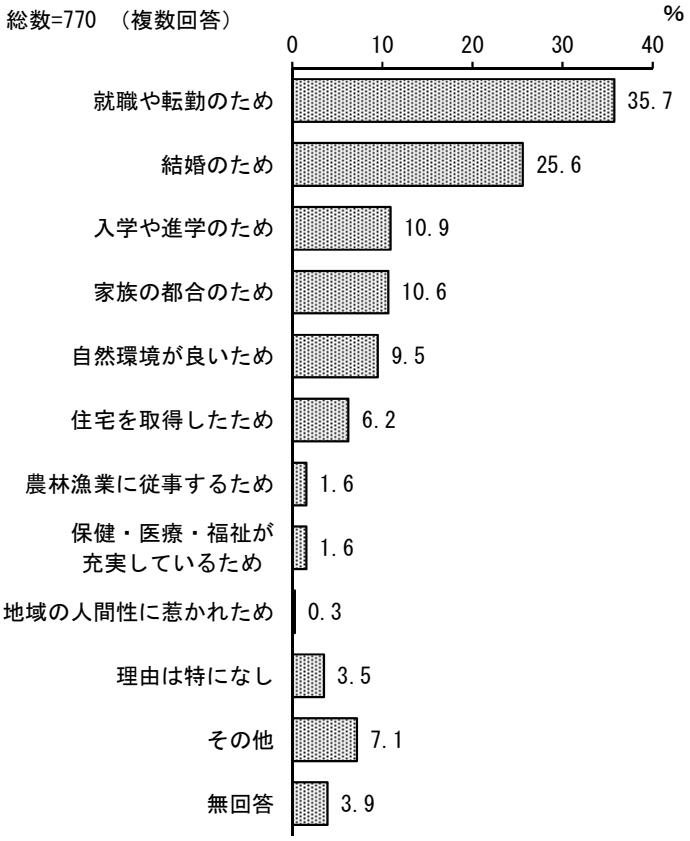
○　一方、「県内の他の市町村から転入してきた」（17.1%）、「県外から転入してきた」（15.3%）を加えた、鴨川市に転入してきた回答者の合計は、32.4%となっています。



問2-1　問2で「2」から「4」のいずれかに回答した方に、お聞きします。鴨川市に移り住んだ主な理由は何ですか。当てはまるものを2つまで選んで、番号に○印を付けてください。

○　この設問の回答者は、問２より「県内の他の市町村から転入してきた」（17.1%）、「県外から転入してきた」（15.3%）に、「鴨川市の生まれだが、市外での居住経験がある」（30.9%）を加えた、770 件（63.3%）を対象としています。

○　鴨川市に移り住んだ主な理由は、「就職や転勤のため」が 35.7%と最も高く、次いで「結婚のため」の 25.6%となっています。



■居住状況別の移り住んだ理由（上位３つ）

○　居住状況別にみると、すべての居住状況で「就職や転勤のため」及び「結婚のため」が上位となっています。

○　また、県外から転入してきた（県外から転入）では、「自然環境が良いため」が３位となっており、比率も 22.6％と相対的に高くなっています。

	１位		２位		３位	
Uターン	・就職や転勤のため	(45.5%)	・入学や進学のため	(16.5%)	・結婚のため	(12.0%)
県内から転入	・結婚のため	(47.6%)	・就職や転勤のため	(21.2%)	・家族の都合のため	(10.1%)
県外から転入	・就職や転勤のため	(32.3%)	・結婚のため	(28.5%)	・自然環境が良いため	(22.6%)

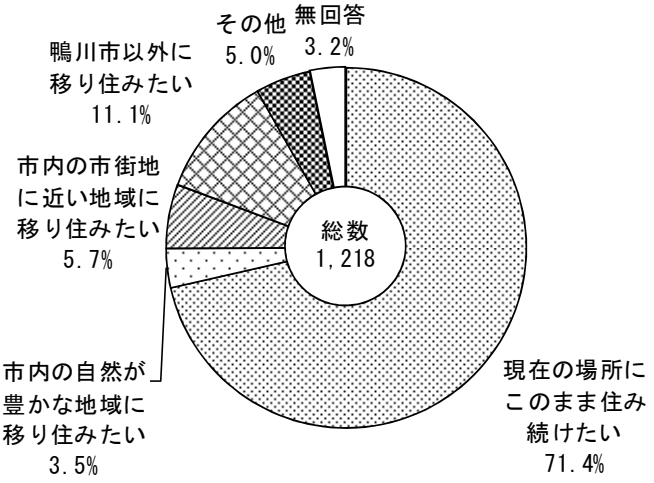
２）定住意向

問3　将来の定住意向について、お聞きします。お考えに近いものを1つ選んで、番号に○印を付けてください。

○　将来の定住意向は、「現在の場所にこのまま住み続けたい」が71.4%で大半を占めています。

○　また、「市内の自然が豊かな地域に移り住みたい」（3.5%）と「市内の市街地に近い地域に移り住みたい」（5.7%）を加えた、市内の別の地域に移り住みたい回答者の合計は、9.2%となっています。

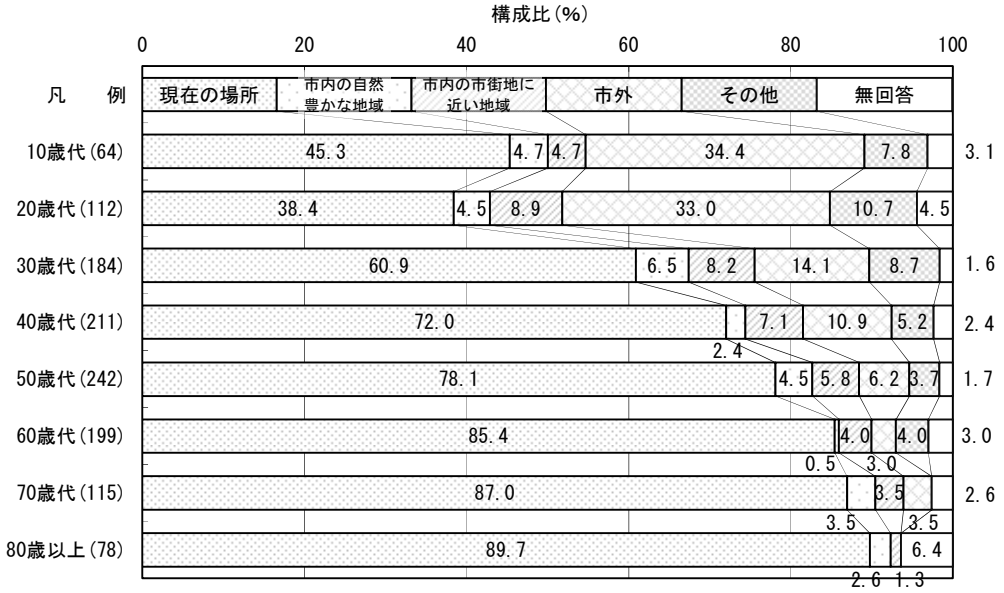
○　一方、市外への転居を希望する「鴨川市以外に移り住みたい」は11.1%となっています。



■年齢階層別の定住意向

○　年齢階層別にみると、概ね年代が下がるにつれて、「現在の場所にこのまま住み続けたい（グラフ中の「現在の場所」）」が低く、また「鴨川市以外に移り住みたい（グラフ中の「市外」）」が高くなっており、若い世代の転出意向が顕著となっています。

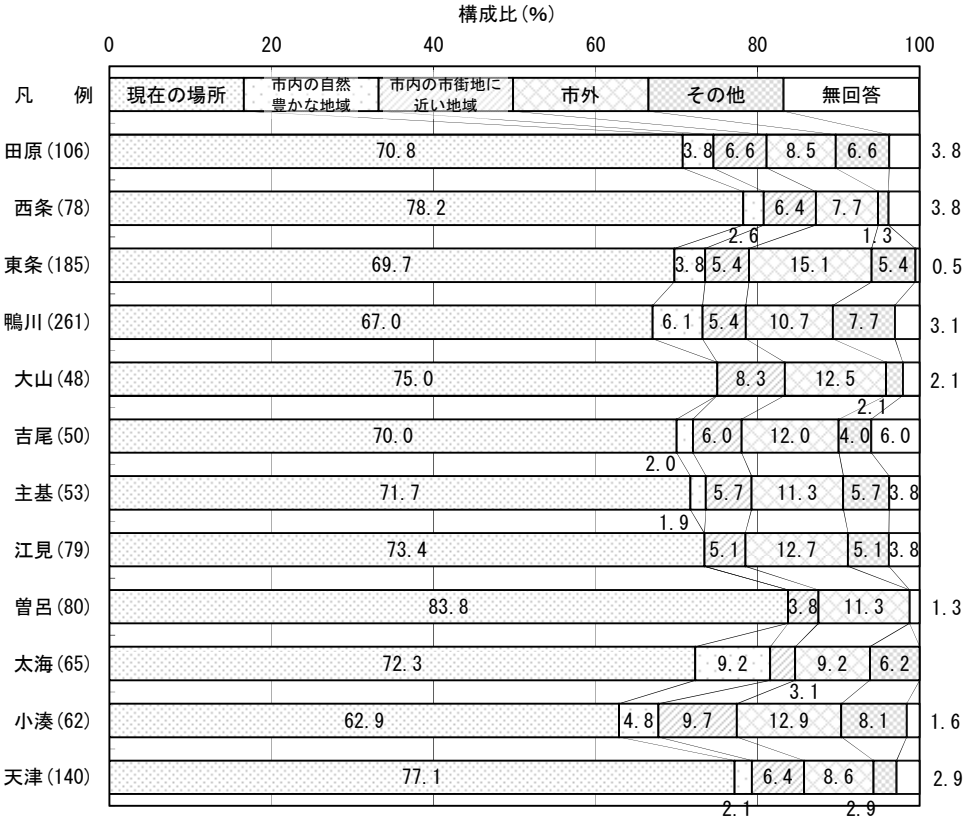
○　特に、10 歳代と 20 歳代では、３割以上の方が「鴨川市以外に移り住みたい」に回答しています。



■居住地区別の定住意向

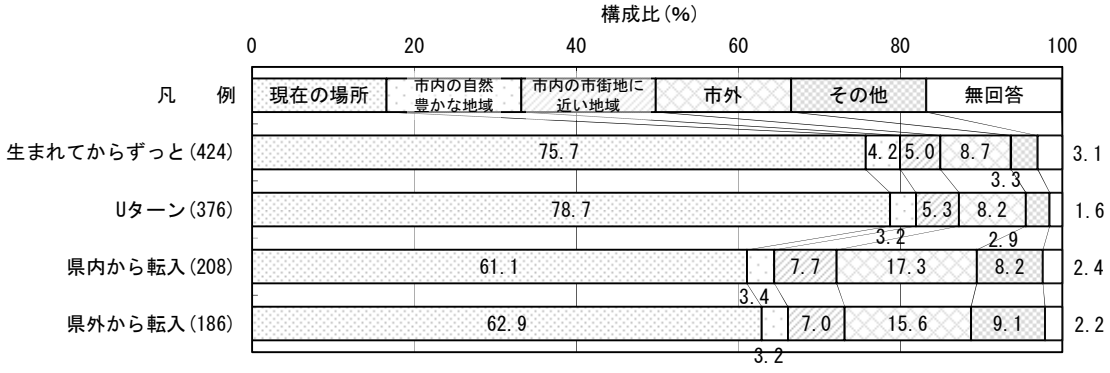
○　居住地区別にみると、市内の別の地域に移り住みたいを含めた、鴨川市での定住を希望する回答は、すべての地区で７割以上となっています。

○　「市内の市街地に近い地域に移り住みたい（グラフ中の「市内の市街地に近い地域」）」が、小湊地区（9.7%）や大山地区（8.3%）で相対的に高くなっています。



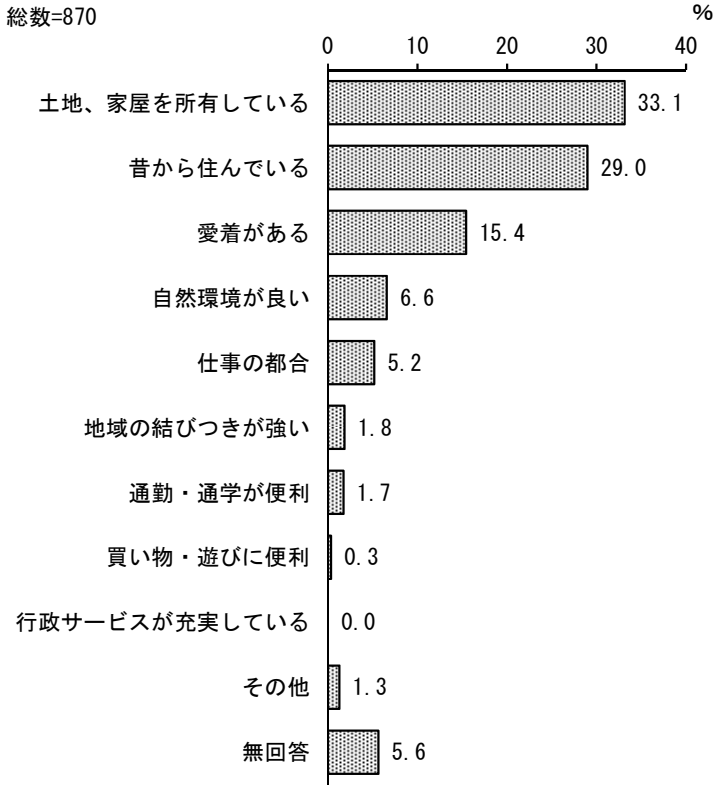
■居住状況別の定住意向

○　居住状況別にみると、鴨川市出身者（「生まれてからずっと鴨川市に住んでいる（生まれてからずっと）」、「鴨川市の生まれだが、市外での居住経験がある（Uターン）」）については、市外への転居意向が５%程度と定住意向が高い傾向にあるが、転入者（「県内の他の市町村から転入してきた（県内から転入）」、「県外から転入してきた（県外から転入）」）については、15～18%を占めるなど、転居意向が比較的高い傾向となっています。



問3-1　問3で「1」と回答した方に、お聞きします。現在の場所にこのまま住み続けたいと思う理由について、当てはまるものを1つ選んで、番号に○印を付けてください。

○　現在の場所にこのまま住み続けたい理由は、「土地、家屋を所有している」が 33.1%と最も高く、次いで「昔から住んでいる」の 29.0%、「愛着がある」の 15.4%の順となっています。



■年齢階層別の定住理由（上位３つ）

○　年齢階層別にみると、40 歳代以上では「土地、家屋を所有している」と「昔から住んでいる」が１位または２位のいずれかとなっています。

○　一方、30 歳代以下では「昔から住んでいる」とともに、「愛着がある」が１位または２位のいずれかとなっています。

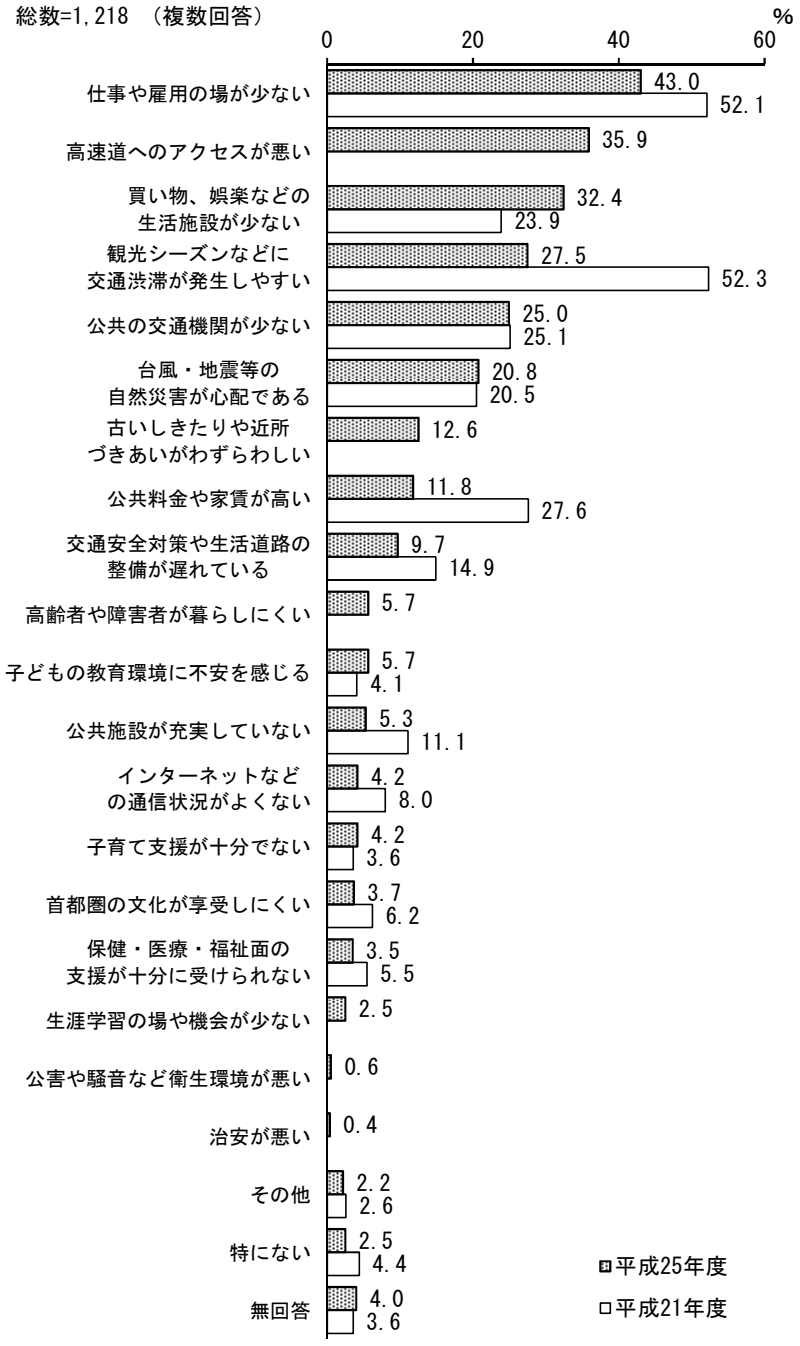
	１位		２位		３位	
10歳代	・愛着がある	(37.9%)	・昔から住んでいる	(27.6%)	・自然環境が良い	(13.8%)
20歳代	・昔から住んでいる	(46.5%)	・愛着がある	(27.9%)	・土地、家屋を所有している	(9.3%)
30歳代	・愛着がある ・昔から住んでいる	(24.1%)	－	－	・土地、家屋を所有している	(19.6%)
40歳代	・土地、家屋を所有している	(33.6%)	・昔から住んでいる	(25.7%)	・愛着がある	(16.4%)
50歳代	・土地、家屋を所有している	(42.3%)	・昔から住んでいる	(23.3%)	・愛着がある	(10.6%)
60歳代	・土地、家屋を所有している	(41.8%)	・昔から住んでいる	(25.3%)	・愛着がある	(14.7%)
70歳代	・昔から住んでいる	(39.0%)	・土地、家屋を所有している	(38.0%)	・愛着がある	(7.0%)
80歳以上	・昔から住んでいる	(44.3%)	・土地、家屋を所有している	(25.7%)	・愛着がある ・自然環境が良い	(10.0%)

３）不便に感じていることや困っていること

問4　あなたは、鴨川市で生活していて、不便に感じていることや困っていることはありますか。当てはまるものを3つまで選んで、番号に○印を付けてください。

○　生活していて、不便に感じていることや困っていることは、「仕事や雇用の場が少ない」が 43.0%と最も高く、次いで「高速道へのアクセスが悪い」の 35.9%、「買い物、娯楽などの生活施設が少ない」の 32.4%の順となっています。

○　平成 21 年度調査と比較すると、「観光シーズンなどに交通渋滞が発生しやすい」や「公共料金や家賃が高い」の比率が低くなっている一方で、「買い物、娯楽などの生活施設が少ない」の比率が高くなっています。



■性別の不便に感じていることや困っていること（上位３つ）

○　性別にみると、男女ともに「仕事や雇用の場が少ない」が１位となっています。２位は、男性が「高速道へのアクセスが悪い」、女性が「買い物、娯楽などの生活施設が少ない」となっています。

○　また、男性では「仕事や雇用の場が少ない」が 50.2%と高くなっており、半数以上の方がこれに回答しています。

	１位		２位		３位	
男性	・仕事や雇用の場が少ない	(50.2%)	・高速道へのアクセスが悪い	(48.1%)	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(29.4%)
女性	・仕事や雇用の場が少ない	(38.7%)	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(36.6%)	・高速道へのアクセスが悪い	(30.0%)

■年齢階層別の不便に感じていることや困っていること（上位３つ）

○　年齢階層別にみると､30 歳代以下では｢買い物､娯楽などの生活施設が少ない｣､40 歳代から 70 歳代では「仕事や雇用の場が少ない」､80 歳以上では「台風・地震等の自然災害が心配である」が１位となっており、年齢層の違いによる傾向がうかがわれます。

○　また、10 歳代では「買い物、娯楽などの生活施設が少ない」が 67.2%、「公共の交通機関が少ない」が 62.5%と高くなっており、６割以上の方がこれらに回答しています。

	１位		２位		３位	
10歳代	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(67.2%)	・公共の交通機関が少ない	(62.5%)	・仕事や雇用の場が少ない	(39.1%)
20歳代	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(56.3%)	・仕事や雇用の場が少ない	(39.3%)	・高速道へのアクセスが悪い	(37.5%)
30歳代	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(48.4%)	・高速道へのアクセスが悪い	(44.0%)	・仕事や雇用の場が少ない	(31.0%)
40歳代	・仕事や雇用の場が少ない	(48.8%)	・高速道へのアクセスが悪い	(47.9%)	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(36.0%)
50歳代	・仕事や雇用の場が少ない	(51.7%)	・高速道へのアクセスが悪い	(35.5%)	・観光シーズンなどに交通渋滞が発生しやすい	(32.2%)
60歳代	・仕事や雇用の場が少ない	(54.8%)	・高速道へのアクセスが悪い	(35.2%)	・観光シーズンなどに交通渋滞が発生しやすい	(33.2%)
70歳代	・仕事や雇用の場が少ない	(33.9%)	・台風・地震等の自然災害が心配である	(33.0%)	・観光シーズンなどに交通渋滞が発生しやすい	(27.8%)
80歳以上	・台風・地震等の自然災害が心配である	(37.2%)	・公共の交通機関が少ない	(29.5%)	・観光シーズンなどに交通渋滞が発生しやすい	(25.6%)

■居住地区別の不便に感じていることや困っていること（上位３つ）

○　居住地区別にみると、小湊地区を除いた地区では「仕事や雇用の場が少ない」が１位となっています。一方、小湊地区では「買い物、娯楽などの生活施設が少ない」、田原地区では「高速道へのアクセスが悪い」も１位となっています。

○　また、大山地区と吉尾地区を除いた地区では「高速道へのアクセスが悪い」が上位となっています。

	１位		２位		３位	
田原	・高速道へのアクセスが悪い ・仕事や雇用の場が少ない	(45.3%)	－	－	・観光シーズンなどに交通渋滞が発生しやすい	(38.7%)
西条	・仕事や雇用の場が少ない	(43.6%)	・観光シーズンなどに交通渋滞が発生しやすい	(41.0%)	・高速道へのアクセスが悪い	(38.5%)
東条	・仕事や雇用の場が少ない	(43.2%)	・高速道へのアクセスが悪い	(41.6%)	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(38.4%)
鴨川	・仕事や雇用の場が少ない	(37.9%)	・高速道へのアクセスが悪い	(36.8%)	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(34.5%)
大山	・仕事や雇用の場が少ない	(47.9%)	・公共の交通機関が少ない	(39.6%)	・観光シーズンなどに交通渋滞が発生しやすい	(27.1%)
吉尾	・仕事や雇用の場が少ない	(52.0%)	・公共の交通機関が少ない	(34.0%)	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(28.0%)
主基	・仕事や雇用の場が少ない	(50.9%)	・高速道へのアクセスが悪い	(45.3%)	・公共の交通機関が少ない	(30.2%)
江見	・仕事や雇用の場が少ない	(39.2%)	・高速道へのアクセスが悪い	(36.7%)	・公共の交通機関が少ない	(31.6%)
曽呂	・仕事や雇用の場が少ない	(46.3%)	・高速道へのアクセスが悪い	(31.3%)	・観光シーズンなどに交通渋滞が発生しやすい	(30.0%)
太海	・仕事や雇用の場が少ない	(49.2%)	・高速道へのアクセスが悪い	(35.4%)	・公共の交通機関が少ない	(32.3%)
小湊	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(45.2%)	・高速道へのアクセスが悪い	(29.0%)	・古いしきたりや近所づきあいがわずらわしい	(27.4%)
天津	・仕事や雇用の場が少ない	(48.6%)	・高速道へのアクセスが悪い ・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(34.3%)	－	－

■定住意向別の不便に感じていることや困っていること（上位３つ）

○　定住意向別にみると、市内の市街地に近い地域に移り住みたいや鴨川市以外に移り住みたいと回答した方は、「買い物、娯楽などの生活施設が少ない」が１位、「仕事や雇用の場が少ない」が２位となっており、これらが移り住みたい要因であることがうかがわれます。

	１位		２位		３位	
現在の場所にこのまま住み続けたい	・仕事や雇用の場が少ない	(45.6%)	・高速道へのアクセスが悪い	(39.0%)	・観光シーズンなどに交通渋滞が発生しやすい	(29.5%)
市内の自然が豊かな地域に移り住みたい	・仕事や雇用の場が少ない	(41.9%)	・観光シーズンなどに交通渋滞が発生しやすい	(39.5%)	・高速道へのアクセスが悪い	(34.9%)
市内の市街地に近い地域に移り住みたい	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(40.0%)	・仕事や雇用の場が少ない	(38.6%)	・高速道へのアクセスが悪い	(31.4%)
鴨川市以外に移り住みたい	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(44.4%)	・仕事や雇用の場が少ない	(35.6%)	・公共の交通機関が少ない	(31.9%)

■家族構成別の不便に感じていることや困っていること（上位３つ）

○　家族構成別にみると、ひとり暮らしを除いた家族構成では「仕事や雇用の場が少ない」が１位となっています。一方、ひとり暮らしでは「買い物、娯楽などの生活施設が少ない」が１位となっています。

○　また、祖父母と親と子（三世代）では「仕事や雇用の場が少ない」が 54.6%と高くなっており、半数以上の方がこれに回答しています。

○　中学生以下の子どもがいる家族では「高速道へのアクセスが悪い」、高齢者（65 歳以上）がいる家族では「仕事や雇用の場が少ない」が１位となっています。また、高齢者（65 歳以上）がいる家族では、「高速道へのアクセスが悪い」が 51.6%と高くなっており、半数以上の方がこれに回答しています。

	１位		２位		３位	
ひとり暮らし	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(30.8%)	・高速道へのアクセスが悪い ・仕事や雇用の場が少ない	(30.1%)	－	－
夫婦のみ	・仕事や雇用の場が少ない	(37.6%)	・高速道へのアクセスが悪い	(37.1%)	・観光シーズンなどに交通渋滞が発生しやすい	(29.9%)
親と子（二世代）	・仕事や雇用の場が少ない	(44.3%)	・高速道へのアクセスが悪い	(36.8%)	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(33.8%)
祖父母と親と子（三世代）	・仕事や雇用の場が少ない	(54.6%)	・高速道へのアクセスが悪い	(37.9%)	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(32.6%)

※中学生以下の子どもの有無別の不便に感じていることや困っていること（上位３つ）

	１位		２位		３位	
子どもがいる家族	・高速道へのアクセスが悪い	(45.9%)	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(41.2%)	・仕事や雇用の場が少ない	(40.3%)
子どもがいない家族	・仕事や雇用の場が少ない	(44.0%)	・高速道へのアクセスが悪い	(32.3%)	・観光シーズンなどに交通渋滞が発生しやすい	(29.4%)

※高齢者（65 歳以上）の有無別の不便に感じていることや困っていること（上位３つ）

	１位		２位		３位	
65歳以上がいる家族	・仕事や雇用の場が少ない	(51.6%)	・高速道へのアクセスが悪い	(38.3%)	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(32.9%)
65歳以上がいない家族	・仕事や雇用の場が少ない	(35.6%)	・高速道へのアクセスが悪い	(33.7%)	・買い物、娯楽などの生活施設が少ない	(32.1%)

（３）市政への参加と行財政運営について

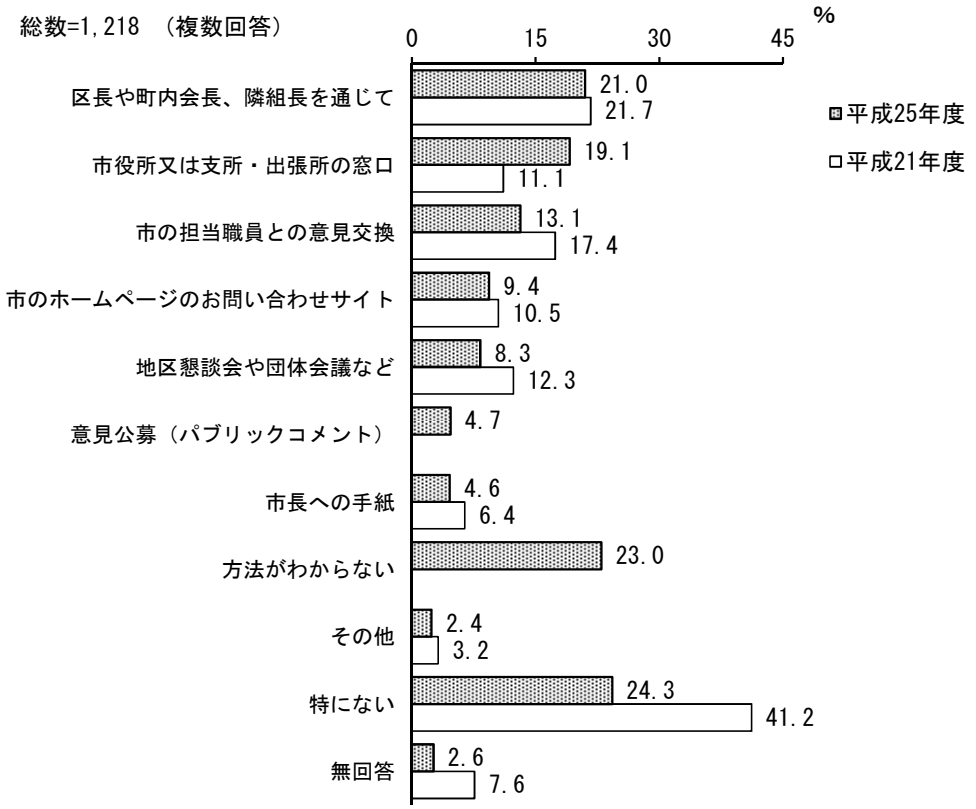
１）市政に対する意見の伝え方

問５　あなたは、市政に対する意見をどのような方法で市に伝えていますか。（伝えたいですか。）当てはまるものをすべて選んで、番号に○印を付けてください。

○　市政に対する意見については、「特にない」が 24.3％となっています。また、「方法がわからない」が 23.0％となっています。

○　意見の伝え方としては、「区長や町内会長、隣組長を通じて」が 21.0％と最も高く、次いで「市役所又は支所・出張所の窓口」の 19.1％の順となっています。

○　平成 21 年度調査と比較すると、「特にない」の比率が低くなっている一方で、「市役所又は支所・出張所の窓口」の比率が高くなっています



■年齢階層別の市政に対する意見の伝え方（上位３つ）

○　年齢階層別にみると、40 歳代以下では「方法がわからない」、50 歳代以上では「区長や町内会長、隣組長を通じて」が１位となっており、年齢層の違いによる傾向がうかがわれます。

○　また、50 歳代以上では「区長や町内会長、隣組長を通じて」が１位、「市役所又は支所・出張所の窓口」が２位、「方法がわからない」が３位と、同様の傾向となっています。

	１位		２位		３位	
10歳代	・方法がわからない	(35.9%)	・意見公募（パブリックコメント）	(6.3%)	・市役所又は支所・出張所の窓口	(4.7%)
20歳代	・方法がわからない	(33.9%)	・市のホームページのお問い合わせサイト	(23.2%)	・市役所又は支所・出張所の窓口 ・意見公募（パブリックコメント）	(8.0%)
30歳代	・方法がわからない	(29.3%)	・市のホームページのお問い合わせサイト	(18.5%)	・市役所又は支所・出張所の窓口	(16.8%)
40歳代	・方法がわからない	(24.6%)	・市役所又は支所・出張所の窓口	(18.5%)	・市の担当職員との意見交換	(17.5%)
50歳代	・区長や町内会長、隣組長を通じて	(26.9%)	・市役所又は支所・出張所の窓口	(23.1%)	・方法がわからない	(19.8%)
60歳代	・区長や町内会長、隣組長を通じて	(38.7%)	・市役所又は支所・出張所の窓口	(22.1%)	・方法がわからない	(16.1%)
70歳代	・区長や町内会長、隣組長を通じて	(33.9%)	・市役所又は支所・出張所の窓口	(26.1%)	・方法がわからない	(16.5%)
80歳以上	・区長や町内会長、隣組長を通じて	(30.8%)	・市役所又は支所・出張所の窓口	(20.5%)	・方法がわからない	(14.1%)

※「特にない」は順位から除く

■居住地区別の市政に対する意見の伝え方（上位３つ）

○　居住地区別にみると、どの地区でも「区長や町内会長、隣組長を通じて」、「市役所又は支所・出張所の窓口」、「市の担当職員との意見交換」、「方法がわからない」のいずれかが上位となっています。

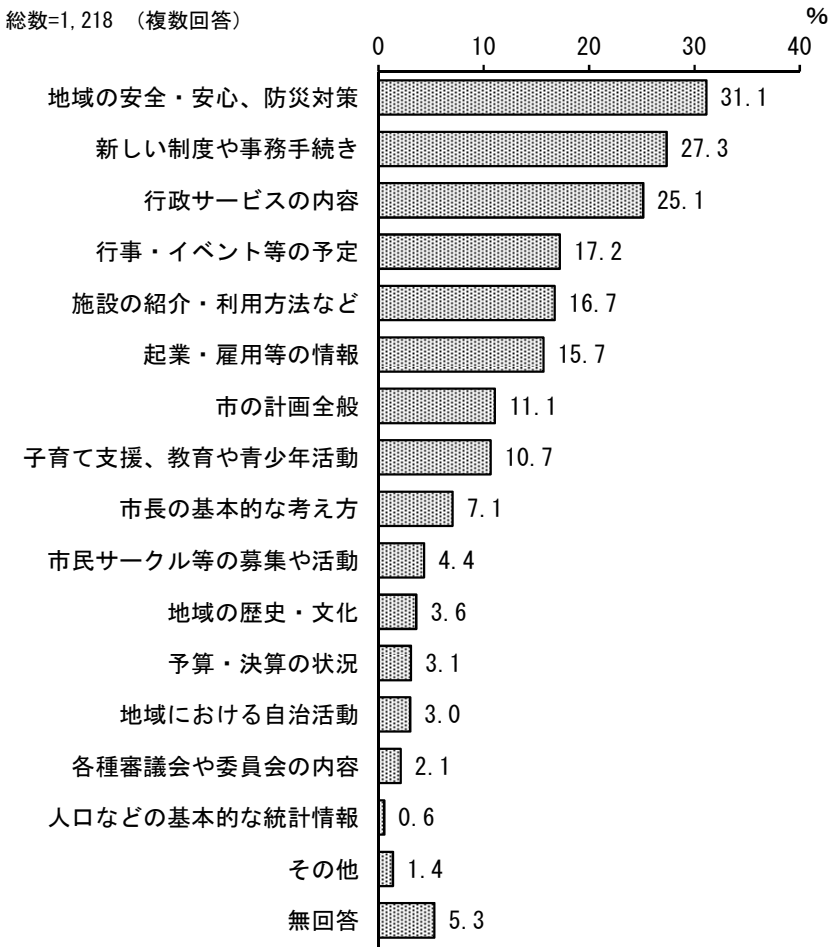
	１位		２位		３位	
田原	・区長や町内会長、隣組長を通じて	(26.4%)	・方法がわからない ・市役所又は支所・出張所の窓口	(24.5%)	－	－
西条	・市役所又は支所・出張所の窓口	(23.1%)	・方法がわからない	(21.8%)	・区長や町内会長、隣組長を通じて	(17.9%)
東条	・市役所又は支所・出張所の窓口	(23.8%)	・方法がわからない	(23.2%)	・市の担当職員との意見交換	(13.5%)
鴨川	・方法がわからない	(24.9%)	・市役所又は支所・出張所の窓口	(17.2%)	・区長や町内会長、隣組長を通じて	(13.4%)
大山	・区長や町内会長、隣組長を通じて	(35.4%)	・方法がわからない	(20.8%)	・市役所又は支所・出張所の窓口	(18.8%)
吉尾	・区長や町内会長、隣組長を通じて	(34.0%)	・市役所又は支所・出張所の窓口	(24.0%)	・市の担当職員との意見交換 ・方法がわからない	(18.0%)
主基	・市役所又は支所・出張所の窓口	(26.4%)	・区長や町内会長、隣組長を通じて	(22.6%)	・方法がわからない	(20.8%)
江見	・方法がわからない	(25.3%)	・区長や町内会長、隣組長を通じて	(22.8%)	・市役所又は支所・出張所の窓口	(11.4%)
曽呂	・区長や町内会長、隣組長を通じて	(36.3%)	・方法がわからない	(25.0%)	・市の担当職員との意見交換	(16.3%)
太海	・区長や町内会長、隣組長を通じて	(24.6%)	・方法がわからない	(18.5%)	・市の担当職員との意見交換	(12.3%)
小湊	・区長や町内会長、隣組長を通じて	(27.4%)	・市役所又は支所・出張所の窓口	(21.0%)	・方法がわからない	(19.4%)
天津	・方法がわからない	(25.0%)	・区長や町内会長、隣組長を通じて	(21.4%)	・市役所又は支所・出張所の窓口	(15.0%)

※「特にない」は順位から除く

２）提供して欲しい情報

問6　あなたが、今後、より積極的に提供してもらいたい情報は何ですか。最も当てはまるものを2つ選んで、番号に○印を付けてください。

○　提供して欲しい情報は、「地域の安全・安心、防災対策」が 31.1%と最も高く、次いで「新しい制度や事務手続き」の 27.3%、「行政サービスの内容」の 25.1%の順となっています。



■性別の提供して欲しい情報（上位３つ）

○　性別にみると、男性は「新しい制度や事務手続き」、女性は「地域の安全・安心、防災対策」が１位となっています。

	１位		２位		３位	
男性	・新しい制度や事務手続き	(30.3%)	・地域の安全・安心、防災対策	(27.5%)	・行政サービスの内容	(25.1%)
女性	・地域の安全・安心、防災対策	(33.8%)	・新しい制度や事務手続き	(26.7%)	・行政サービスの内容	(24.4%)

■年齢階層別の提供して欲しい情報（上位３つ）

○　年齢階層別にみると、20 歳代以下では「行事・イベント等の予定」、30 歳代では「子育て支援、教育や青少年活動」、40 歳代と 50 歳代では「新しい制度や事務手続き」、50 歳代以上では「地域の安全・安心、防災対策」が１位となっており、年齢層の違いによる傾向がうかがわれます。

○　特に、10 歳代の「行事・イベント等の予定」が 46.9%、80 歳以上の「地域の安全・安心、防災対策」が 42.3%と比率が高くなっています。

	１位		２位		３位	
10歳代	・行事・イベント等の予定	(46.9%)	・新しい制度や事務手続き	(28.1%)	・起業・雇用等の情報	(20.3%)
20歳代	・行事・イベント等の予定	(28.6%)	・子育て支援、教育や青少年活動	(25.9%)	・施設の紹介・利用方法など	(22.3%)
30歳代	・子育て支援、教育や青少年活動	(34.2%)	・新しい制度や事務手続き	(31.0%)	・地域の安全・安心、防災対策	(27.7%)
40歳代	・新しい制度や事務手続き	(30.8%)	・起業・雇用等の情報	(25.1%)	・地域の安全・安心、防災対策	(24.6%)
50歳代	・新しい制度や事務手続き ・地域の安全・安心、防災対策	(36.8%)	－	－	・行政サービスの内容	(32.6%)
60歳代	・地域の安全・安心、防災対策	(36.7%)	・行政サービスの内容	(33.2%)	・新しい制度や事務手続き	(24.1%)
70歳代	・地域の安全・安心、防災対策	(39.1%)	・行政サービスの内容	(27.0%)	・施設の紹介・利用方法など	(25.2%)
80歳以上	・地域の安全・安心、防災対策	(42.3%)	・施設の紹介・利用方法など	(23.1%)	・行政サービスの内容	(15.4%)

■職業別の提供して欲しい情報（上位３つ）

○　職業別にみると、学生では「行事・イベント等の予定」、会社員、公務員・教員・団体職員、農林漁業以外の自営業では「新しい制度や事務手続き」、農林漁業、家事専業、パートタイマー・アルバイト、無職では「地域の安全・安心、防災対策」が１位となっています。

○　特に、学生の「行事・イベント等の予定」が 50.0%と高くなっており、半数の方がこれに回答しています。

	１位		２位		３位	
会社員	・新しい制度や事務手続き	(31.9%)	・行政サービスの内容	(28.3%)	・地域の安全・安心、防災対策	(25.7%)
公務員・教員・団体職員	・新しい制度や事務手続き	(38.4%)	・地域の安全・安心、防災対策	(36.0%)	・行政サービスの内容	(32.8%)
農林漁業	・地域の安全・安心、防災対策	(46.0%)	・新しい制度や事務手続き	(27.0%)	・行政サービスの内容	(25.4%)
農林漁業以外の自営業	・新しい制度や事務手続き	(28.0%)	・行政サービスの内容	(26.7%)	・市の計画全般 ・地域の安全・安心、防災対策	(22.7%)
家事専業	・地域の安全・安心、防災対策	(40.7%)	・新しい制度や事務手続き	(28.8%)	・行政サービスの内容	(24.6%)
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾏｰ・ｱﾙﾊﾞｲﾄ	・地域の安全・安心、防災対策	(32.1%)	・新しい制度や事務手続き	(27.8%)	・起業・雇用等の情報	(24.7%)
学生	・行事・イベント等の予定	(50.0%)	・施設の紹介・利用方法など	(24.3%)	・新しい制度や事務手続き	(22.9%)
無職	・地域の安全・安心、防災対策	(35.2%)	・施設の紹介・利用方法など	(24.9%)	・行政サービスの内容	(24.0%)

■居住地区別の提供して欲しい情報（上位３つ）

○　居住地区別にみると、大山地区で「施設の紹介・利用方法など」が１位となっているほか、すべての地区で「地域の安全・安心、防災対策」、「新しい制度や事務手続き」、「行政サービスの内容」のいずれかが１位または２位となっています。

○　特に、太海地区の「地域の安全・安心、防災対策」が 43.1％と比率が高くなっています。

	１位		２位		３位	
田原	・新しい制度や事務手続き	(36.8%)	・行政サービスの内容	(25.5%)	・地域の安全・安心、防災対策	(24.5%)
西条	・新しい制度や事務手続き	(33.3%)	・地域の安全・安心、防災対策	(32.1%)	・行政サービスの内容	(28.2%)
東条	・行政サービスの内容	(35.7%)	・地域の安全・安心、防災対策	(33.5%)	・新しい制度や事務手続き	(28.6%)
鴨川	・地域の安全・安心、防災対策	(27.2%)	・新しい制度や事務手続き	(26.1%)	・行政サービスの内容	(23.4%)
大山	・施設の紹介・利用方法など ・地域の安全・安心、防災対策	(31.3%)	－	－	・新しい制度や事務手続き	(29.2%)
吉尾	・新しい制度や事務手続き ・地域の安全・安心、防災対策	(22.0%)	－	－	・行事・イベント等の予定	(18.0%)
主基	・地域の安全・安心、防災対策	(35.8%)	・新しい制度や事務手続き	(28.3%)	・行事・イベント等の予定	(26.4%)
江見	・地域の安全・安心、防災対策	(32.9%)	・行政サービスの内容	(25.3%)	・新しい制度や事務手続き	(21.5%)
曽呂	・地域の安全・安心、防災対策	(30.0%)	・行政サービスの内容	(21.3%)	・施設の紹介・利用方法など	(20.0%)
太海	・地域の安全・安心、防災対策	(43.1%)	・行政サービスの内容	(23.1%)	・施設の紹介・利用方法など	(21.5%)
小湊	・新しい制度や事務手続き ・地域の安全・安心、防災対策	(29.0%)	－	－	・行政サービスの内容	(25.8%)
天津	・地域の安全・安心、防災対策	(37.1%)	・新しい制度や事務手続き	(32.1%)	・起業・雇用等の情報	(21.4%)

■家族構成別の提供して欲しい情報（上位３つ）

○　家族構成別にみると、すべての家族構成で「地域の安全・安心、防災対策」が１位、「新しい制度や事務手続き」が２位、「行政サービスの内容」が３位と同様の傾向となっています。

○　中学生以下の子どもがいる家族、高齢者（65 歳以上）がいる家族ともに、「地域の安全・安心、防災対策」が１位となっています。また、中学生以下の子どもがいる家族では「子育て支援、教育や青少年活動」が２位となっています。

	１位		２位		３位	
ひとり暮らし	・地域の安全・安心、防災対策	(29.3%)	・新しい制度や事務手続き	(24.8%)	・行政サービスの内容	(23.3%)
夫婦のみ	・地域の安全・安心、防災対策	(35.3%)	・新しい制度や事務手続き	(32.6%)	・行政サービスの内容	(29.4%)
親と子（二世代）	・地域の安全・安心、防災対策	(29.2%)	・新しい制度や事務手続き	(24.8%)	・行政サービスの内容	(24.3%)
祖父母と親と子（三世代）	・地域の安全・安心、防災対策	(31.3%)	・新しい制度や事務手続き	(31.3%)	・行政サービスの内容	(25.1%)

※中学生以下の子どもの有無別の提供して欲しい情報（上位３つ）

	１位		２位		３位	
子どもがいる家族	・地域の安全・安心、防災対策	(30.8%)	・子育て支援、教育や青少年活動	(26.1%)	・新しい制度や事務手続き	(25.2%)
子どもがいない家族	・地域の安全・安心、防災対策	(31.2%)	・新しい制度や事務手続き	(28.1%)	・行政サービスの内容	(26.7%)

※高齢者（65 歳以上）の有無別の提供して欲しい情報（上位３つ）

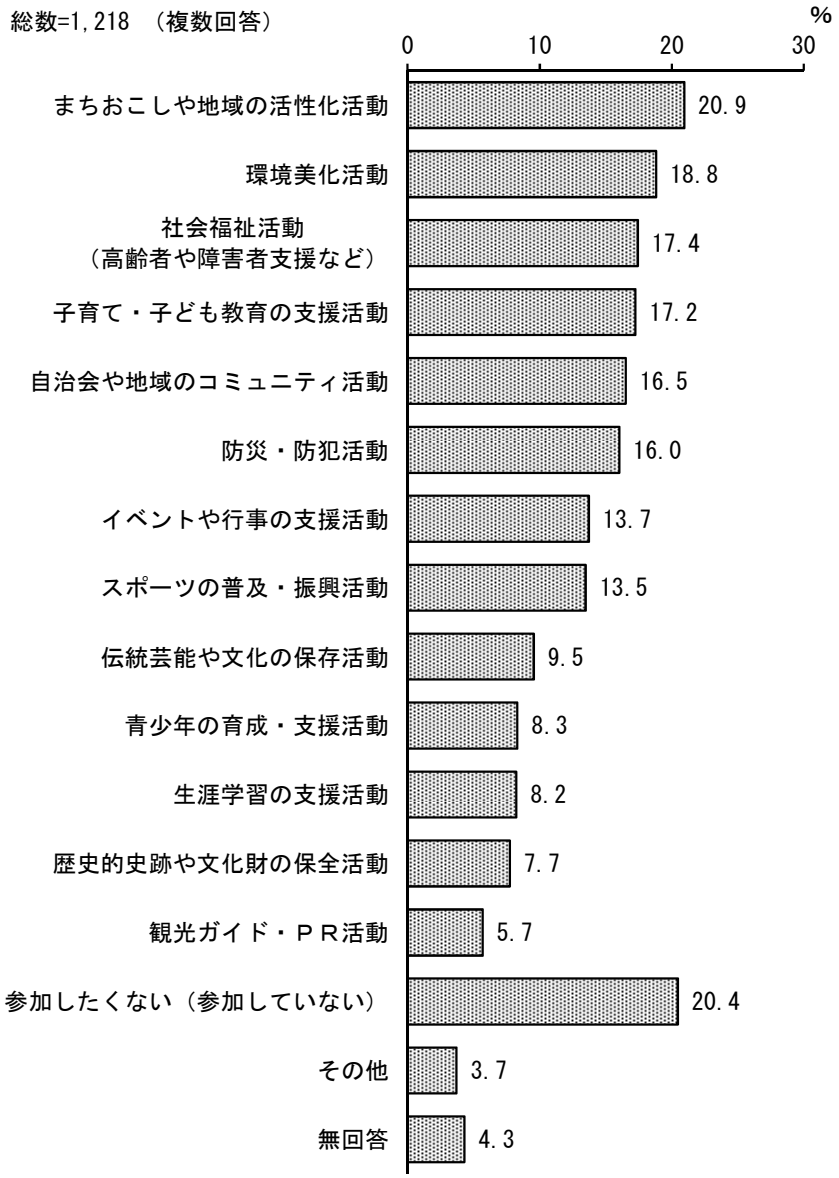
	１位		２位		３位	
65歳以上がいる家族	・地域の安全・安心、防災対策	(39.9%)	・新しい制度や事務手続き	(30.7%)	・行政サービスの内容	(28.3%)
65歳以上がいない家族	・新しい制度や事務手続き	(24.4%)	・地域の安全・安心、防災対策	(23.5%)	・行政サービスの内容	(22.4%)

３）参加したい、協力したい地域活動

問7　あなたは、現在及び将来、市内や地域でどのような活動に参加したい、協力したいとお考えですか。（災害時の復旧や復興活動は除きます。）当てはまるものをすべて選んで、番号に〇印を付けてください。

○　地域活動については、「参加したくない（参加していない）」が 20.4%となっています。

○　参加したい、協力したい地域活動としては、「まちおこしや地域の活性化活動」が 20.9%と最も高く、次いで「環境美化活動」の 18.8%の順となっています。



■性別の参加したい、協力したい地域活動（上位３つ）

○　性別にみると、男性は「まちおこしや地域の活性化活動」、女性は「子育て・子ども教育の支援活動」が１位となっています。

	１位		２位		３位	
男性	・まちおこしや地域の活性化活動	(29.1%)	・防災・防犯活動	(22.5%)	・環境美化活動	(22.0%)
女性	・子育て・子ども教育の支援活動	(21.8%)	・参加したくない（参加していない）	(21.6%)	・社会福祉活動（高齢者や障害者支援など）	(20.7%)

■年齢階層別の参加したい、協力したい地域活動（上位３つ）

○　年齢階層別にみると、10 歳代では「スポーツの普及・振興活動」、20 歳代、40 歳代、80 歳以上では「参加したくない（参加していない）」、30 歳代では「子育て・子ども教育の支援活動」、50 歳代と 60 歳代では「まちおこしや地域の活性化活動」、70 歳代では「環境美化活動」がそれぞれ１位となっています。

○　特に、10 歳代の「スポーツの普及・振興活動」が 32.8%、30 歳代の「子育て・子ども教育の支援活動」が 32.1%と比率が高くなっています。

	１位		２位		３位	
10歳代	・スポーツの普及・振興活動	(32.8%)	・まちおこしや地域の活性化活動	(29.7%)	・イベントや行事の支援活動	(26.6%)
20歳代	・参加したくない（参加していない）	(25.9%)	・子育て・子ども教育の支援活動 ・イベントや行事の支援活動	(21.4%)	－	－
30歳代	・子育て・子ども教育の支援活動	(32.1%)	・スポーツの普及・振興活動	(21.2%)	・まちおこしや地域の活性化活動	(18.5%)
40歳代	・参加したくない（参加していない）	(26.1%)	・まちおこしや地域の活性化活動	(22.3%)	・自治会や地域のコミュニティ活動	(19.4%)
50歳代	・まちおこしや地域の活性化活動	(22.3%)	・環境美化活動	(21.9%)	・社会福祉活動（高齢者や障害者支援など）	(19.8%)
60歳代	・まちおこしや地域の活性化活動	(29.1%)	・環境美化活動 ・社会福祉活動（高齢者や障害者支援など）	(26.6%)	－	－
70歳代	・環境美化活動	(20.0%)	・まちおこしや地域の活性化活動 ・参加したくない（参加していない）	(19.1%)	－	－
80歳以上	・参加したくない（参加していない）	(26.9%)	・社会福祉活動（高齢者や障害者支援など）	(15.4%)	・自治会や地域のコミュニティ活動	(14.1%)

■居住地区別の参加したい、協力したい地域活動（上位３つ）

○　居住地区別にみると、どの地区でも「まちおこしや地域の活性化活動」、「環境美化活動」、「参加したくない（参加していない）」のいずれかが１位となっています。

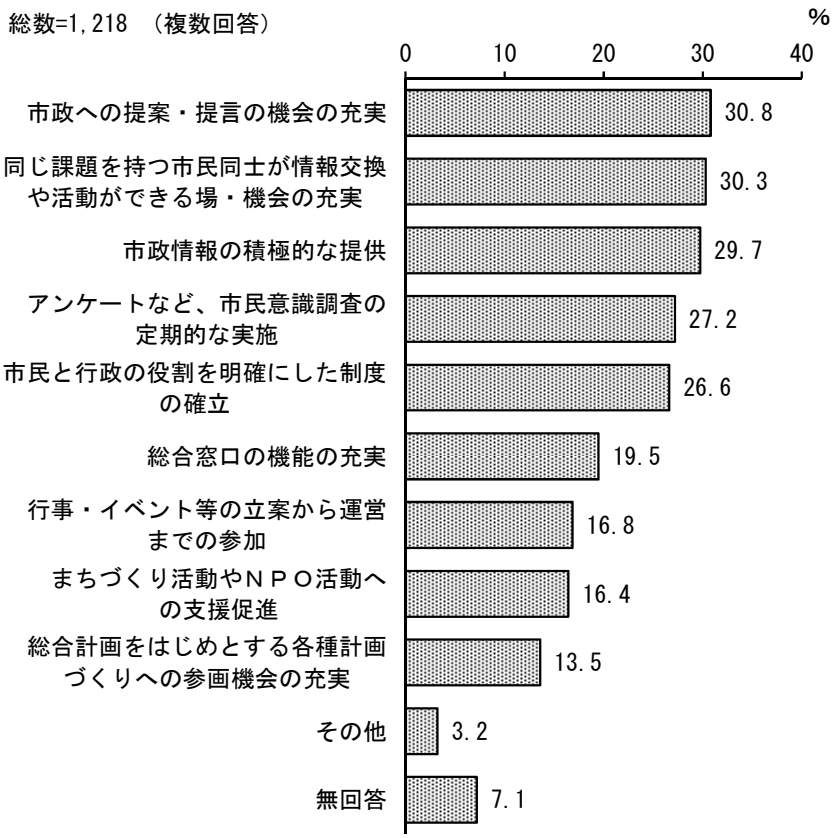
○　また、吉尾地区の「まちおこしや地域の活性化活動」が 34.0%、「環境美化活動」が 32.0%と比率が高くなっています。

	１位		２位		３位	
田原	・まちおこしや地域の活性化活動	(24.5%)	・環境美化活動	(21.7%)	・子育て・子ども教育の支援活動	(20.8%)
西条	・防災・防犯活動 ・環境美化活動	(19.2%)	－	－	・自治会や地域のコミュニティ活動 ・まちおこしや地域の活性化活動	(17.9%)
東条	・環境美化活動	(23.2%)	・社会福祉活動（高齢者や障害者支援など）	(22.2%)	・まちおこしや地域の活性化活動	(19.5%)
鴨川	・参加したくない（参加していない）	(26.4%)	・まちおこしや地域の活性化活動	(18.0%)	・環境美化活動	(16.9%)
大山	・環境美化活動	(27.1%)	・まちおこしや地域の活性化活動	(22.9%)	・イベントや行事の支援活動	(18.8%)
吉尾	・まちおこしや地域の活性化活動	(34.0%)	・環境美化活動	(32.0%)	・防災・防犯活動	(24.0%)
主基	・参加したくない（参加していない） ・子育て・子ども教育の支援活動	(24.5%)	－	－	・防災・防犯活動 ・社会福祉活動（高齢者や障害者支援など） ・まちおこしや地域の活性化活動	(18.9%)
江見	・まちおこしや地域の活性化活動	(27.8%)	・社会福祉活動（高齢者や障害者支援など）	(26.6%)	・自治会や地域のコミュニティ活動 ・イベントや行事の支援活動	(17.7%)
曽呂	・参加したくない（参加していない）	(25.0%)	・まちおこしや地域の活性化活動	(21.3%)	・子育て・子ども教育の支援活動	(17.5%)
太海	・参加したくない（参加していない）	(27.7%)	・まちおこしや地域の活性化活動	(20.0%)	・自治会や地域のコミュニティ活動	(18.5%)
小湊	・まちおこしや地域の活性化活動 ・イベントや行事の支援活動	(25.8%)	－	－	・防災・防犯活動	(24.2%)
天津	・参加したくない（参加していない）	(20.7%)	・自治会や地域のコミュニティ活動	(20.0%)	・防災・防犯活動	(19.3%)

４）市民参加に必要なこと

問８　あなたは、市民参加による「まちづくり」を進めるために、何が必要であると考えますか。お考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印を付けてください。

○　市民参加による「まちづくり」を進めるために必要なことは、「市政への提案・提言の機会の充実」が 30.8％と最も高く、次いで「同じ課題を持つ市民同士が情報交換や活動ができる場・機会の充実」の 30.3％、「市政情報の積極的な提供」の 29.7％の順となっています。



■年齢階層別の市民参加に必要なこと（上位３つ）

○　年齢階層別にみると、20 歳代と 30 歳代では「同じ課題を持つ市民同士が情報交換や活動ができる場・機会の充実」、50 歳代と 70 歳代以上では「市政情報の積極的な提供」がそれぞれ１位となっています。

	１位		２位		３位	
10歳代	・行事・イベント等の立案から運営までの参加	(39.1%)	・アンケートなど、市民意識調査の定期的な実施 ・市政への提案・提言の機会の充実	(25.0%)	－	－
20歳代	・同じ課題を持つ市民同士が情報交換や活動ができる場・機会の充実	(33.0%)	・アンケートなど、市民意識調査の定期的な実施	(29.5%)	・行事・イベント等の立案から運営までの参加	(26.8%)
30歳代	・同じ課題を持つ市民同士が情報交換や活動ができる場・機会の充実	(39.7%)	・アンケートなど、市民意識調査の定期的な実施	(30.4%)	・市政への提案・提言の機会の充実	(26.6%)
40歳代	・市政への提案・提言の機会の充実	(39.3%)	・同じ課題を持つ市民同士が情報交換や活動ができる場・機会の充実	(31.3%)	・アンケートなど、市民意識調査の定期的な実施	(30.8%)
50歳代	・市政情報の積極的な提供	(35.1%)	・市政への提案・提言の機会の充実	(33.1%)	・同じ課題を持つ市民同士が情報交換や活動ができる場・機会の充実	(31.4%)
60歳代	・市民と行政の役割を明確にした制度の確立	(34.7%)	・市政への提案・提言の機会の充実	(34.2%)	・市政情報の積極的な提供	(31.7%)
70歳代	・市政情報の積極的な提供	(35.7%)	・市政への提案・提言の機会の充実	(32.2%)	・市民と行政の役割を明確にした制度の確立	(31.3%)
80歳以上	・市政情報の積極的な提供	(37.2%)	・アンケートなど、市民意識調査の定期的な実施	(23.1%)	・市民と行政の役割を明確にした制度の確立 ・総合窓口の機能の充実	(20.5%)

■居住地区別の市民参加に必要なこと（上位３つ）

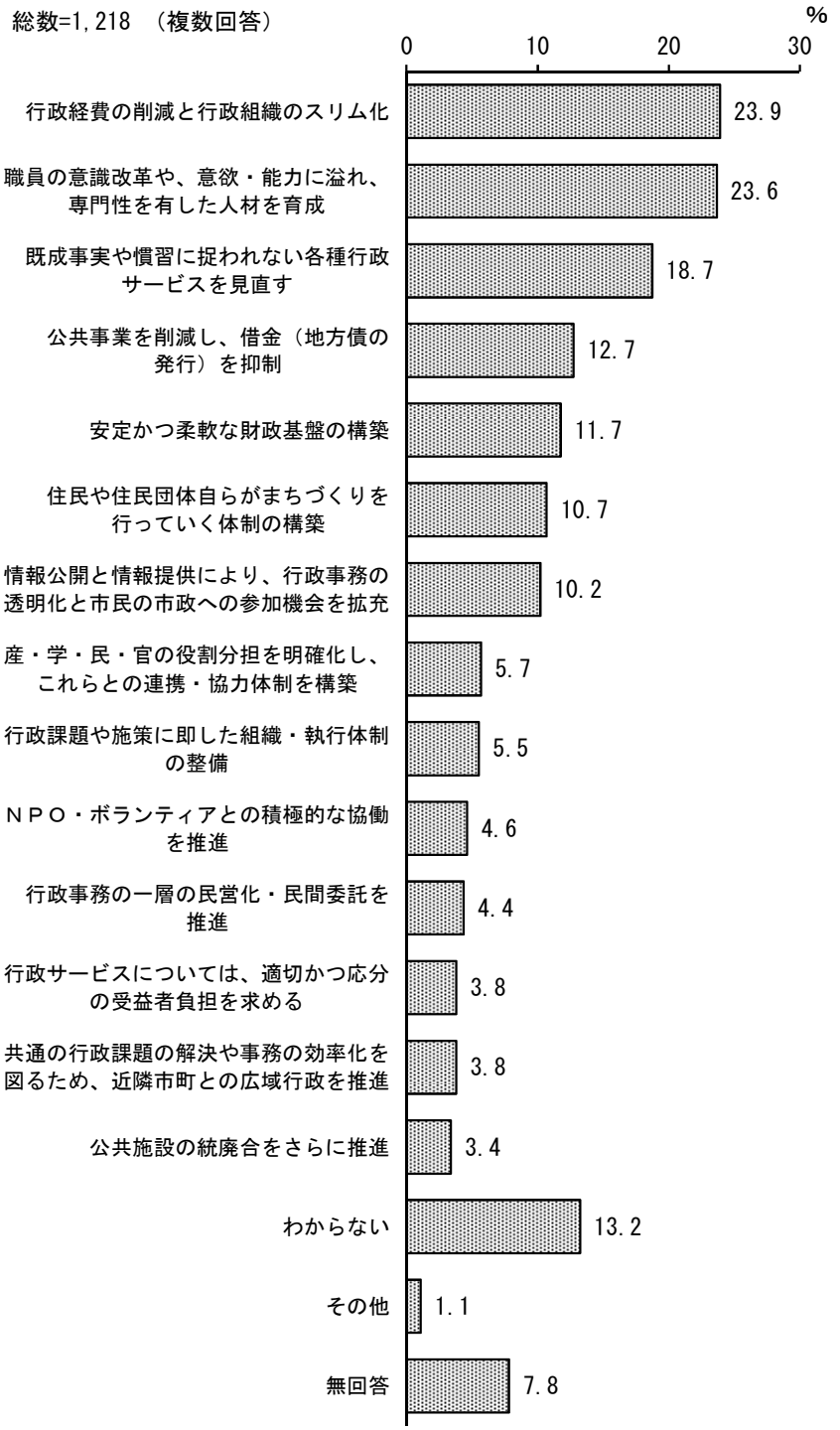
○　居住地区別にみると、どの地区でも「市政への提案・提言の機会の充実」、「同じ課題を持つ市民同士が情報交換や活動ができる場・機会の充実」、「市政情報の積極的な提供」のいずれかが１位となっています。

	１位		２位		３位	
田原	・市政への提案・提言の機会の充実 ・市政情報の積極的な提供	(34.0%)	－	－	・市民と行政の役割を明確にした制度の確立	(27.4%)
西条	・市政への提案・提言の機会の充実	(37.2%)	・同じ課題を持つ市民同士が情報交換や活動ができる場・機会の充実	(32.1%)	・市政情報の積極的な提供	(26.9%)
東条	・市政への提案・提言の機会の充実	(31.9%)	・市政情報の積極的な提供	(31.4%)	・アンケートなど、市民意識調査の定期的な実施	(30.8%)
鴨川	・同じ課題を持つ市民同士が情報交換や活動ができる場・機会の充実 ・アンケートなど、市民意識調査の定期的な実施	(32.2%)	－	－	・市政への提案・提言の機会の充実	(29.5%)
大山	・市政情報の積極的な提供	(39.6%)	・市民と行政の役割を明確にした制度の確立 ・同じ課題を持つ市民同士が情報交換や活動ができる場・機会の充実	(31.3%)	－	－
吉尾	・市政への提案・提言の機会の充実	(34.0%)	・同じ課題を持つ市民同士が情報交換や活動ができる場・機会の充実	(32.0%)	・市政情報の積極的な提供	(28.0%)
主基	・同じ課題を持つ市民同士が情報交換や活動ができる場・機会の充実	(32.1%)	・市政情報の積極的な提供	(28.3%)	・市政への提案・提言の機会の充実	(26.4%)
江見	・市政への提案・提言の機会の充実	(31.6%)	・同じ課題を持つ市民同士が情報交換や活動ができる場・機会の充実	(30.4%)	・市民と行政の役割を明確にした制度の確立 ・市政情報の積極的な提供	(25.3%)
曽呂	・同じ課題を持つ市民同士が情報交換や活動ができる場・機会の充実	(35.0%)	・市政情報の積極的な提供	(33.8%)	・市政への提案・提言の機会の充実	(32.5%)
太海	・市政情報の積極的な提供	(33.8%)	・市政への提案・提言の機会の充実	(30.8%)	・市民と行政の役割を明確にした制度の確立	(29.2%)
小湊	・同じ課題を持つ市民同士が情報交換や活動ができる場・機会の充実	(35.5%)	・アンケートなど、市民意識調査の定期的な実施	(29.0%)	・市政への提案・提言の機会の充実	(27.4%)
天津	・市政への提案・提言の機会の充実	(30.7%)	・同じ課題を持つ市民同士が情報交換や活動ができる場・機会の充実	(30.0%)	・アンケートなど、市民意識調査の定期的な実施	(29.3%)

５）自立した行財政運営を進めていくために重要なこと

問9　あなたは、鴨川市が自立した行財政運営を進めていくためには、何が重要とお考えですか。最もお考えに近いものを2つまで選んで、番号に○印を付けてください。

○　自立した行財政運営を進めていくために重要なことは、「行政経費の削減と行政組織のスリム化」の 23.9%、「職員の意識改革や、意欲・能力に溢れ、専門性を有した人材を育成」の 23.6%が高くなっており、次いで「既成事実や慣習に捉われない各種行政サービスを見直す」の 18.7%の順となっています。

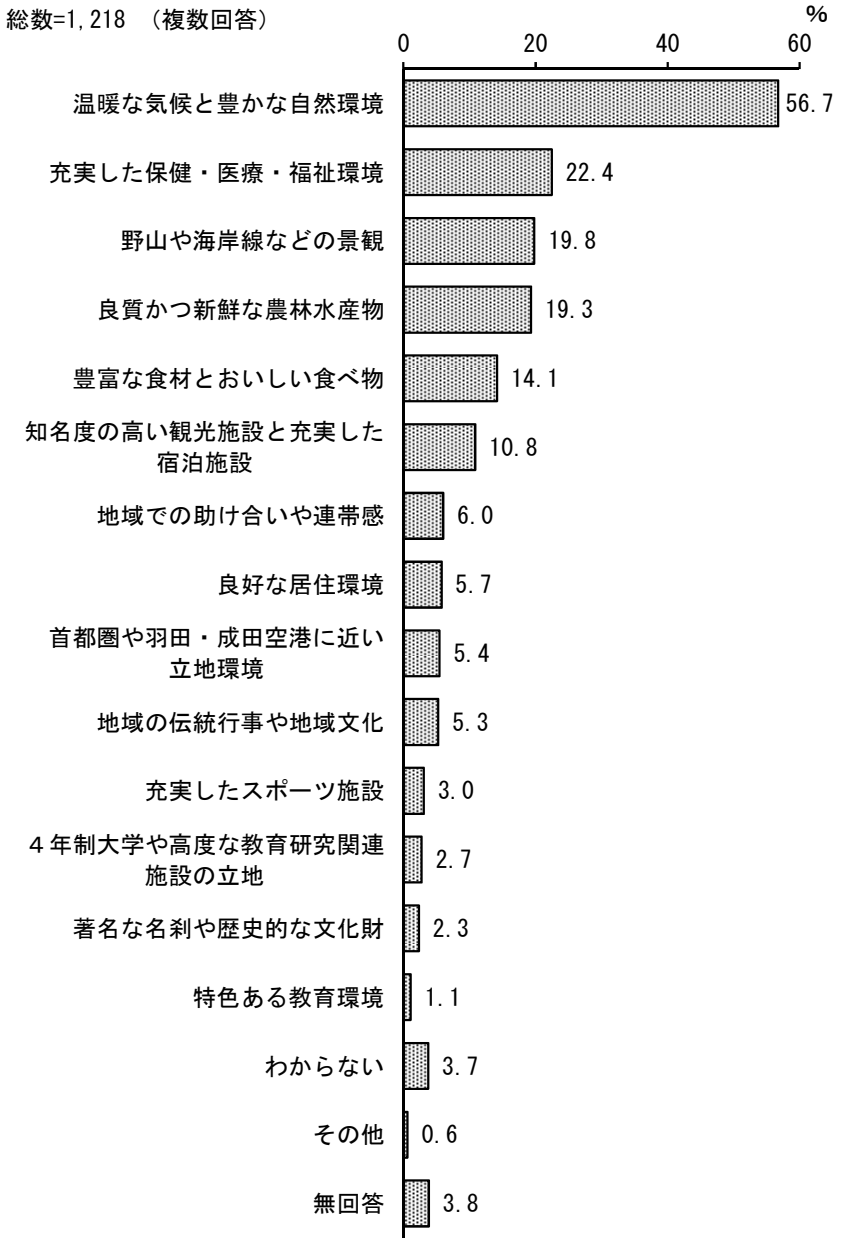


（４）市の魅力と将来イメージについて

１）市の魅力

問 10　あなたが鴨川市の魅力や誇りと感じ、また、これからのまちづくりに活かしていくべき持ち味（特色）は何だと考えますか。お考えに近いものを2つまで選んで、番号に○印を付けてください。

○　これからのまちづくりに活かす本市の魅力は、「温暖な気候と豊かな自然環境」が 56.7%と最も高く、次いで「充実した保健・医療・福祉環境」の 22.4%、「野山や海岸線などの景観」の 19.8%、「良質かつ新鮮な農林水産物」の 19.3%の順となっています。



■年齢階層別の市の魅力（上位３つ）

○　年齢階層別にみると、すべての年代で「温暖な気候と豊かな自然環境」が１位となっています。２位は、40 歳代以上では「充実した保健・医療・福祉環境」、10 歳代と 30 歳代では「野山や海岸線などの景観」、20 歳代では「豊富な食材とおいしい食べ物」となっています。

○　特に、50 歳代から 70 歳代では、６割以上の方が「温暖な気候と豊かな自然環境」に回答しています。

	１位		２位		３位	
10歳代	・温暖な気候と豊かな自然環境	(57.8%)	・野山や海岸線などの景観	(21.9%)	・充実した保健・医療・福祉環境 ・良質かつ新鮮な農林水産物	(15.6%)
20歳代	・温暖な気候と豊かな自然環境	(47.3%)	・豊富な食材とおいしい食べ物	(24.1%)	・野山や海岸線などの景観	(20.5%)
30歳代	・温暖な気候と豊かな自然環境	(47.3%)	・野山や海岸線などの景観	(25.5%)	・充実した保健・医療・福祉環境	(23.4%)
40歳代	・温暖な気候と豊かな自然環境	(57.8%)	・充実した保健・医療・福祉環境	(26.5%)	・良質かつ新鮮な農林水産物	(21.8%)
50歳代	・温暖な気候と豊かな自然環境	(62.0%)	・充実した保健・医療・福祉環境	(23.6%)	・良質かつ新鮮な農林水産物	(21.1%)
60歳代	・温暖な気候と豊かな自然環境	(63.8%)	・充実した保健・医療・福祉環境	(22.6%)	・良質かつ新鮮な農林水産物	(19.6%)
70歳代	・温暖な気候と豊かな自然環境	(62.6%)	・充実した保健・医療・福祉環境	(22.6%)	・野山や海岸線などの景観	(17.4%)
80歳以上	・温暖な気候と豊かな自然環境	(46.2%)	・充実した保健・医療・福祉環境	(25.6%)	・良質かつ新鮮な農林水産物	(23.1%)

■居住地区別の市の魅力（上位３つ）

○　居住地区別にみると、すべての地区で「温暖な気候と豊かな自然環境」が１位となっており、どの地区でも半数以上の方が回答しています。

	１位		２位		３位	
田原	・温暖な気候と豊かな自然環境	(61.3%)	・良質かつ新鮮な農林水産物	(29.2%)	・充実した保健・医療・福祉環境	(23.6%)
西条	・温暖な気候と豊かな自然環境	(65.4%)	・充実した保健・医療・福祉環境	(26.9%)	・良質かつ新鮮な農林水産物	(16.7%)
東条	・温暖な気候と豊かな自然環境	(57.8%)	・充実した保健・医療・福祉環境	(27.0%)	・良質かつ新鮮な農林水産物	(20.5%)
鴨川	・温暖な気候と豊かな自然環境	(54.0%)	・野山や海岸線などの景観	(23.8%)	・充実した保健・医療・福祉環境	(22.2%)
大山	・温暖な気候と豊かな自然環境	(56.3%)	・充実した保健・医療・福祉環境	(20.8%)	・野山や海岸線などの景観	(16.7%)
吉尾	・温暖な気候と豊かな自然環境	(56.0%)	・豊富な食材とおいしい食べ物 ・野山や海岸線などの景観	(20.0%)	－	－
主基	・温暖な気候と豊かな自然環境	(52.8%)	・良質かつ新鮮な農林水産物 ・豊富な食材とおいしい食べ物	(20.8%)	－	－
江見	・温暖な気候と豊かな自然環境	(63.3%)	・充実した保健・医療・福祉環境	(25.3%)	・野山や海岸線などの景観	(20.3%)
曽呂	・温暖な気候と豊かな自然環境	(63.8%)	・野山や海岸線などの景観	(22.5%)	・良質かつ新鮮な農林水産物	(18.8%)
太海	・温暖な気候と豊かな自然環境	(52.3%)	・良質かつ新鮮な農林水産物	(24.6%)	・充実した保健・医療・福祉環境	(23.1%)
小湊	・温暖な気候と豊かな自然環境	(51.6%)	・良質かつ新鮮な農林水産物 ・知名度の高い観光施設と充実した宿泊施設	(22.6%)	－	－
天津	・温暖な気候と豊かな自然環境	(54.3%)	・充実した保健・医療・福祉環境	(25.0%)	・良質かつ新鮮な農林水産物	(20.7%)

■居住状況別の市の魅力（上位３つ）

○　居住状況別にみると、すべての居住状況で「温暖な気候と豊かな自然環境」が１位となって、どの居住状況でも半数以上の方が回答しています。

○　２位は、鴨川市生まれの回答者（「生まれてからずっと鴨川市に住んでいる（生まれてからずっと）」「鴨川市の生まれだが、市外での居住経験がある（U ターン）」）では「充実した保健・医療・福祉環境」、鴨川市以外の生まれで転入してきた回答者（「県内の他の市町村から転入してきた（県内から転入）」「県外から転入してきた（県外から転入）」）では「野山や海岸線などの景観」となっています。

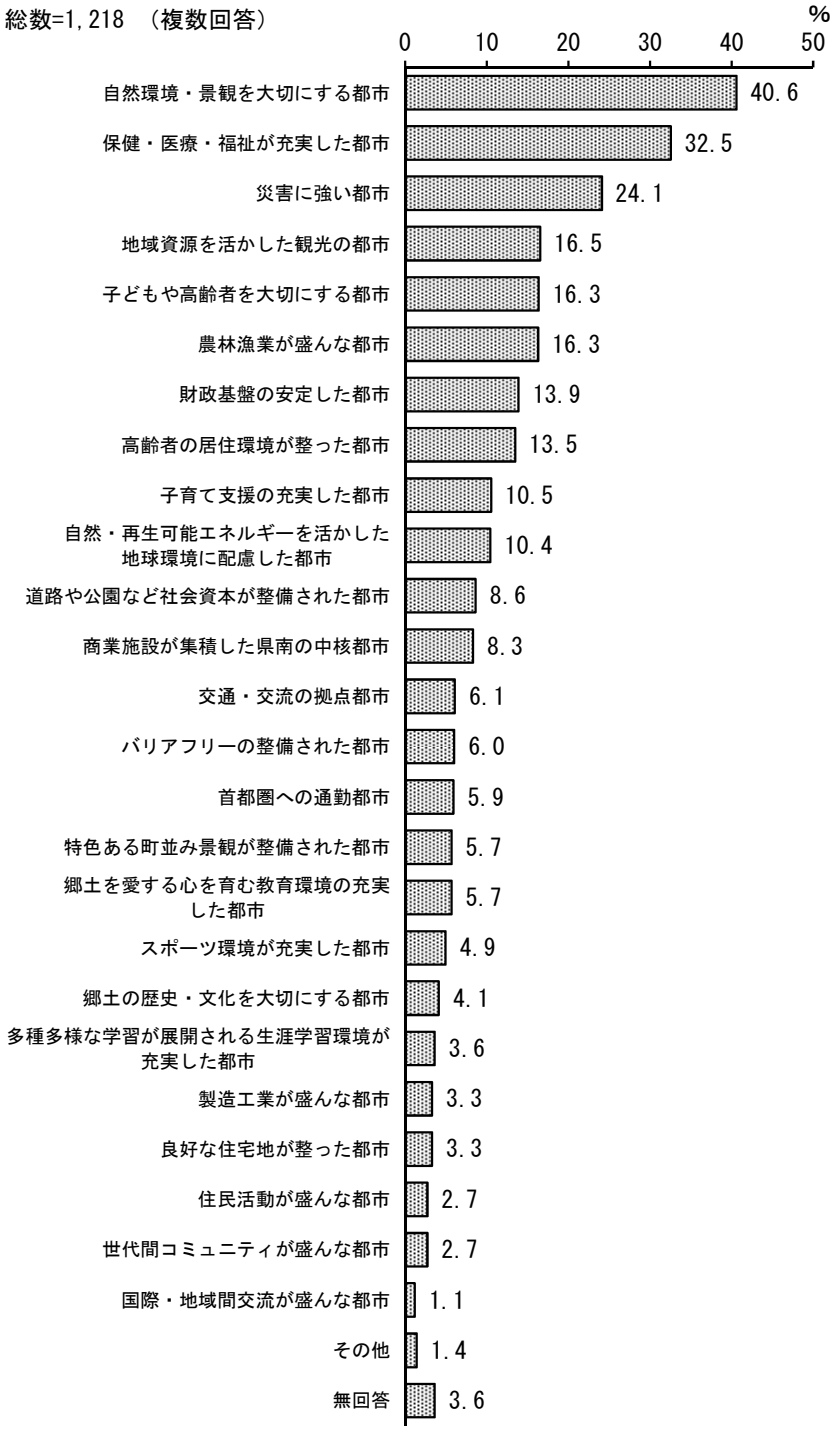
	１位		２位		３位	
生まれてからずっと	・温暖な気候と豊かな自然環境	(53.8%)	・充実した保健・医療・福祉環境	(23.8%)	・良質かつ新鮮な農林水産物	(19.3%)
Uターン	・温暖な気候と豊かな自然環境	(60.4%)	・充実した保健・医療・福祉環境	(24.5%)	・良質かつ新鮮な農林水産物	(22.1%)
県内から転入	・温暖な気候と豊かな自然環境	(54.3%)	・野山や海岸線などの景観	(26.9%)	・充実した保健・医療・福祉環境	(23.1%)
県外から転入	・温暖な気候と豊かな自然環境	(61.3%)	・野山や海岸線などの景観	(21.0%)	・良質かつ新鮮な農林水産物	(18.3%)

２）将来イメージ

問 11　鴨川市は、将来どのような都市になったら良いと思われますか。お考えに近いイメージを3つまで選んで、番号に○印を付けてください。

○　本市の将来のイメージは、「自然環境・景観を大切にする都市」が 40.6％と最も高く、次いで「保健・医療・福祉が充実した都市」の 32.5％、「災害に強い都市」の 24.1％の順となっています。

○　P27 の『市の魅力』で上位となっている「温暖な気候と豊かな自然環境」や「充実した保健・医療・福祉環境」と関連する将来のイメージが、上位となっています。



■年齢階層別の将来イメージ（上位３つ）

○　年齢階層別にみると、60 歳代以下では「自然環境・景観を大切にする都市」、70 歳代以上では「保健・医療・福祉が充実した都市」が１位となっており、年齢層の違いによる傾向がうかがわれます。

○　特に、60 歳代の「自然環境・景観を大切にする都市」が 51.3%と比率が高くなっています。また、20 歳代では「子育て支援の充実した都市」、30 歳代では「子どもや高齢者を大切にする都市」が全体と比較すると上位となっているのが特徴となっています。

	１位		２位		３位	
10歳代	・自然環境・景観を大切にする都市	(48.4%)	・災害に強い都市	(28.1%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(21.9%)
20歳代	・自然環境・景観を大切にする都市	(37.5%)	・子育て支援の充実した都市	(25.0%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(24.1%)
30歳代	・自然環境・景観を大切にする都市	(35.3%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(28.3%)	・子どもや高齢者を大切にする都市	(23.4%)
40歳代	・自然環境・景観を大切にする都市	(38.9%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(34.1%)	・災害に強い都市	(21.3%)
50歳代	・自然環境・景観を大切にする都市	(45.5%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(36.0%)	・災害に強い都市	(25.2%)
60歳代	・自然環境・景観を大切にする都市	(51.3%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(35.2%)	・災害に強い都市	(26.6%)
70歳代	・保健・医療・福祉が充実した都市	(36.5%)	・自然環境・景観を大切にする都市	(31.3%)	・災害に強い都市	(25.2%)
80歳以上	・保健・医療・福祉が充実した都市	(38.5%)	・災害に強い都市	(32.1%)	・自然環境・景観を大切にする都市	(29.5%)

■職業別の将来イメージ（上位３つ）

○　職業別にみると、家事専業と無職を除いた職業では「自然環境・景観を大切にする都市」が１位となっています。一方、家事専業と無職では「保健・医療・福祉が充実した都市」が１位となっています。

○　また、農林漁業では「農林漁業が盛んな都市」、公務員・教員・団体職員では「地域資源を活かした観光の都市」及び「子どもや高齢者を大切にする都市」が全体と比較すると上位となっているのが特徴となっています。

	１位		２位		３位	
会社員	・自然環境・景観を大切にする都市	(39.7%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(31.9%)	・災害に強い都市	(20.8%)
公務員・教員・団体職員	・自然環境・景観を大切にする都市	(47.2%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(32.0%)	・地域資源を活かした観光の都市 ・子どもや高齢者を大切にする都市	(20.8%)
農林漁業	・自然環境・景観を大切にする都市	(47.6%)	・農林漁業が盛んな都市	(34.9%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(33.3%)
農林漁業以外の自営業	・自然環境・景観を大切にする都市	(45.3%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(25.3%)	・災害に強い都市	(21.3%)
家事専業	・保健・医療・福祉が充実した都市	(37.3%)	・自然環境・景観を大切にする都市	(33.9%)	・災害に強い都市	(28.0%)
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾏｰ・ｱﾙﾊﾞｲﾄ	・自然環境・景観を大切にする都市	(35.8%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(32.7%)	・災害に強い都市	(28.4%)
学生	・自然環境・景観を大切にする都市	(51.4%)	・災害に強い都市	(28.6%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(24.3%)
無職	・保健・医療・福祉が充実した都市	(37.3%)	・自然環境・景観を大切にする都市	(36.5%)	・災害に強い都市	(25.8%)

■居住地区別の将来イメージ（上位３つ）

○　居住地区別にみると、すべての地区で「自然環境・景観を大切にする都市」が１位となっています。２位は、旧鴨川市域の地区では「保健・医療・福祉が充実した都市」となっているほか、小湊地区では「地域資源を活かした観光の都市」と「保健・医療・福祉が充実した都市」、天津地区では「災害に強い都市」となっています。

	１位		２位		３位	
田原	・自然環境・景観を大切にする都市	(46.2%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(34.0%)	・災害に強い都市	(23.6%)
西条	・自然環境・景観を大切にする都市	(38.5%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(32.1%)	・災害に強い都市	(29.5%)
東条	・自然環境・景観を大切にする都市	(44.3%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(34.1%)	・災害に強い都市	(23.8%)
鴨川	・自然環境・景観を大切にする都市	(37.5%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(34.1%)	・災害に強い都市	(26.4%)
大山	・自然環境・景観を大切にする都市	(45.8%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(33.3%)	・高齢者の居住環境が充実した都市 ・子どもや高齢者を大切にする都市	(18.8%)
吉尾	・自然環境・景観を大切にする都市	(38.0%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(36.0%)	・地域資源を活かした観光の都市	(24.0%)
主基	・自然環境・景観を大切にする都市	(37.7%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(28.3%)	・災害に強い都市	(24.5%)
江見	・自然環境・景観を大切にする都市	(41.8%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(35.4%)	・子どもや高齢者を大切にする都市	(25.3%)
曽呂	・自然環境・景観を大切にする都市	(46.3%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(25.0%)	・農林漁業が盛んな都市 ・地域資源を活かした観光の都市	(22.5%)
太海	・自然環境・景観を大切にする都市	(38.5%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(35.4%)	・災害に強い都市 ・子どもや高齢者を大切にする都市	(23.1%)
小湊	・自然環境・景観を大切にする都市	(41.9%)	・地域資源を活かした観光の都市 ・保健・医療・福祉が充実した都市	(30.6%)	－	－
天津	・自然環境・景観を大切にする都市	(37.9%)	・災害に強い都市	(33.6%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(30.7%)

■家族構成別の将来イメージ（上位３つ）

○　家族構成別にみると、すべての家族構成で「自然環境・景観を大切にする都市」が１位、「保健・医療・福祉が充実した都市」が２位、「災害に強い都市」が３位と同様の傾向となっています。

○　中学生以下の子どもがいる家族、高齢者（65 歳以上）がいる家族ともに、「自然環境・景観を大切にする都市」が１位、「保健・医療・福祉が充実した都市」が２位となっていますが、中学生以下の子どもがいる家族では「子どもや高齢者を大切にする都市」が３位となっています。

	１位		２位		３位	
ひとり暮らし	・自然環境・景観を大切にする都市	(34.6%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(28.6%)	・災害に強い都市	(24.8%)
夫婦のみ	・自然環境・景観を大切にする都市	(43.0%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(39.4%)	・災害に強い都市	(24.9%)
親と子（二世代）	・自然環境・景観を大切にする都市	(41.7%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(31.4%)	・災害に強い都市	(22.8%)
祖父母と親と子（三世代）	・自然環境・景観を大切にする都市	(42.7%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(33.0%)	・災害に強い都市	(23.3%)

※中学生以下の子どもの有無別の将来イメージ（上位３つ）

	１位		２位		３位	
子どもがいる家族	・自然環境・景観を大切にする都市	(37.7%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(28.9%)	・子どもや高齢者を大切にする都市	(23.3%)
子どもがいない家族	・自然環境・景観を大切にする都市	(41.6%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(33.8%)	・災害に強い都市	(24.7%)

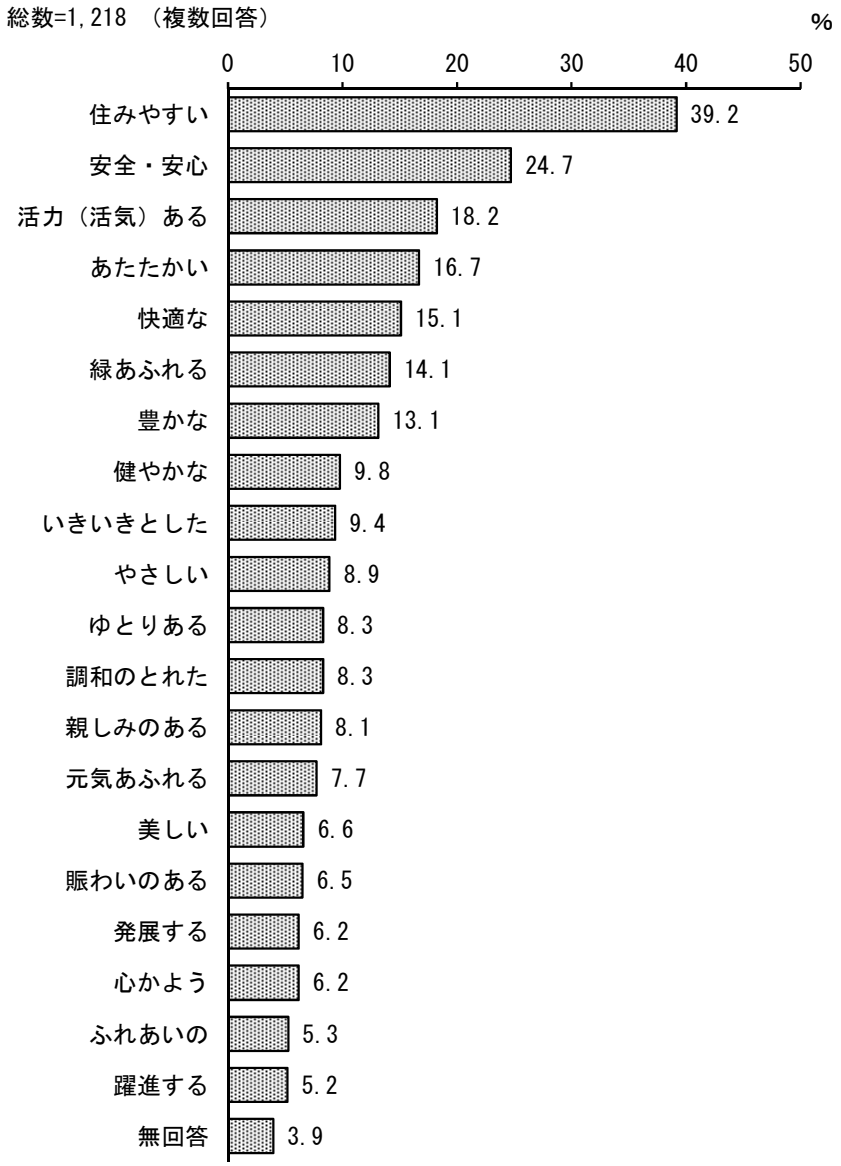
※高齢者（65 歳以上）の有無別の将来イメージ（上位３つ）

	１位		２位		３位	
65歳以上がいる家族	・自然環境・景観を大切にする都市	(46.1%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(38.9%)	・災害に強い都市	(29.0%)
65歳以上がいない家族	・自然環境・景観を大切にする都市	(35.7%)	・保健・医療・福祉が充実した都市	(27.0%)	・災害に強い都市	(19.8%)

３）将来像にふさわしいキーワード

問 12　問 11 でお答えいただいた将来都市像にふさわしい「キーワード」として、お考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印を付けてください。

○　将来像にふさわしいキーワードは、「住みやすい」が 39.2%と最も高く、次いで「安全・安心」の 24.7%、「活力（活気）ある」の 18.2%の順となっています。



※5.0%以上の項目のみ表示

■年齢階層別の将来像にふさわしいキーワード（上位３つ）

○　年齢階層別にみると、すべての年代で「住みやすい」が１位となっています。２位は、10 歳代と 50 歳代以上では「安全・安心」、20 歳代と 30 歳代では「あたたかい」、10 歳代と 40 歳代では「快適な」となっています。

	１位		２位		３位	
10歳代	・住みやすい	(26.6%)	・安全・安心 ・快適な	(21.9%)	－	－
20歳代	・住みやすい	(33.9%)	・あたたかい	(23.2%)	・活力（活気）ある	(20.5%)
30歳代	・住みやすい	(35.9%)	・あたたかい	(23.4%)	・安全・安心	(21.7%)
40歳代	・住みやすい	(39.3%)	・快適な	(19.9%)	・活力（活気）ある ・安全・安心	(19.4%)
50歳代	・住みやすい	(40.5%)	・安全・安心	(26.4%)	・緑あふれる	(19.4%)
60歳代	・住みやすい	(45.2%)	・安全・安心	(30.2%)	・活力（活気）ある	(20.1%)
70歳代	・住みやすい	(45.2%)	・安全・安心	(31.3%)	・活力（活気）ある	(29.6%)
80歳以上	・住みやすい	(38.5%)	・安全・安心	(29.5%)	・いきいきとした	(23.1%)

■居住地区別の将来像にふさわしいキーワード（上位３つ）

○　居住地区別にみると、すべての地区で「住みやすい」が１位となっています。また、吉尾地区では「緑あふれる」も１位となっています。２位は、「安全・安心」となっている地区が多くなっています。

○　また、太海地区の「住みやすい」が 49.2%と比率が高くなっています。

	１位		２位		３位	
田原	・住みやすい	(37.7%)	・安全・安心	(24.5%)	・あたたかい	(22.6%)
西条	・住みやすい	(30.8%)	・安全・安心	(25.6%)	・緑あふれる ・あたたかい	(17.9%)
東条	・住みやすい	(39.5%)	・安全・安心	(33.0%)	・あたたかい	(20.0%)
鴨川	・住みやすい	(39.5%)	・安全・安心	(24.9%)	・活力（活気）ある	(18.8%)
大山	・住みやすい	(41.7%)	・安全・安心	(29.2%)	・緑あふれる	(27.1%)
吉尾	・住みやすい ・緑あふれる	(24.0%)	－	－	・元気あふれる ・豊かな	(16.0%)
主基	・住みやすい	(41.5%)	・活力（活気）ある ・安全・安心	(24.5%)	－	－
江見	・住みやすい	(36.7%)	・安全・安心 ・あたたかい	(20.3%)	－	－
曽呂	・住みやすい	(46.3%)	・安全・安心 ・緑あふれる ・あたたかい	(17.5%)	－	－
太海	・住みやすい	(49.2%)	・安全・安心	(24.6%)	・豊かな	(16.9%)
小湊	・住みやすい	(43.5%)	・安全・安心	(25.8%)	・活力（活気）ある	(24.2%)
天津	・住みやすい	(40.0%)	・活力（活気）ある	(24.3%)	・安全・安心	(22.1%)

（５）市の取り組みについて

１）市の取り組み

問 13　鴨川市の取り組みについておたずねします。

①の「満足度」の欄：あなたは、鴨川市の各種施策の現状について、どの程度、満足していますか。最もお考えに近いものを１つずつ選んで、番号に○印を付けてください。

②の「優先度」の欄：あなたは、今後のまちづくりを進めていくうえで、特にどのような施策に予算を配分し、優先的に進めていくべきと思いますか。最もお考えに近いものを5つまで選んで、○印を付けてください。

①満足度

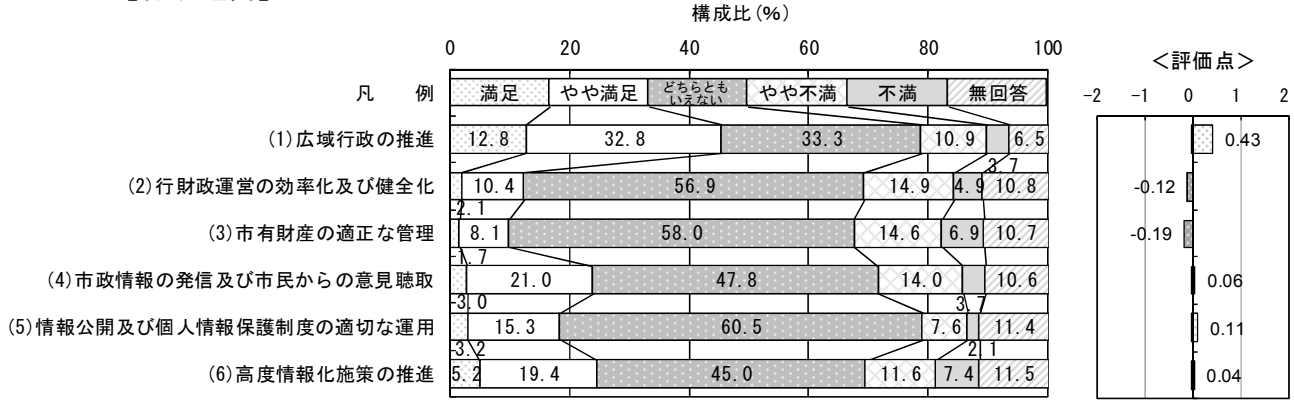
○　市の取り組みの満足度を評価点でみると、「(22)保健サービスの充実・促進」が 0.57 で最も高く、次いで「(7)消防施設・設備の整備充実」の 0.46、「(1)広域行政の推進」の 0.43、「(15)花壇の設置など環境美化の推進」の 0.38、「(23)地域における健康づくり活動の促進」の 0.32 の順となっています。

○　一方、満足度の評価点が低い取り組みは、「(30)商業の振興」が-0.73 で最も低く、次いで「(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保」の-0.58、「(45)国・県道など幹線道路網の整備促進」の-0.57、「(46)市道の整備」の-0.57、「(47)公共交通の便の充実」の-0.50 の順となっています。

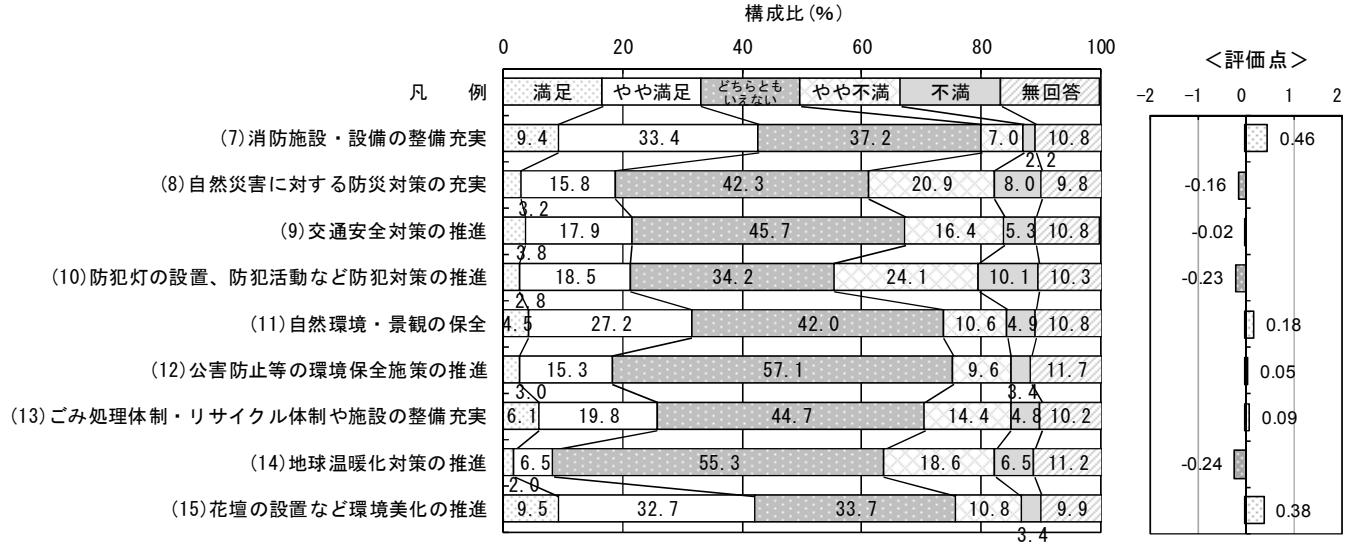
○　P11 の『生活していて、不便に感じていることや困っていること』で上位となっている「仕事や雇用の場が少ない」や「高速道へのアクセスが悪い」と関連する取り組みは、満足度の評価点も低くなっています。

○　【産業・経済】や【生活基盤】に関する取り組みは、「(54)安全で安定的な浄水の供給」を除いて、すべてマイナスの評価点となっています。

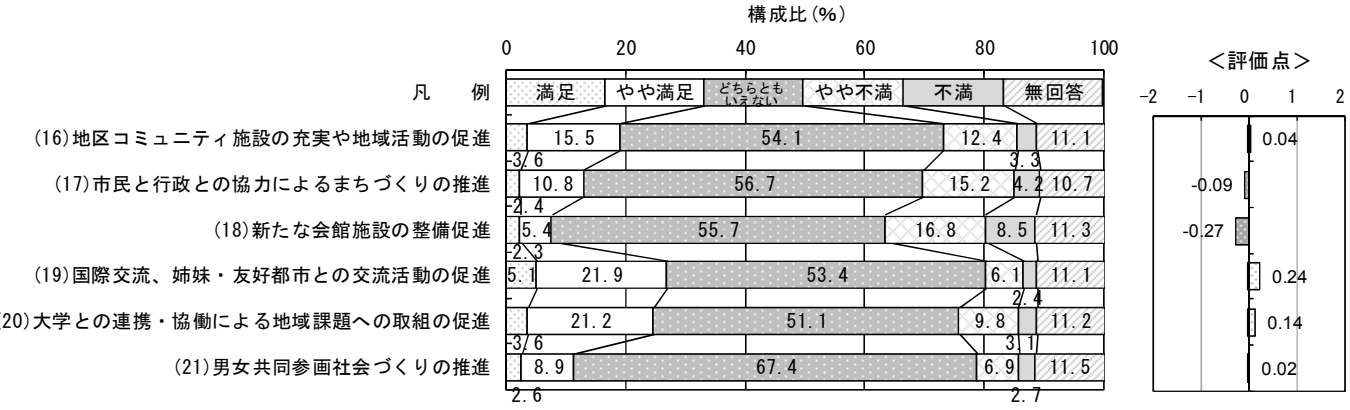
【行政運営】



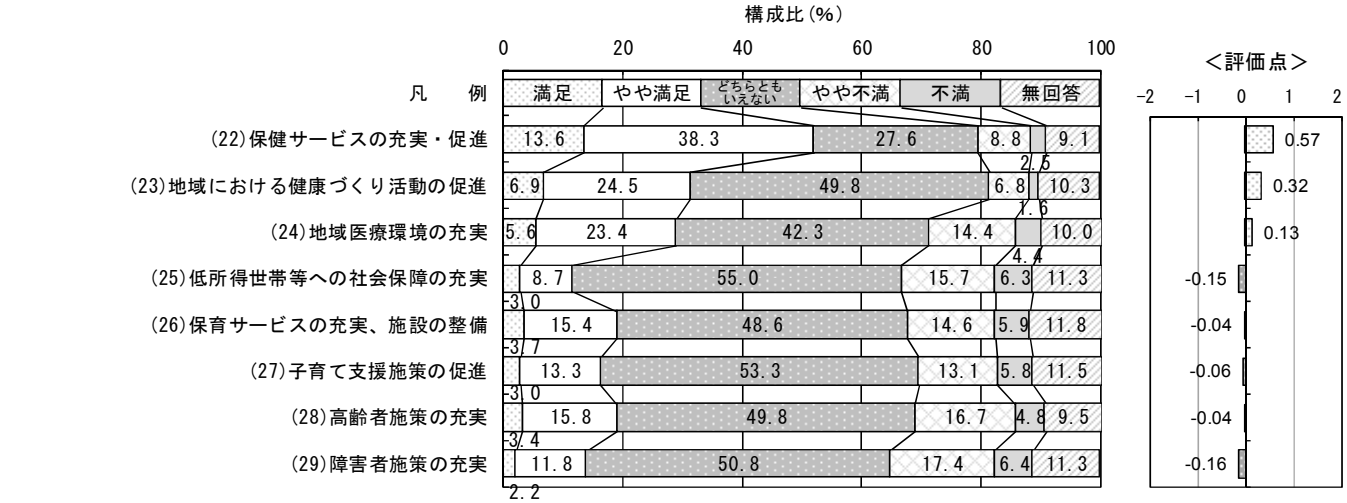
【生活環境】



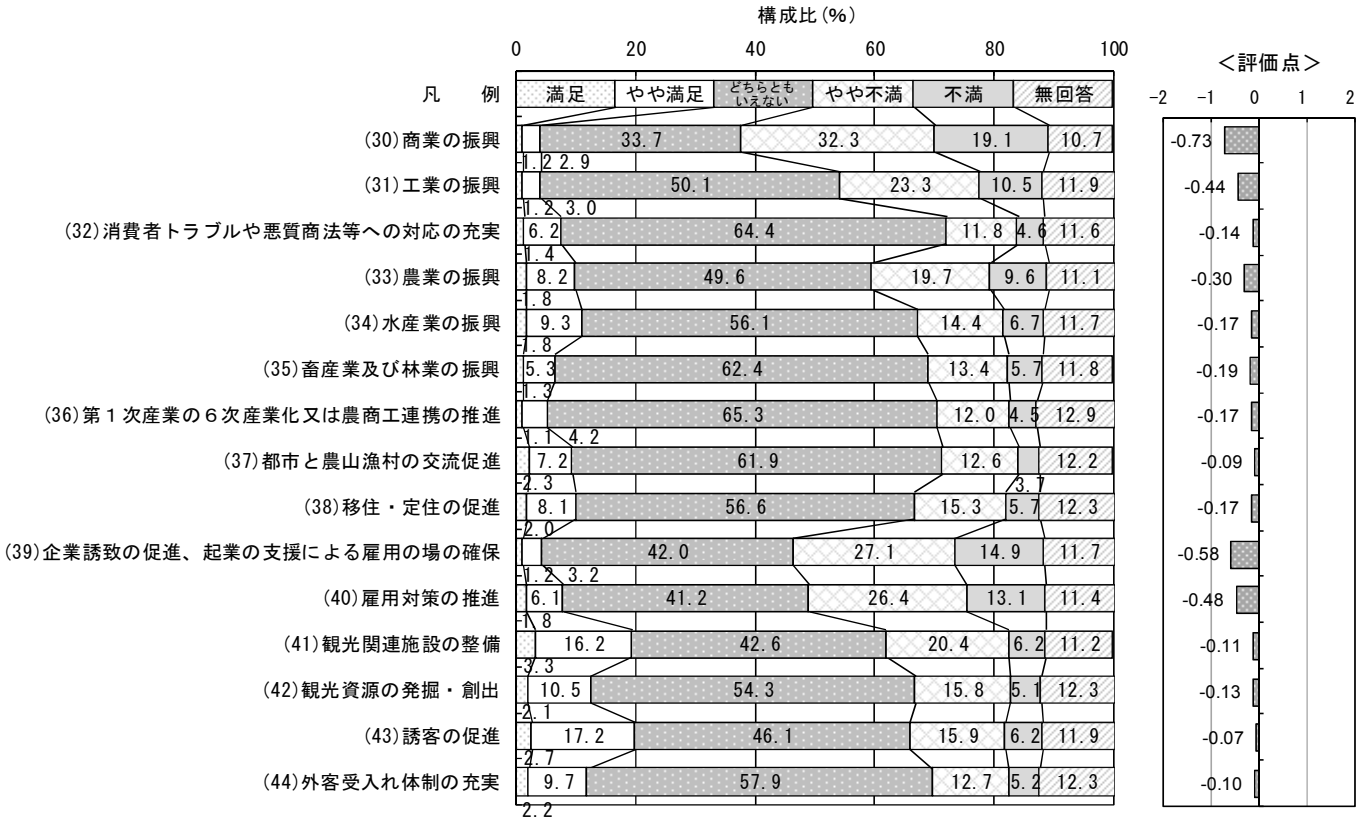
【交流・人権】



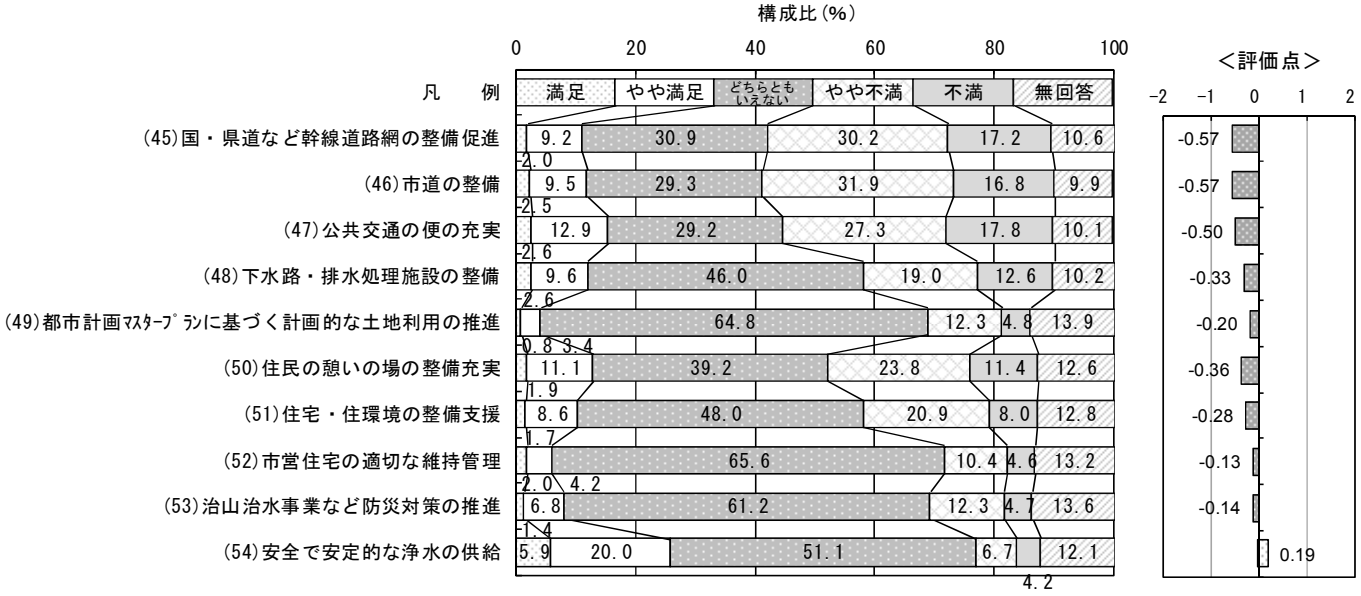
【健康・福祉】



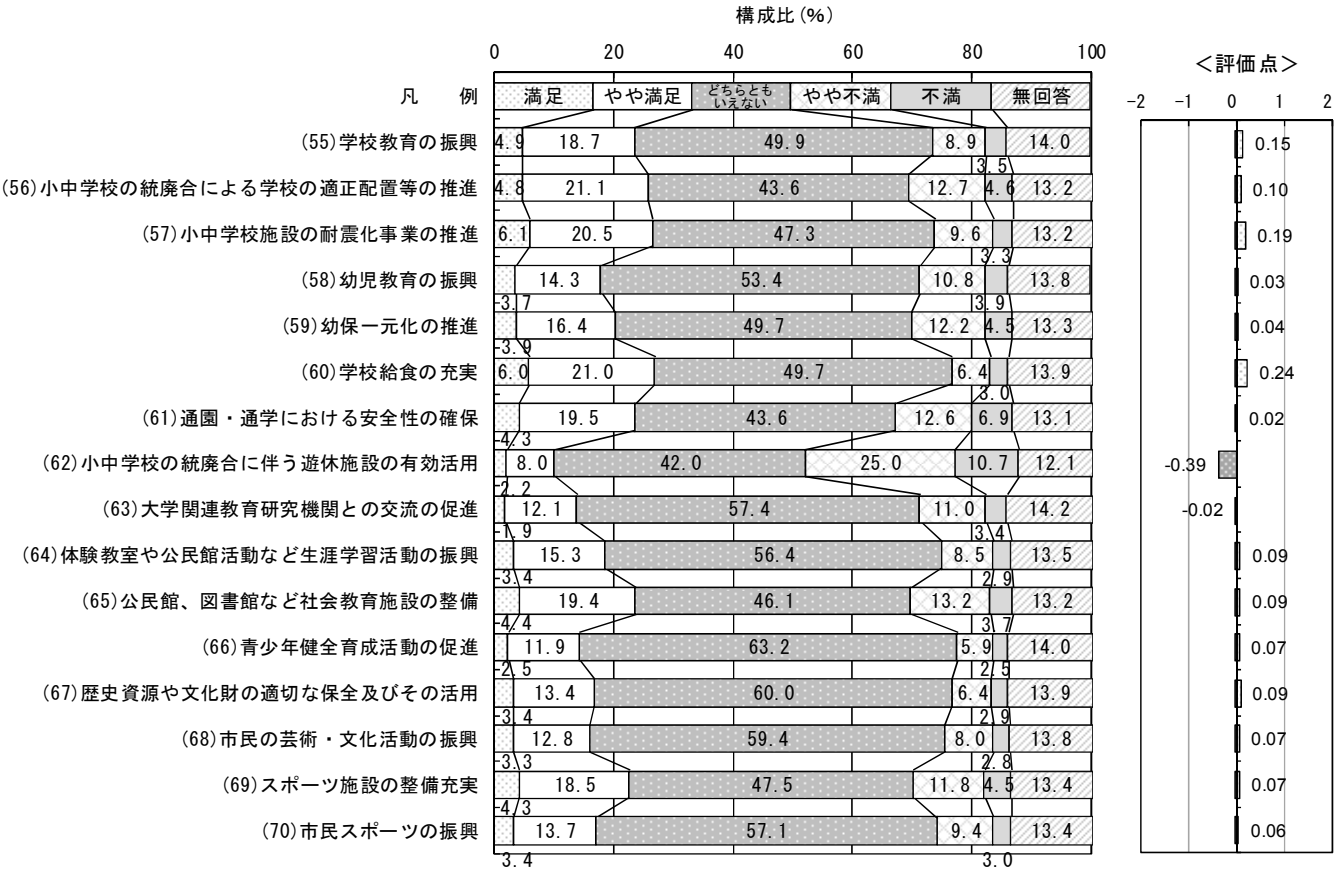
【産業・経済】


構成比(%)
0
20
40
60
80
100
＜評価点＞
−2
−1
0
1
2
凡　例
満足
やや満足
どちらともいえない
やや不満
不満
無回答
(30)商業の振興 33.7 32.3 19.1 10.7 12.2 2.9 -0.73
(31)工業の振興 50.1 23.3 10.5 11.9 1.2 3.0 -0.44
(32)消費者トラブルや悪質商法等への対応の充実 6.2 64.4 11.8 4.6 11.6 1.4 -0.14
(33)農業の振興 8.2 49.6 19.7 9.6 11.1 1.8 -0.30
(34)水産業の振興 9.3 56.1 14.4 6.7 11.7 1.8 -0.17
(35)畜産業及び林業の振興 5.3 62.4 13.4 5.7 11.8 1.3 -0.19
(36)第１次産業の６次産業化又は農商工連携の推進 65.3 12.0 4.5 12.9 1.1 4.2 -0.17
(37)都市と農山漁村の交流促進 7.2 61.9 12.6 12.2 2.3 3.7 -0.09
(38)移住・定住の促進 8.1 56.6 15.3 5.7 12.3 2.0 -0.17
(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保 42.0 27.1 14.9 11.7 1.2 3.2 -0.58
(40)雇用対策の推進 6.1 41.2 26.4 13.1 11.4 1.8 -0.48
(41)観光関連施設の整備 16.2 42.6 20.4 6.2 11.2 3.3 -0.11
(42)観光資源の発掘・創出 10.5 54.3 15.8 5.1 12.3 2.1 -0.13
(43)誘客の促進 17.2 46.1 15.9 6.2 11.9 2.7 -0.07
(44)外客受入れ体制の充実 9.7 57.9 12.7 5.2 12.3 2.2 -0.10

【生活基盤】


構成比(%)
0
20
40
60
80
100
＜評価点＞
−2
−1
0
1
2
凡　例
満足
やや満足
どちらともいえない
やや不満
不満
無回答
(45)国・県道など幹線道路網の整備促進 9.2 30.9 30.2 17.2 10.6 2.0 -0.57
(46)市道の整備 9.5 29.3 31.9 16.8 9.9 2.5 -0.57
(47)公共交通の便の充実 12.9 29.2 27.3 17.8 10.1 2.6 -0.50
(48)下水路・排水処理施設の整備 9.6 46.0 19.0 12.6 10.2 2.6 -0.33
(49)都市計画ﾏｽﾀｰﾌﾟﾗﾝに基づく計画的な土地利用の推進 64.8 12.3 4.8 13.9 0.8 3.4 -0.20
(50)住民の憩いの場の整備充実 11.1 39.2 23.8 11.4 12.6 1.9 -0.36
(51)住宅・住環境の整備支援 8.6 48.0 20.9 8.0 12.8 1.7 -0.28
(52)市営住宅の適切な維持管理 65.6 10.4 4.6 13.2 2.0 4.2 -0.13
(53)治山治水事業など防災対策の推進 6.8 61.2 12.3 4.7 13.6 1.4 -0.14
(54)安全で安定的な浄水の供給 5.9 20.0 51.1 6.7 12.1 4.2 0.19

【教育・文化】



■性別の市の取り組みの満足度（評価点）（上位３つ）

○　性別に満足度を評価点でみると、男女ともに「(22)保健サービスの充実・促進」が１位、「(7)消防施設・設備の整備充実」が２位となっています。

	１位		２位		３位	
男性	(22)保健サービスの充実・促進	0.51	(7)消防施設・設備の整備充実	0.44	(1)広域行政の推進	0.36
女性	(22)保健サービスの充実・促進	0.61	(7)消防施設・設備の整備充実	0.46	(15)花壇の設置など環境美化の推進	0.45

■性別の市の取り組みの満足度（評価点）（下位３つ）

○　性別に満足度の評価点が低いものをみると、男女ともに「(30)商業の振興」が１位となっています。２位は、男性が「(45)国・県道など幹線道路網の整備促進」、女性が「(47)公共交通の便の充実」となっています。

	１位		２位		３位	
男性	(30)商業の振興	−0.79	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	−0.69	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	−0.68
女性	(30)商業の振興	−0.71	(47)公共交通の便の充実	−0.56	(46)市道の整備	−0.51

■年齢階層別の市の取り組みの満足度（評価点）（上位３つ）

○　年齢階層別に満足度を評価点でみると、30 歳代を除いた年代では「(22)保健サービスの充実・促進」が１位となっています。一方、30 歳代では「(15)花壇の設置など環境美化の推進」が１位となっています。

○　特に、「(22)保健サービスの充実・促進」の評価点が、70 歳代では 0.86、80 歳以上では 1.08 と高くなっています。

	１位		２位		３位	
10歳代	(22)保健サービスの充実・促進	0.75	(7)消防施設・設備の整備充実	0.55	(1)広域行政の推進	0.38
20歳代	(22)保健サービスの充実・促進	0.37	(1)広域行政の推進	0.36	(7)消防施設・設備の整備充実	0.32
30歳代	(15)花壇の設置など環境美化の推進	0.51	(22)保健サービスの充実・促進	0.40	(1)広域行政の推進	0.37
40歳代	(22)保健サービスの充実・促進	0.58	(7)消防施設・設備の整備充実	0.50	(15)花壇の設置など環境美化の推進	0.47
50歳代	(22)保健サービスの充実・促進	0.45	(7)消防施設・設備の整備充実	0.33	(1)広域行政の推進	0.31
60歳代	(22)保健サービスの充実・促進	0.66	(7)消防施設・設備の整備充実	0.57	(1)広域行政の推進	0.56
70歳代	(22)保健サービスの充実・促進	0.86	(7)消防施設・設備の整備充実	0.75	(1)広域行政の推進	0.69
80歳以上	(22)保健サービスの充実・促進	1.08	(1)広域行政の推進	0.93	(23)地域における健康づくり活動の促進	0.80

■年齢階層別の市の取り組みの満足度（評価点）（下位３つ）

○　年齢階層別に満足度の評価点が低いものをみると、20 歳代以下では「(47)公共交通の便の充実」、20 歳代から 60 歳代、80 歳以上では「(30)商業の振興」、70 歳代では「(45)国・県道など幹線道路網の整備促進」が１位となっています。また、50 歳代では「(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保」も１位となっています。

○　また、80 歳代以上では「(48)下水路・排水処理施設の整備」が全体と比較すると上位となっているのが特徴となっています。

	１位		２位		３位	
10歳代	(47)公共交通の便の充実	-0.63	(30)商業の振興	-0.63	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.48
20歳代	(30)商業の振興 (47)公共交通の便の充実	-0.80	－	－	(46)市道の整備	-0.58
30歳代	(30)商業の振興	-0.78	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.63	(47)公共交通の便の充実	-0.58
40歳代	(30)商業の振興	-0.80	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.67	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	-0.63
50歳代	(30)商業の振興 (39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	-0.69	－	－	(46)市道の整備	-0.68
60歳代	(30)商業の振興	-0.71	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	-0.69	(46)市道の整備	-0.66
70歳代	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.64	(30)商業の振興	-0.62	(40)雇用対策の推進	-0.51
80歳以上	(30)商業の振興	-0.80	(46)市道の整備	-0.62	(48)下水路・排水処理施設の整備	-0.55

■職業別の市の取り組みの満足度（評価点）（上位３つ）

○　職業別に満足度を評価点でみると、会社員と農林漁業以外の自営業を除いた職業では「(22)保健サービスの充実・促進」が１位となっています。一方、会社員では「(7)消防施設・設備の整備充実」、農林漁業以外の自営業では「(1)広域行政の推進」が１位となっています。

○　また、公務員・教員・団体職員と学生では「(19)国勢交流、姉妹・友好都市との交流活動の促進」が全体と比較すると上位となっているのが特徴となっています。

	１位		２位		３位	
会社員	(7)消防施設・設備の整備充実	0.34	(1)広域行政の推進	0.31	(15)花壇の設置など環境美化の推進	0.29
公務員・教員・団体職員	(22)保健サービスの充実・促進	0.58	(15)花壇の設置など環境美化の推進	0.46	(19)国際交流、姉妹・友好都市との交流活動の促進	0.42
農林漁業	(22)保健サービスの充実・促進	0.70	(1)広域行政の推進	0.60	(7)消防施設・設備の整備充実	0.52
農林漁業以外の自営業	(1)広域行政の推進	0.79	(22)保健サービスの充実・促進	0.61	(7)消防施設・設備の整備充実	0.60
家事専業	(22)保健サービスの充実・促進	0.57	(1)広域行政の推進	0.54	(7)消防施設・設備の整備充実	0.48
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾏｰ・ｱﾙﾊﾞｲﾄ	(22)保健サービスの充実・促進	0.43	(1)広域行政の推進	0.35	(15)花壇の設置など環境美化の推進	0.31
学生	(22)保健サービスの充実・促進	0.69	(7)消防施設・設備の整備充実	0.47	(19)国際交流、姉妹・友好都市との交流活動の促進	0.36
無職	(22)保健サービスの充実・促進	0.60	(1)広域行政の推進	0.58	(7)消防施設・設備の整備充実	0.41

■職業別の市の取り組みの満足度（評価点）（下位３つ）

○　職業別に満足度の評価点が低いものをみると、学生を除いた職業では「(30)商業の振興」が１位となっています。一方、また、学生では「(47)公共交通の便の充実」が１位となっています。

○　また、家事専業では「(50)住民の憩いの場の整備充実」が全体と比較すると上位となっているのが特徴となっています。

	１位		２位		３位	
会社員	(30)商業の振興	-0.80	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.80	(46)市道の整備	-0.76
公務員・教員・団体職員	(30)商業の振興	-0.70	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	-0.55	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.54
農林漁業	(30)商業の振興	-0.57	(46)市道の整備	-0.52	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.46
農林漁業以外の自営業	(30)商業の振興	-0.69	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.56	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	-0.51
家事専業	(30)商業の振興	-0.58	(50)住民の憩いの場の整備充実	-0.47	(47)公共交通の便の充実	-0.46
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾏｰ・ｱﾙﾊﾞｲﾄ	(30)商業の振興	-0.76	(46)市道の整備	-0.66	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.58
学生	(47)公共交通の便の充実	-0.69	(30)商業の振興	-0.63	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.44
無職	(30)商業の振興	-0.48	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	-0.47	(40)雇用対策の推進	-0.34

■居住地区別の市の取り組みの満足度（評価点）（上位３つ）

○　居住地区別に満足度を評価点でみると、大山地区、吉尾地区を除いた地区では「(22)保健サービスの充実・促進」が１位となっています。一方、大山地区、吉尾地区、田原地区では「(7)消防施設・設備の整備充実」が１位となっています。

○　また、天津地区では「(57)小中学校施設の耐震化事業の推進」、吉尾地区では「(11)自然環境・景観の保全」が全体と比較すると上位となっているのが特徴となっています。

	１位		２位		３位	
田原	(7)消防施設・設備の整備充実 (22)保健サービスの充実・促進	0.47	－	－	(15)花壇の設置など環境美化の推進	0.40
西条	(22)保健サービスの充実・促進	0.69	(7)消防施設・設備の整備充実	0.60	(1)広域行政の推進	0.59
東条	(22)保健サービスの充実・促進	0.63	(7)消防施設・設備の整備充実	0.57	(1)広域行政の推進	0.53
鴨川	(22)保健サービスの充実・促進	0.50	(7)消防施設・設備の整備充実	0.49	(1)広域行政の推進	0.43
大山	(7)消防施設・設備の整備充実	0.50	(15)花壇の設置など環境美化の推進 (22)保健サービスの充実・促進	0.36	－	－
吉尾	(7)消防施設・設備の整備充実	0.61	(22)保健サービスの充実・促進	0.60	(1)広域行政の推進	0.50
主基	(22)保健サービスの充実・促進	0.52	(7)消防施設・設備の整備充実	0.39	(11)自然環境・景観の保全	0.32
江見	(22)保健サービスの充実・促進	0.62	(15)花壇の設置など環境美化の推進	0.39	(1)広域行政の推進	0.35
曽呂	(22)保健サービスの充実・促進	0.62	(1)広域行政の推進	0.50	(15)花壇の設置など環境美化の推進	0.38
太海	(22)保健サービスの充実・促進	0.74	(23)地域における健康づくり活動の促進	0.47	(1)広域行政の推進	0.46
小湊	(22)保健サービスの充実・促進	0.63	(15)花壇の設置など環境美化の推進	0.57	(1)広域行政の推進	0.53
天津	(22)保健サービスの充実・促進	0.55	(57)小中学校施設の耐震化事業の推進	0.42	(1)広域行政の推進	0.41

■居住地区別の市の取り組みの満足度（評価点）（下位３つ）

○　居住地区別に満足度の評価点が低いものをみると、「(30)商業の振興」や「(47)公共交通の便の充実」が１位となっている地区が多くみられます。

○　特に、「(30)商業の振興」の評価点が、西条地区では-1.01、鴨川地区では-0.92、「(47)公共交通の便の充実」の評価点が、主基地区では-0.92 と低くなっています。

○　また、吉尾地区と江見地区では「(62)小中学校の統廃合に伴う遊休施設の有効活用」が全体と比較すると上位となっているのが特徴となっています。

	１位		２位		３位	
田原	(46)市道の整備	-0.66	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.60	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	-0.55
西条	(30)商業の振興	-1.01	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	-0.76	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進 (46)市道の整備	-0.70
東条	(30)商業の振興	-0.79	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	-0.61	(46)市道の整備	-0.56
鴨川	(30)商業の振興	-0.92	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	-0.59	(46)市道の整備	-0.57
大山	(47)公共交通の便の充実	-0.80	(46)市道の整備	-0.77	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.75
吉尾	(30)商業の振興	-0.82	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	-0.60	(62)小中学校の統廃合に伴う遊休施設の有効活用	-0.58
主基	(47)公共交通の便の充実	-0.92	(46)市道の整備	-0.83	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.79
江見	(47)公共交通の便の充実	-0.69	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	-0.53	(62)小中学校の統廃合に伴う遊休施設の有効活用	-0.52
曽呂	(46)市道の整備	-0.67	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.64	(30)商業の振興	-0.51
太海	(30)商業の振興 (45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.68	－	－	(46)市道の整備	-0.62
小湊	(30)商業の振興	-0.60	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	-0.55	(40)雇用対策の推進	-0.45
天津	(30)商業の振興	-0.68	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	-0.57	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.52

■家族構成別の市の取り組みの満足度（評価点）（上位３つ）

○　家族構成別に満足度を評価点でみると、すべての家族構成で「(22)保健サービスの充実・促進」が１位となっています。また、「(1)広域行政の推進」または「(7)消防施設・設備の整備充実」のいずれかが、２位また３位となっています。

	１位		２位		３位	
ひとり暮らし	(22)保健サービスの充実・促進	0.45	(7)消防施設・設備の整備充実	0.39	(1)広域行政の推進	0.37
夫婦のみ	(22)保健サービスの充実・促進	0.61	(1)広域行政の推進	0.47	(7)消防施設・設備の整備充実	0.39
親と子（二世代）	(22)保健サービスの充実・促進	0.51	(1)広域行政の推進	0.44	(7)消防施設・設備の整備充実	0.39
祖父母と親と子（三世代）	(22)保健サービスの充実・促進	0.49	(7)消防施設・設備の整備充実	0.42	(1)広域行政の推進	0.37

■家族構成別の市の取り組みの満足度（評価点）（下位３つ）

○　家族構成別に満足度の評価点が低いものをみると、すべての家族構成で「(30)商業の振興」が１位となっています。また、「(39)企業誘致の促進、企業の支援による雇用の場の確保」、「(45)国・県道など幹線道路網の整備促進」、「(46)市道の整備」のいずれかが、２位または３位となっています。

	１位		２位		３位	
ひとり暮らし	(30)商業の振興	-0.50	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.44	(46)市道の整備	-0.41
夫婦のみ	(30)商業の振興	-0.68	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	-0.52	(46)市道の整備	-0.50
親と子（二世代）	(30)商業の振興	-0.69	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	-0.53	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進 (46)市道の整備	-0.51
祖父母と親と子（三世代）	(30)商業の振興	-0.70	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	-0.63	(46)市道の整備	-0.61

■定住意向別の市の取り組みの満足度（評価点）（上位３つ）

○　定住意向別に満足度を評価点でみると、鴨川市以外に移り住みたいを除いて「(22)保健サービスの充実・促進」が１位となっています。一方で、鴨川市以外に移り住みたいでは「(1)広域行政の推進」が１位となっています。

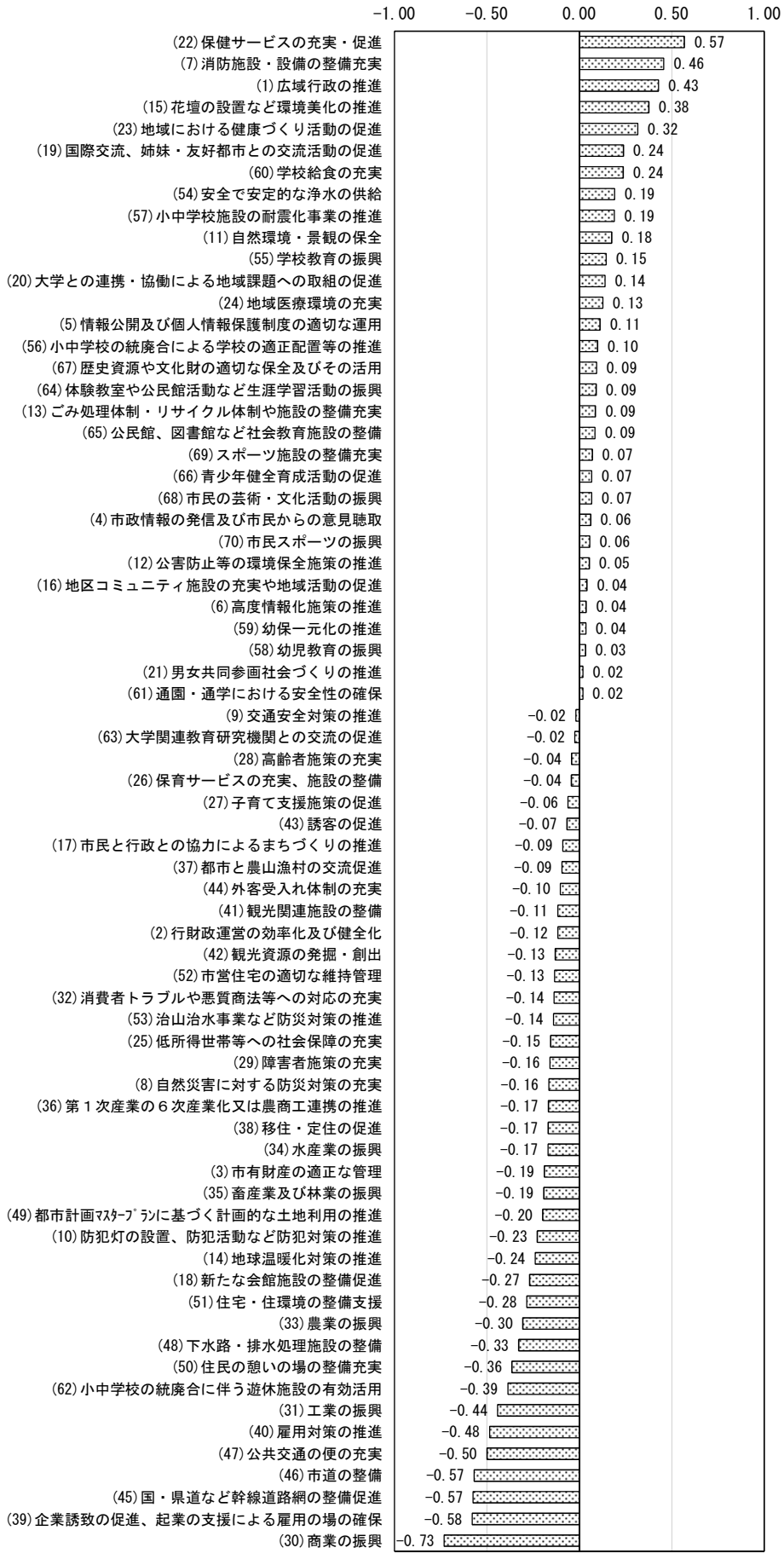
	１位		２位		３位	
現在の場所にこのまま住み続けたい	(22)保健サービスの充実・促進	0.59	(1)広域行政の推進	0.44	(7)消防施設・設備の整備充実	0.43
市内の自然が豊かな地域に移り住みたい	(22)保健サービスの充実・促進	0.53	(7)消防施設・設備の整備充実	0.49	(15)花壇の設置など環境美化の推進	0.44
市内の市街地に近い地域に移り住みたい	(22)保健サービスの充実・促進	0.43	(7)消防施設・設備の整備充実	0.36	(15)花壇の設置など環境美化の推進	0.31
鴨川市以外に移り住みたい	(1)広域行政の推進	0.37	(7)消防施設・設備の整備充実	0.33	(22)保健サービスの充実・促進	0.28

■定住意向別の市の取り組みの満足度（評価点）（下位３つ）

○　定住意向別に満足度の評価点が低いものをみると、鴨川市以外に移り住みたいを除いて「(30)商業の振興」が１位となっています。一方で、鴨川市以外に移り住みたいでは「(47)公共交通の便の充実」が１位となっており、これが市外へ移り住みたい要因であることがうかがわれます。

	１位		２位		３位	
現在の場所にこのまま住み続けたい	(30)商業の振興	−0.65	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保 (46)市道の整備	−0.51	−	−
市内の自然が豊かな地域に移り住みたい	(30)商業の振興	−0.84	(46)市道の整備	−0.70	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	−0.63
市内の市街地に近い地域に移り住みたい	(30)商業の振興	−0.70	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	−0.63	(40)雇用対策の推進	−0.61
鴨川市以外に移り住みたい	(47)公共交通の便の充実	−0.69	(30)商業の振興	−0.66	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	−0.56

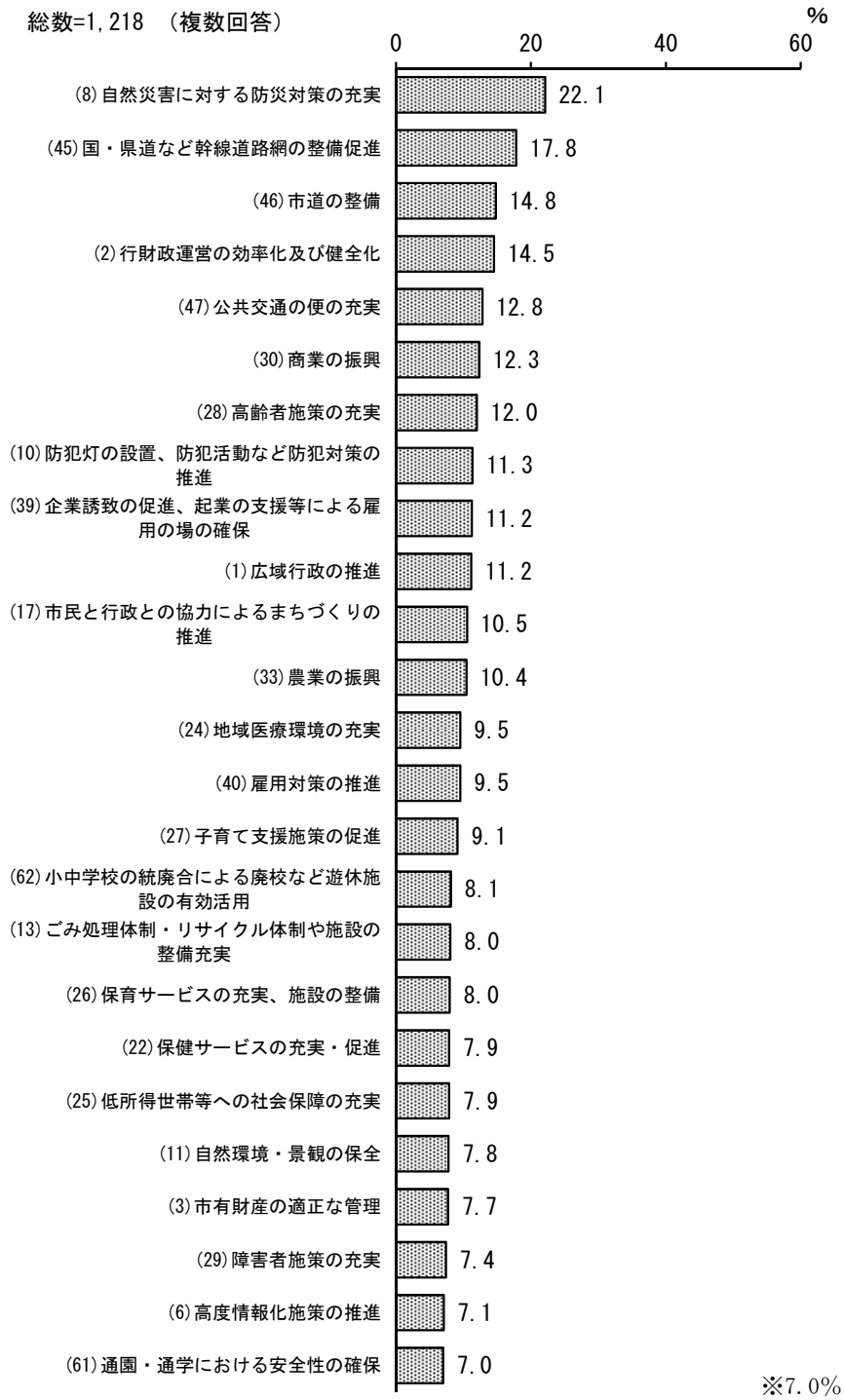
※市の取り組みの満足度（評価点）の一覧



②優先度

○　今後優先的に進めていくべき取り組みは、「(8)自然災害に対する防災対策の充実」が 22.1％と最も高く、次いで「(45)国・県道など幹線道路網の整備促進」の17.8％、「(46)市道の整備」の 14.8％、「(2)行財政運営の効率化及び健全化」の14.5％の順となっています。

○　優先度の上位となっている「(45)国・県道など幹線道路網の整備促進」や「(46)市道の整備」は、Ｐ36 の『①満足度』の評価点が低い取り組みとなっています。



※7.0%以上のみ表示

■性別の今後優先的に進めていくべき取り組み（上位３つ）

○　性別にみると、男性は「(45)国・県道など幹線道路の整備促進」、女性は「(8)自然災害に対する防災対策の充実」が１位となっています。

○　また、女性では「(10)防犯灯の設置、防犯活動など防犯対策の推進」が全体と比較すると上位となっているのが特徴となっています。

	１位		２位		３位	
男性	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(26.5%)	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(21.1%)	(2)行財政運営の効率化及び健全化	(18.7%)
女性	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(23.7%)	(47)公共交通の便の充実	(14.5%)	(10)防犯灯の設置、防犯活動など防犯対策の推進	(13.9%)

■年齢階層別の今後優先的に進めていくべき取り組み（上位３つ）

○　年齢階層別にみると、20 歳代以下では「(47)公共交通の便の充実」、20 歳代と 40 歳代では「(45)国・県道など幹線道路網の整備促進」、30 歳代、50 歳代から 70 歳代では「(8)自然災害に対する防災対策の充実」、80 歳以上では「(2)行財政運営の効率化及び健全化」がそれぞれ１位となっています。一方、20 歳代では「(27)子育て支援施策の促進」も１位となっており、また 20 歳代を除いて「(8)自然災害に対する防災対策の充実」が上位となっています。

○　特に、10 歳代の「(47)公共交通の便の充実」が 31.3%と比率が高くなっています。

○　また、10 歳代では「(6)高度情報化施策の推進」、20 歳代と 30 歳代では「子育て支援施策の促進」、70 歳代では「(33)農業の振興」、80 歳以上では「(17)市民と行政との協力によるまちづくりの推進」が全体と比較すると上位となっているのが特徴となっています。

	１位		２位		３位	
10歳代	(47)公共交通の便の充実	(31.3%)	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(21.9%)	(6)高度情報化施策の推進 (45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(20.3%)
20歳代	(27)子育て支援施策の促進 (45)国・県道など幹線道路網の整備促進 (47)公共交通の便の充実	(23.2%)	－	－	－	－
30歳代	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(22.8%)	(46)市道の整備	(19.0%)	(27)子育て支援施策の促進	(18.5%)
40歳代	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(27.0%)	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(22.7%)	(46)市道の整備	(17.5%)
50歳代	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(27.3%)	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(18.6%)	(2)行財政運営の効率化及び健全化	(18.2%)
60歳代	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(22.1%)	(2)行財政運営の効率化及び健全化	(17.6%)	(1)広域行政の推進	(16.1%)
70歳代	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(15.7%)	(2)行財政運営の効率化及び健全化	(11.3%)	(1)広域行政の推進 (33)農業の振興	(10.4%)
80歳以上	(2)行財政運営の効率化及び健全化	(12.8%)	(8)自然災害に対する防災対策の充実 (17)市民と行政との協力によるまちづくりの推進	(11.5%)	－	－

■職業別の今後優先的に進めていくべき取り組み（上位３つ）

○　職業別にみると、「(8)自然災害に対する防災対策の充実」が１位となっている職業が多くなっていますが、会社員と公務員・教員・団体職員では「(45)国・県道など幹線道路の整備促進」、学生では「(47)公共交通の便の充実」、農林漁業では「(33)農業の振興」が１位となっています。

○　また、農林漁業では「(33)農業の振興」と「(17)市民と行政との協力によるまちづくりの推進」、家事専業では「(10)防犯灯の設置、防犯活動など防犯対策の推進」、学生では「(6)高度情報化施策の推進」が全体と比較すると上位となっているのが特徴となっています。

	１位		２位		３位	
会社員	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(21.8%)	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(15.6%)	(46)市道の整備	(12.1%)
公務員・教員・団体職員	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(22.4%)	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(20.8%)	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	(16.8%)
農林漁業	(33)農業の振興	(23.8%)	(2)行財政運営の効率化及び健全化	(15.9%)	(17)市民と行政との協力によるまちづくりの推進 (45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(12.7%)
農林漁業以外の自営業	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(17.3%)	(30)商業の振興 (45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(16.0%)	－	－
家事専業	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(17.8%)	(10)防犯灯の設置、防犯活動など防犯対策の推進	(11.0%)	(46)市道の整備	(9.3%)
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾏｰ・ｱﾙﾊﾞｲﾄ	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(15.5%)	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(10.6%)	(46)市道の整備	(9.9%)
学生	(47)公共交通の便の充実	(17.1%)	(6)高度情報化施策の推進	(15.7%)	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(14.3%)
無職	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(7.7%)	(40)雇用対策の推進	(6.0%)	(1)広域行政の推進 (47)公共交通の便の充実	(5.1%)

■居住地区別の今後優先的に進めていくべき取り組み（上位３つ）

○　居住地区別にみると、大山地区で「(10)防犯灯の設置、防犯活動など防犯対策の推進」、吉尾地区で「(28)高齢者施策の充実」、曽呂地区で「(33)農業の振興」が１位となっているほかは、「(8)自然災害に対する防災対策の充実」、「(45)国・県道など幹線道路網の整備促進」、「(46)市道の整備」のいずれかが１位となっています。

○　また、大山地区と吉尾地区では「(10)防犯灯の設置、防犯活動など防犯対策の推進」、曽呂地区では「(33)農業の振興」、が全体と比較すると上位となっているのが特徴となっています。

	１位		２位		３位	
田原	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(23.6%)	(2)行財政運営の効率化及び健全化	(17.9%)	(46)市道の整備	(17.0%)
西条	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(24.4%)	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(20.5%)	(47)公共交通の便の充実	(16.7%)
東条	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(26.5%)	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(22.2%)	(46)市道の整備	(20.0%)
鴨川	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(21.8%)	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(18.4%)	(46)市道の整備	(13.8%)
大山	(10)防犯灯の設置、防犯活動など防犯対策の推進 (46)市道の整備	(20.8%)	－	－	(2)行財政運営の効率化及び健全化 (13)ごみ処理体制・リサイクル体制や施設の整備充実 (24)地域医療環境の充実 (25)低所得世帯等への社会保障の充実 (33)農業の振興	(16.7%)
吉尾	(28)高齢者施策の充実	(24.0%)	(10)防犯灯の設置、防犯活動など防犯対策の推進 (30)商業の振興	(20.0%)	－	－
主基	(46)市道の整備	(17.0%)	(2)行財政運営の効率化及び健全化	(15.1%)	(1)広域行政の推進 (8)自然災害に対する防災対策の充実 (33)農業の振興 (47)公共交通の便の充実	(13.2%)
江見	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(24.1%)	(47)公共交通の便の充実	(20.3%)	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	(16.5%)
曽呂	(33)農業の振興 (45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(23.8%)	－	－	(62)小中学校の統廃合による廃校など遊休施設の有効活用	(22.5%)
太海	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(20.0%)	(46)市道の整備 (47)公共交通の便の充実	(18.5%)	－	－
小湊	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(24.2%)	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(16.1%)	(22)保健サービスの充実・促進	(12.9%)
天津	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(26.4%)	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(17.9%)	(2)行財政運営の効率化及び健全化	(15.0%)

■家族構成別の今後優先的に進めていくべき取り組み（上位３つ）

○　家族構成別にみると、すべての家族構成で「(8)自然災害に対する防災対策の充実防」または「(45)国・県道など幹線道路網の整備促進」のいずれかが、１位または２位となっています。

○　また、祖父母と親と子（三世代）では「(27)子育て支援策の促進」が全体と比較すると上位となっているのが特徴となっています。

	１位		２位		３位	
ひとり暮らし	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(12.8%)	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(11.3%)	(46)市道の整備 (47)公共交通の便の充実	(9.8%)
夫婦のみ	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(10.4%)	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(10.0%)	(2)行財政運営の効率化及び健全化	(7.7%)
親と子（二世代）	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(17.1%)	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(15.4%)	(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保	(10.1%)
祖父母と親と子（三世代）	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(13.7%)	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(13.7%)	(27)子育て支援施策の促進 (30)商業の振興	(11.5%)

■定住意向別の今後優先的に進めていくべき取り組み（上位３つ）

○　定住意向別にみると、すべての定住意向で「(8)自然災害に対する防災対策の充実」が上位となっているものの、１位については、定住意向別で回答が異なっています。

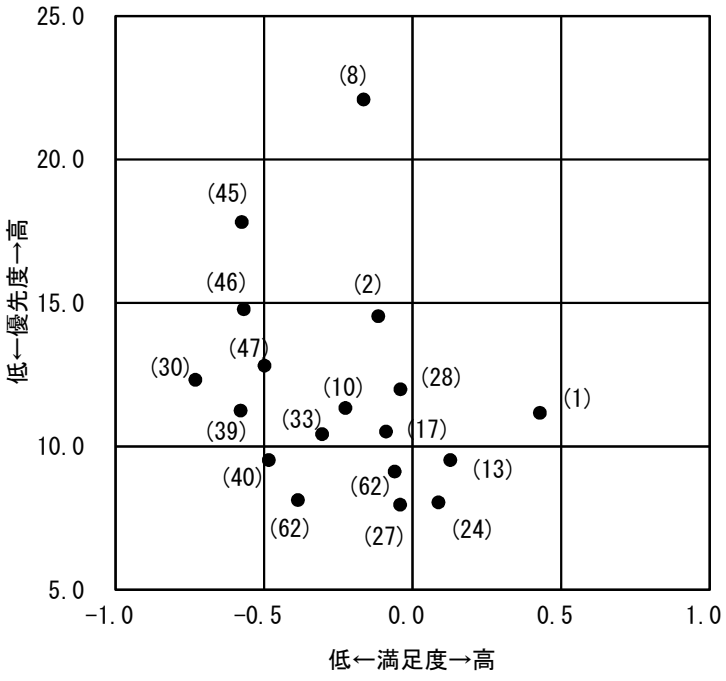
○　また、市内の市街地に近い地域に移り住みたいでは「(30)商業の振興」が上位となっており、これらが移り住みたい要因であることがうかがわれます。

	１位		２位		３位	
現在の場所にこのまま住み続けたい	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(14.4%)	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(13.4%)	(46)市道の整備	(9.7%)
市内の自然が豊かな地域に移り住みたい	(40)雇用対策の推進	(20.9%)	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(18.6%)	(25)低所得世帯等への社会保障の充実	(14.0%)
市内の市街地に近い地域に移り住みたい	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(15.7%)	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(14.3%)	(30)商業の振興	(10.0%)
鴨川市以外に移り住みたい	(47)公共交通の便の充実	(18.5%)	(8)自然災害に対する防災対策の充実	(16.3%)	(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	(14.1%)

■今後優先的に進めていくべき取り組みと満足度の関係

○　今後優先的に進めていくべき取り組みのうち、比率の高い（8.0%以上）ものの満足度の評価点をみると、「(1)広域行政の推進」、「(13)ごみ処理体制・リサイクル体制や施設の整備充実」、「(24)地域医療環境の充実」を除いて、マイナス評価となっています。

＜市の取り組み（※）＞
(1) 広域行政の推進
(2) 行財政運営の効率化及び健全化
(8) 自然災害に対する防災対策の充実
(10)防犯灯の設置、防犯活動など防犯対策の推進
(13)ごみ処理体制・リサイクル体制や施設の整備充実
(17)市民と行政との協力によるまちづくりの推進
(24)地域医療環境の充実
(26)保育サービスの充実、施設の整備
(27)子育て支援施策の促進
(28)高齢者施策の充実
(30)商業の振興
(33)農業の振興
(39)企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保
(40)雇用対策の推進
(45)国・県道など幹線道路網の整備促進
(46)市道の整備
(47)公共交通の便の充実
(62)小中学校の統廃合による廃校など遊休施設の有効活用



※今後優先的に進めていくべき取り組みの比率が、8.0%以上のみ表示

（６）日常生活圏について

１）日常生活圏

問 14 あなたの日常の生活について、お聞きします。次の（ア）～（コ）の活動の主な「行き先」とその際の「主な交通手段（最も利用する距離が長いもの）」について、該当するものを下表からそれぞれ1つ選んで、回答欄①と②に番号を記入してください。

①行き先

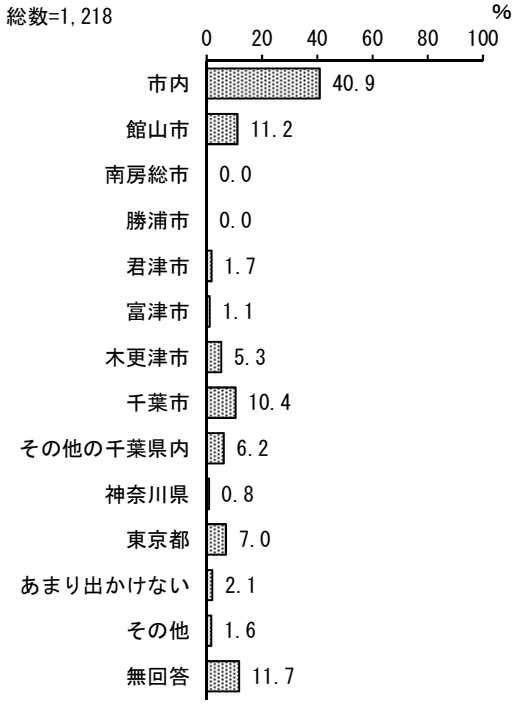
○　日常生活に関わる活動の行き先のうち、買物については、【（ア）食料品や日用雑貨などの買物】の「市内」が 86.4％と高くなっていますが、【（イ）衣料品や贈答品などの買物】の「市内」は 40.9％となっており、「館山市」（11.2％）、「千葉市」（10.4％）などへ流出する傾向がみられます。

○　その他、【（ウ）電気製品,家具,自動車などの購入】、【（エ）通勤・通学】、【（オ）病院などへの通院】、【（カ）日常的な外食】、【（ク）ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ活動】、【（ケ）習い事・サークル活動】では、「市内」がその他の行き先と比較して、突出して高くなっており、特に【（オ）病院などへの通院】では、「市内」が 84.6％となっています。

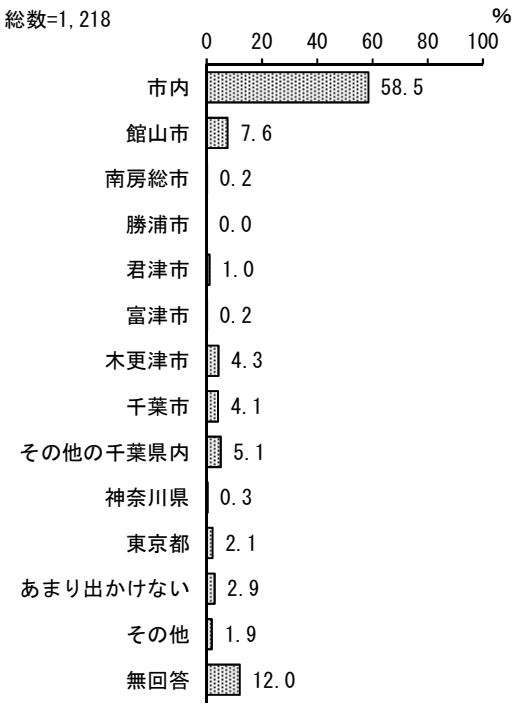
○　一方、【（キ）映画・音楽・演劇などの鑑賞】では、「千葉市」が 20.4％、「東京都」が 14.9％となっており、「市内」（3.4％）より高くなっています。また、【（コ）休日などの休暇】では、「市内」が 23.2％となっていますが、「その他の千葉県内」が 12.7％、「東京都」が 8.6％と相対的に高くなっています。

【（ア）食料品や日用雑貨などの買物】

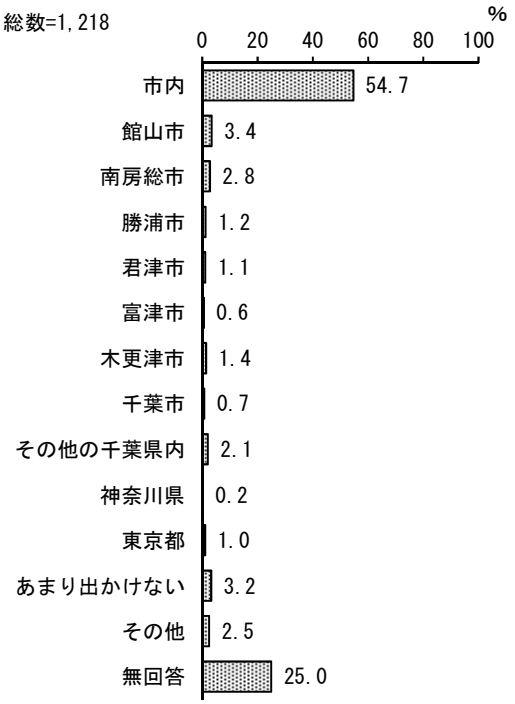
【（イ）衣料品や贈答品などの買物】



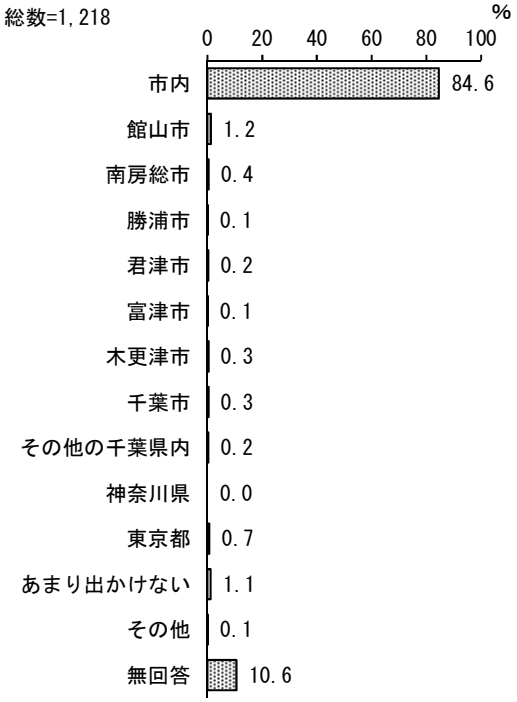
【（ウ）電気製品,家具,自動車などの購入】



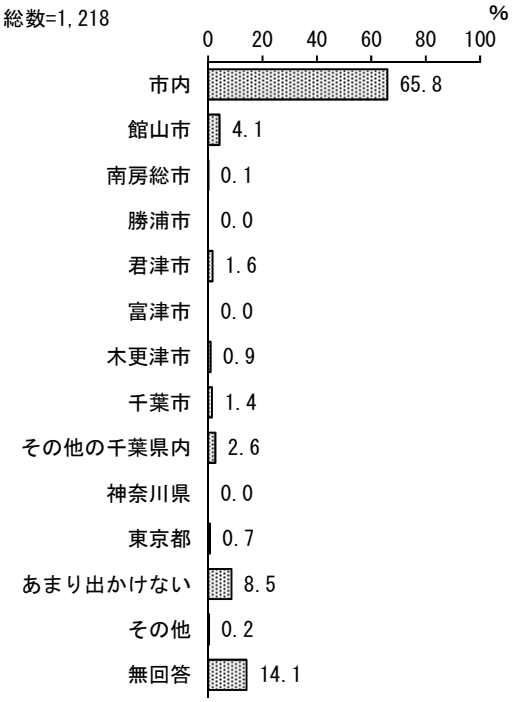
【（エ）通勤・通学】



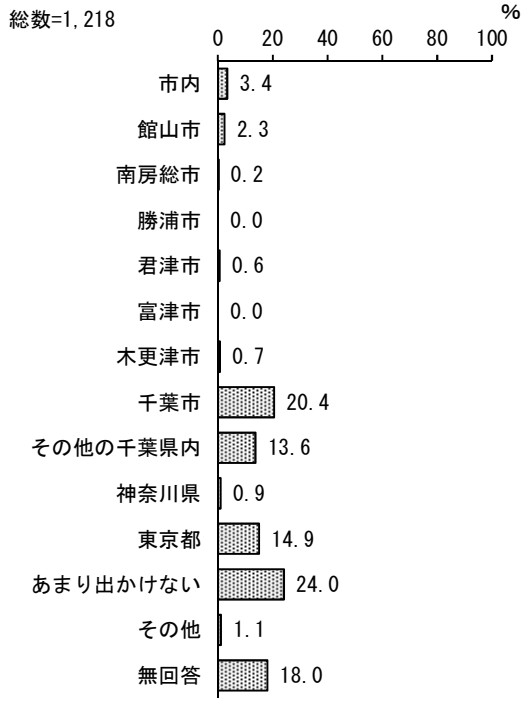
【（オ）病院などへの通院】



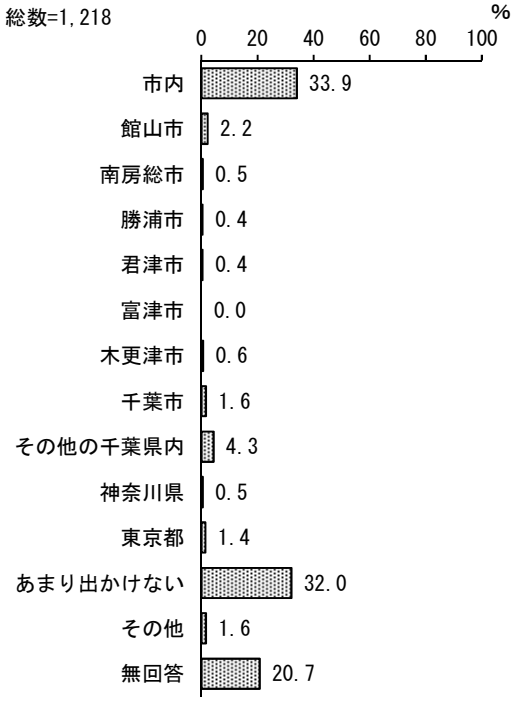
【（カ）日常的な外食】



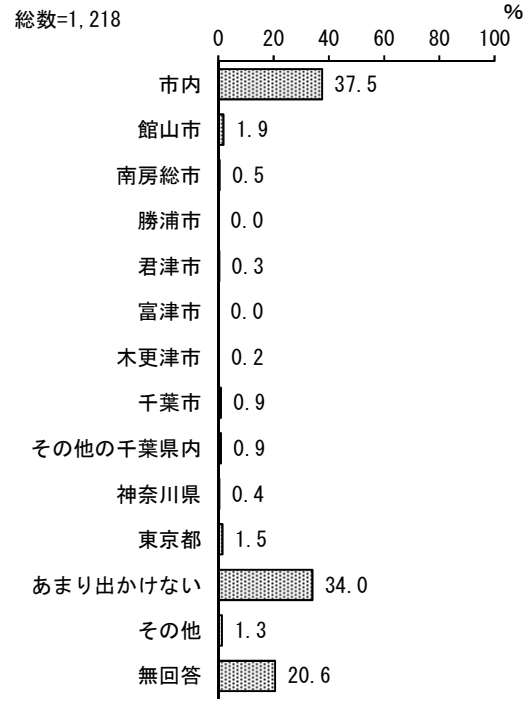
【（キ）映画・音楽・演劇などの鑑賞】



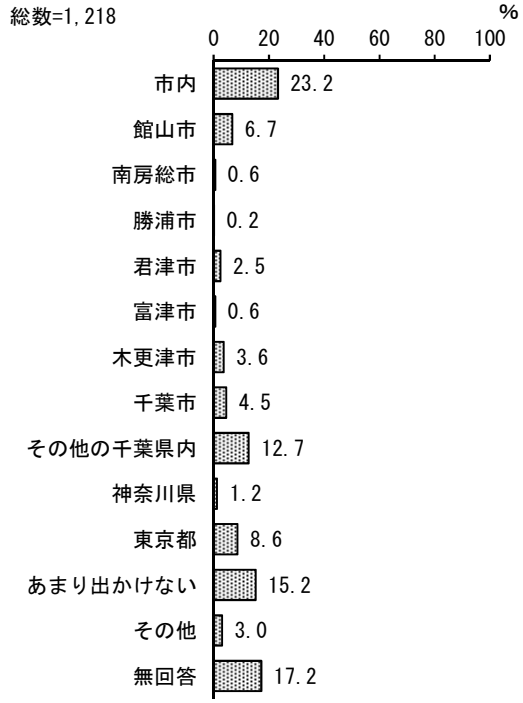
【（ク）ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ活動】



【（ケ）習い事・サークル活動】



【（コ）休日などの休暇】



■年齢階層別の衣料品や贈答品などの買物先（上位３つ）

○　年齢階層別にみると、すべての年代で「市内」が１位となっています。

○　また、50 歳代から 70 歳代では、「市内」が５割以上となっていますが、40 歳代以下では、３割程度となっており、「館山市」「東京都」「千葉市」などへ流出する傾向が顕著となっています。

	１位		２位		３位	
10歳代	・市内	(31.3%)	・館山市	(18.8%)	・千葉市	(14.1%)
20歳代	・市内	(25.0%)	・東京都	(17.9%)	・千葉市	(15.2%)
30歳代	・市内	(23.9%)	・館山市	(17.4%)	・千葉市	(15.8%)
40歳代	・市内	(30.3%)	・館山市	(16.1%)	・その他の千葉県内	(12.3%)
50歳代	・市内	(50.0%)	・館山市	(12.0%)	・千葉市	(9.9%)
60歳代	・市内	(59.8%)	・千葉市	(9.5%)	・東京都	(6.0%)
70歳代	・市内	(61.7%)	・館山市	(4.3%)	・千葉市	(3.5%)
80歳以上	・市内	(34.6%)	・あまり出かけない	(6.4%)	・君津市 ・千葉市	(2.6%)

■居住地区別の衣料品や贈答品などの買物先（上位３つ）

○　居住地区別にみると、すべての地区で「市内」が１位となっています。ただし、主基地区では「市内」が 28.3%と相対的に低くなっています。

○　市西部の大山地区や江見地区などでは「館山市」、市東部の東条地区などでは「千葉市」の比率が、それぞれ高くなっています。

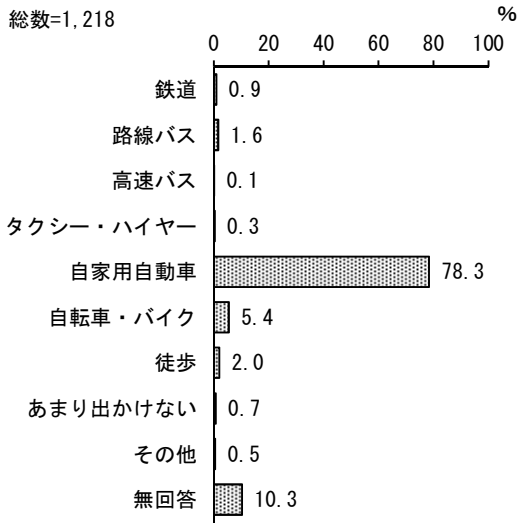
	１位		２位		３位	
田原	・市内	(43.4%)	・その他の千葉県内	(11.3%)	・館山市	(10.4%)
西条	・市内	(33.3%)	・館山市	(16.7%)	・千葉市	(11.5%)
東条	・市内	(36.2%)	・千葉市	(17.8%)	・東京都	(10.3%)
鴨川	・市内	(37.5%)	・館山市 ・東京都	(10.3%)	－	－
大山	・市内	(45.8%)	・館山市	(16.7%)	・千葉市 ・木更津市	(6.3%)
吉尾	・市内	(48.0%)	・館山市	(10.0%)	・富津市	(8.0%)
主基	・市内	(28.3%)	・木更津市	(13.2%)	・千葉市	(11.3%)
江見	・市内	(43.0%)	・館山市	(17.7%)	・その他の千葉県内	(7.6%)
曽呂	・市内	(51.3%)	・館山市	(10.0%)	・その他の千葉県内	(6.3%)
太海	・市内	(43.1%)	・館山市 ・千葉市	(13.8%)	－	－
小湊	・市内	(46.8%)	・千葉市	(9.7%)	・東京都 ・館山市 ・その他の千葉県内	(6.5%)
天津	・市内	(46.4%)	・館山市 ・千葉市	(10.0%)	－	－

②主な交通手段

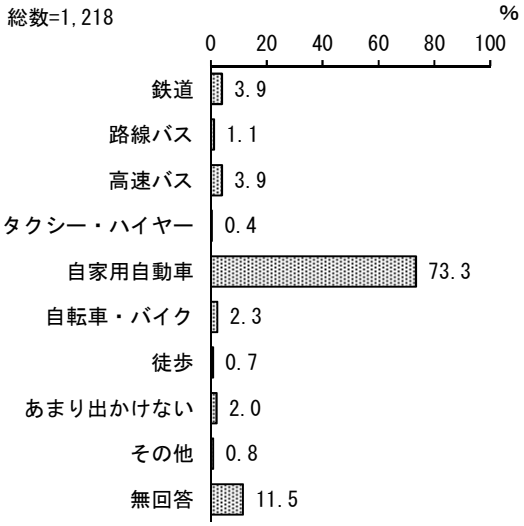
○　日常生活に関わる活動に利用する主な交通手段は、すべての活動で「自家用自動車」が高くなっており、日常生活で自家用車が不可欠な状況となっています。

○　P51『①行き先』で「市内」が低くなっている【(キ) 映画・音楽・演劇などの鑑賞】では、「自家用自動車」が 41.4%となっていますが、「高速バス」が 9.4%、「鉄道」が 6.8%と相対的に高くなっています。

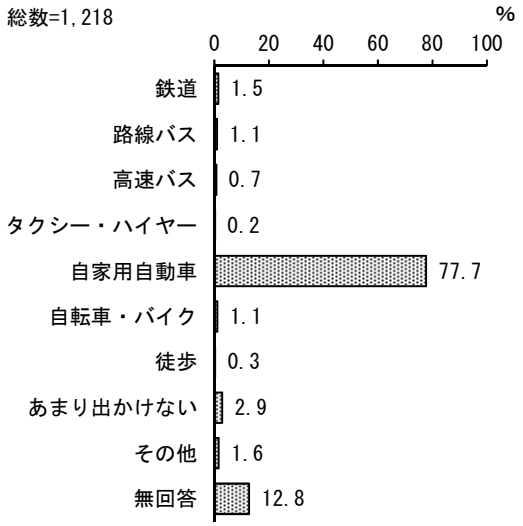
【(ア) 食料品や日用雑貨などの買物】



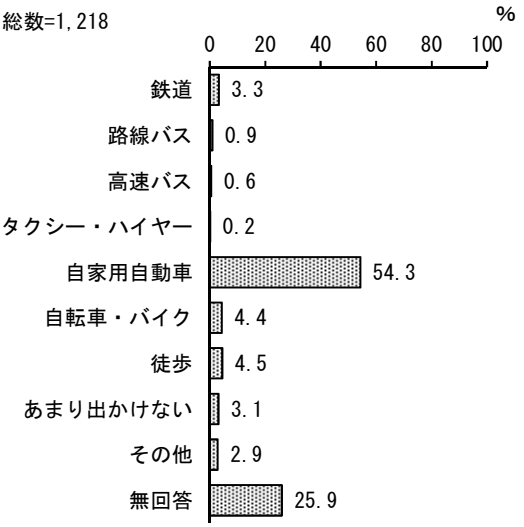
【(イ) 衣料品や贈答品などの買物】



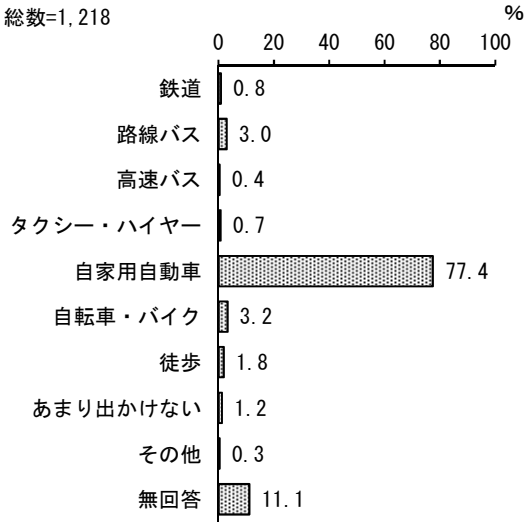
【(ウ) 電気製品,家具,自動車などの購入】



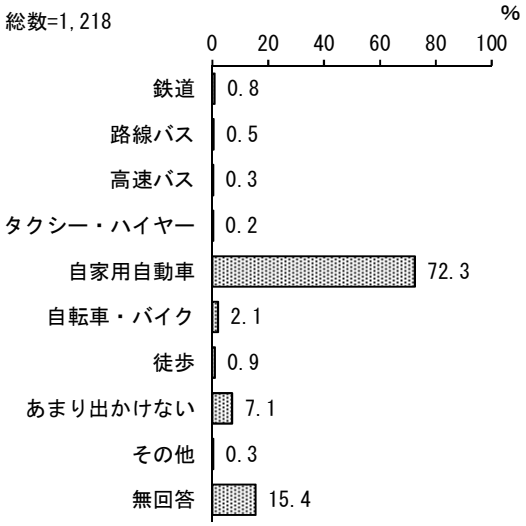
【(エ) 通勤・通学】



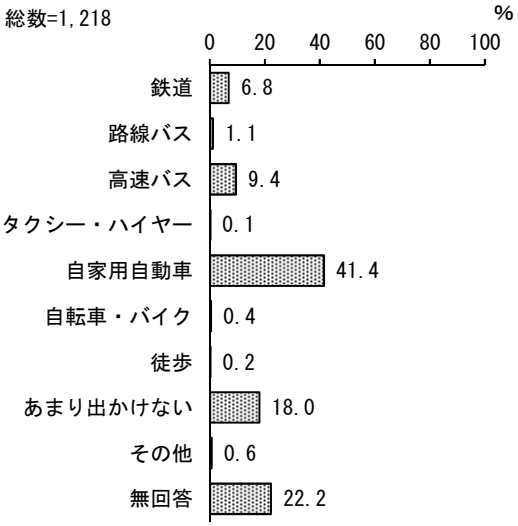
【（オ）病院などへの通院】



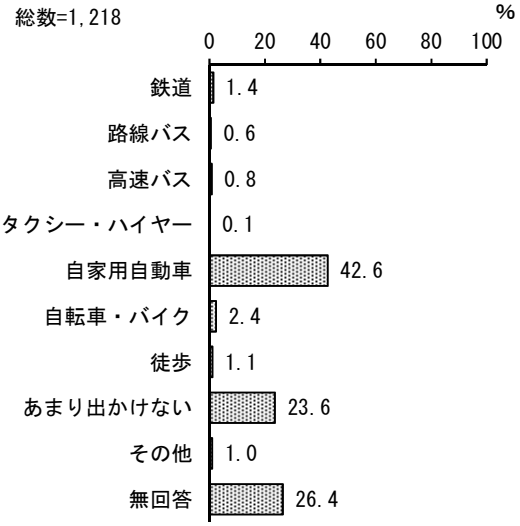
【（カ）日常的な外食】



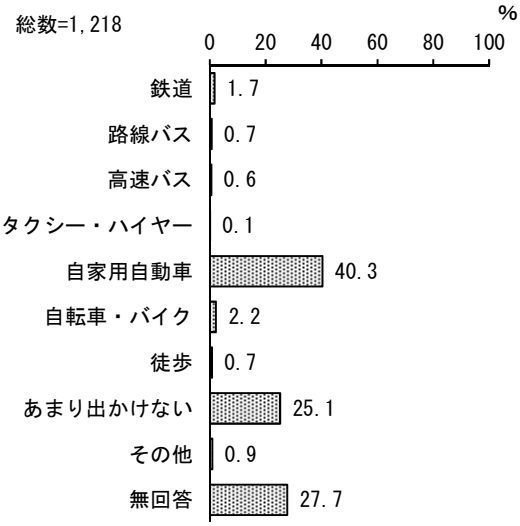
【（キ）映画・音楽・演劇などの鑑賞】



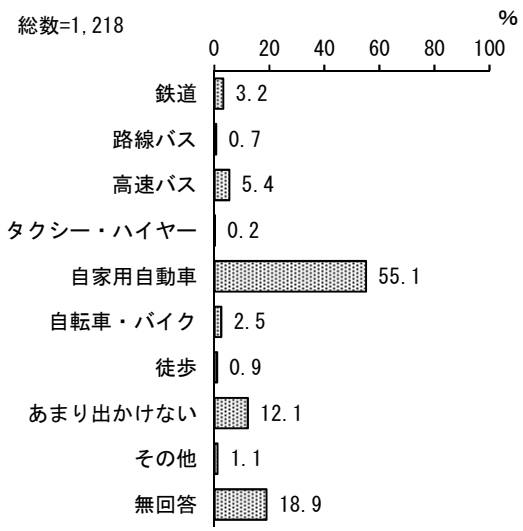
【（ク）ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ活動】



【（ケ）習い事・サークル活動】



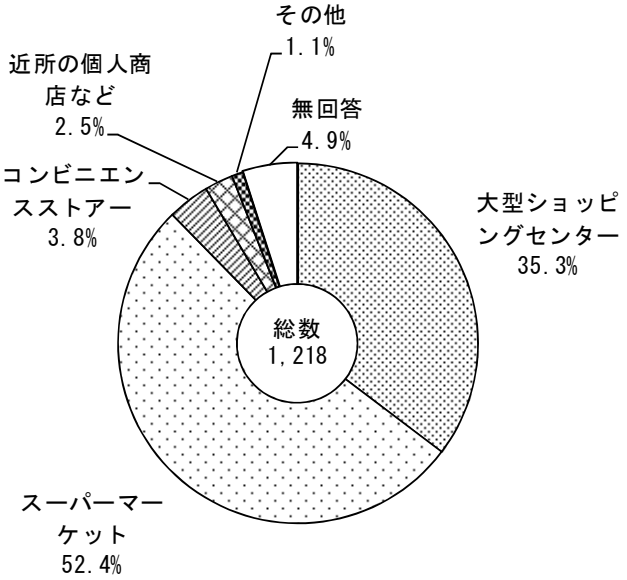
【（コ）休日などの休暇】



問 14-1　食料品や日用雑貨などの買物（問 14(ア)）は、主にどのような店舗に行かれますか。最も頻度の高いものを1つ選んで、番号に○印を付けてください。

○　食料品や日用雑貨などの買物先は、「スーパーマーケット」が 52.4％と最も高く、次いで「大型ショッピングセンター」の 35.3％の順となっています。

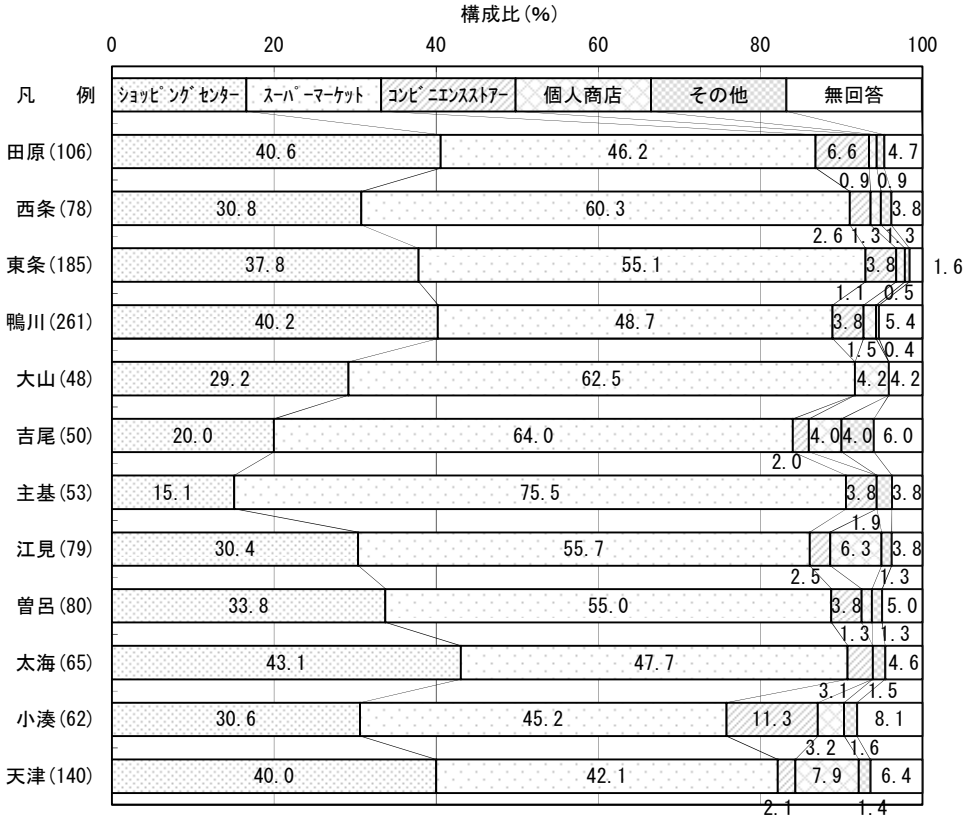
○　一方、「近所の個人商店など」は、わずか 2.5％にとどまっています。



■居住地区別の食料品や日用雑貨などの買物先（上位３つ）

○　居住地区別にみると、すべての地区で「スーパーマーケット」が最も高くなっています。また、「大型ショッピングセンター」は、市北西部の主基地区や吉尾地区などで相対的に低くなっています。

○　「近所の個人商店など」は、最も高い天津地区でも 7.9％にとどまっています。



（７）地域の住み心地について

１）地域の住み心地

問 15　あなたの地域の住み心地について、お聞きします。

回答欄①:お住まいの地域の周辺についてどの程度、満足していますか。最もお考えに近い内容を回答欄①から1つ選んで、○印を付けてください。

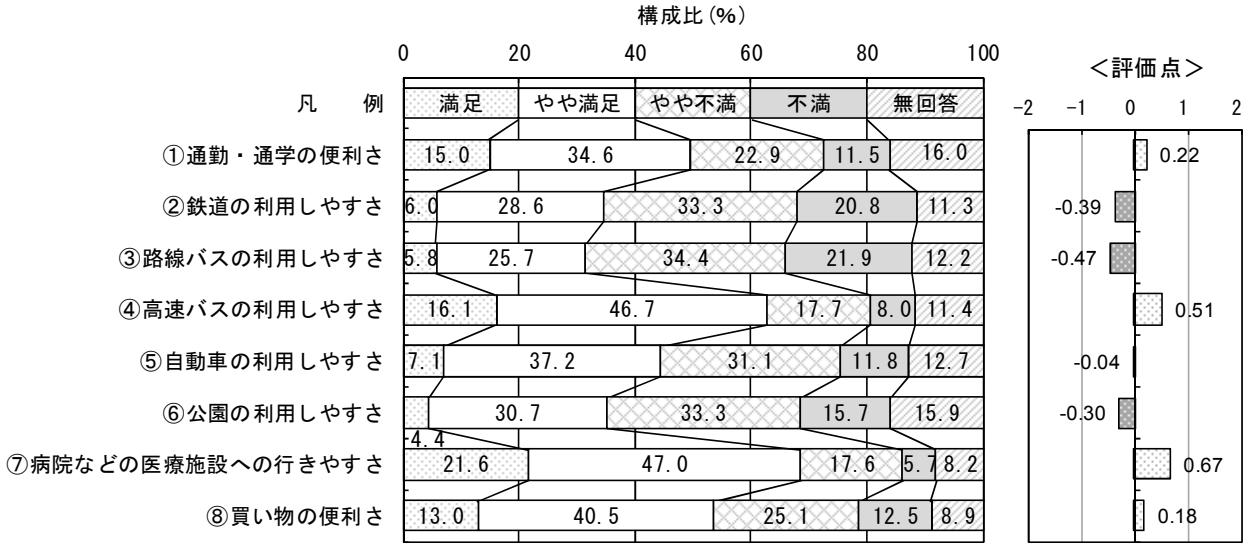
回答欄②:今後、まちづくりを進めていく上でどの程度、重要と思われますか。最もお考えに近い内容を回答欄②から1つ選んで、○印を付けてください。

①満足度

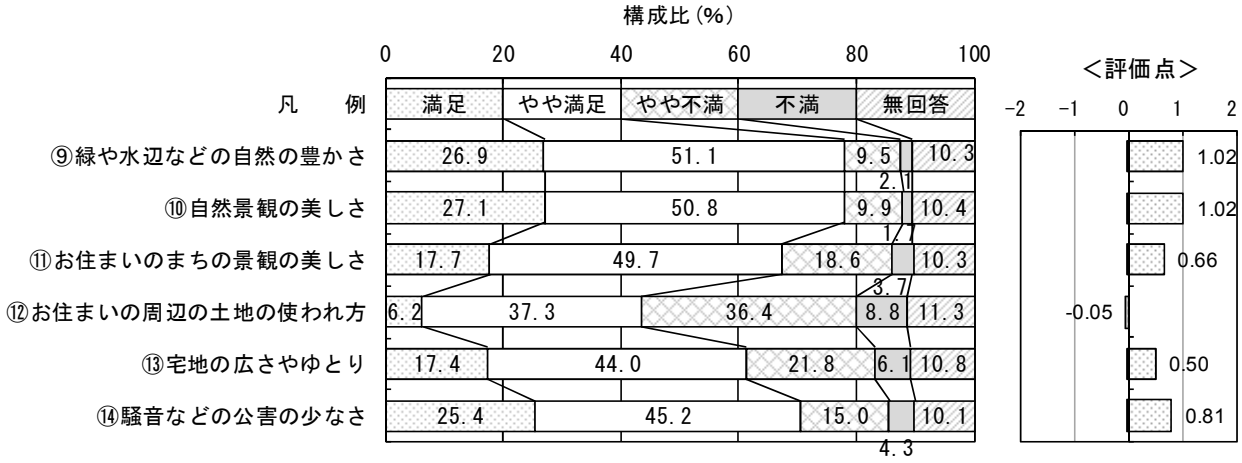
○　地域の住み心地の満足度を評価点でみると、「⑨緑や水辺などの自然の豊かさ」と「⑩自然景観の美しさ」が 1.02 で最も高く、次いで「⑭騒音などの公害の少なさ」の 0.81、「⑦病院などの医療施設への行きやすさ」の 0.67、「⑪お住まいのまちの景観の美しさ」の 0.66 が続き、自然環境や景観など快適性に関する項目で高くなっています。

○　一方、満足度の評価点が低い項目は、「⑮身近な道路の安全性」が-0.54 で最も低く、次いで「③路線バスの利用しやすさ」の-0.47、「⑰地震・水害などの自然災害に対する安全性」の-0.45、「②鉄道の利用しやすさ」の-0.39、「⑥公園の利用しやすさ」の-0.30 が続き、安全性や公共交通の利便性に関する項目で低くなっています。

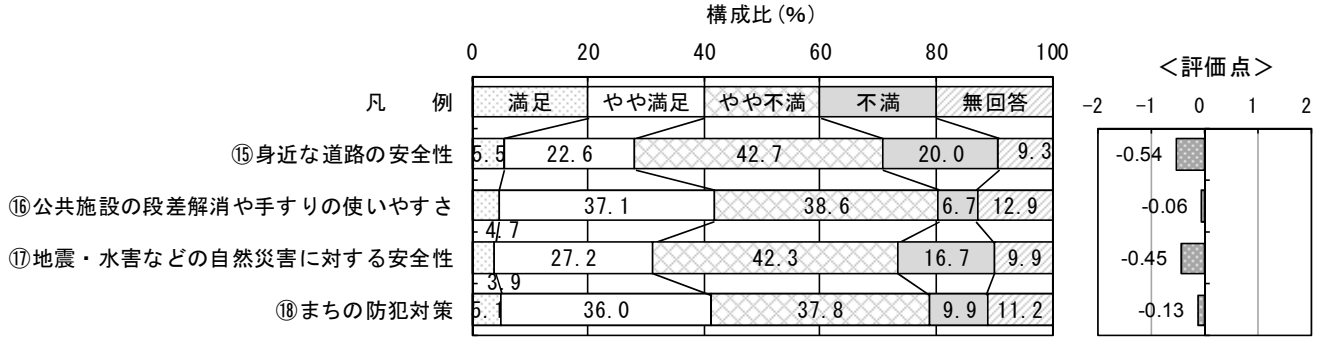
【利便性】



【快適性】


構成比(%)
0
20
40
60
80
100
＜評価点＞
−2
−1
0
1
2
凡　例
満足
やや満足
やや不満
不満
無回答
⑨緑や水辺などの自然の豊かさ
26.9
51.1
9.5
2.1
10.3
1.02
⑩自然景観の美しさ
27.1
50.8
9.9
1.7
10.4
1.02
⑪お住まいのまちの景観の美しさ
17.7
49.7
18.6
3.7
10.3
0.66
⑫お住まいの周辺の土地の使われ方
6.2
37.3
36.4
8.8
11.3
-0.05
⑬宅地の広さやゆとり
17.4
44.0
21.8
6.1
10.8
0.50
⑭騒音などの公害の少なさ
25.4
45.2
15.0
4.3
10.1
0.81

【安全性】


構成比(%)
0
20
40
60
80
100
＜評価点＞
−2
−1
0
1
2
凡　例
満足
やや満足
やや不満
不満
無回答
⑮身近な道路の安全性
5.5
22.6
42.7
20.0
9.3
-0.54
⑯公共施設の段差解消や手すりの使いやすさ
4.7
37.1
38.6
6.7
12.9
-0.06
⑰地震・水害などの自然災害に対する安全性
3.9
27.2
42.3
16.7
9.9
-0.45
⑱まちの防犯対策
5.1
36.0
37.8
9.9
11.2
-0.13

■年齢階層別の地域の住み心地の満足度（評価点）

○　年齢階層別に満足度を評価点みると、どの年代でも概ね「⑨緑や水辺などの自然の豊かさ」や「⑩自然景観の美しさ」が上位となっています。

○　一方､満足度の評価点の低い項目は､20 歳代以下では｢②鉄道の利用しやすさ」、30 歳代と 40 歳代では「⑮身近な道路の安全性」、50 歳代と 80 歳以上では「③路線バスの利用しやすさ」、60 歳代と 70 歳代では「⑰地震・水害などの自然災害に対する安全性」が１位となっています。また､｢③路線バスの利用しやすさ」や｢⑮身近な道路の安全性」は、どの年代でも概ね下位となっています。

○　項目ごとの満足度の評価点を年齢階層別にみると、10 歳代では快適性に関する項目、60 歳代では利便性に関する項目、80 歳以上では安全性に関する項目を高く評価しており、一方で 20 歳代では利便性に関する項目、70 歳代では快適性に関する項目を低く評価する傾向がうかがえます。

番号	項　目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		80歳以上	
①	通勤・通学の便利さ		−0.11		0.10		0.30		0.38		0.11		0.44		0.11		−0.06
②	鉄道の利用しやすさ	1	−0.60	1	−0.83	2	−0.60	3	−0.44		−0.42		0.02		−0.02		0.00
③	路線バスの利用しやすさ	3	−0.37	2	−0.73	3	−0.55	2	−0.50	1	−0.60		−0.18		−0.28	1	−0.21
④	高速バスの利用しやすさ		0.40		0.29		0.40		0.58		0.52		0.75		0.50		0.26
⑤	自動車の利用しやすさ		0.27		−0.21		−0.12		−0.12		−0.09		0.17		0.08		−0.05
⑥	公園の利用しやすさ	2	−0.38		−0.43		−0.19		−0.34		−0.23	3	−0.28	2	−0.49	2	−0.19
⑦	病院などの医療施設への行きやすさ		0.74		0.50		0.62		0.65		0.52	3	0.93	2	0.79		0.65
⑧	買い物の便利さ		0.10		−0.50		−0.13		0.19		0.31		0.61		0.32		0.35
⑨	緑や水辺などの自然の豊かさ	1	1.21	2	0.96	1	1.11	1	1.04	1	1.00	2	0.99	3	0.75	1	1.23
⑩	自然景観の美しさ	2	1.14	1	1.04	2	1.09	2	0.99	2	0.99	1	1.00	1	0.94	2	1.17
⑪	お住まいのまちの景観の美しさ		0.97	3	0.61		0.69		0.64		0.57		0.67		0.57		0.85
⑫	お住まいの周辺の土地の使われ方		0.40		−0.09		−0.11		0.00		−0.08		−0.05	3	−0.34		0.26
⑬	宅地の広さやゆとり		0.89		0.36		0.40		0.41		0.52		0.59		0.50		0.81
⑭	騒音などの公害の少なさ	3	1.06		0.50	3	0.89	3	0.79	3	0.80		0.82		0.72	3	1.06
⑮	身近な道路の安全性		−0.31	3	−0.63	1	−0.64	1	−0.68	2	−0.59	2	−0.48	3	−0.34		−0.02
⑯	公共施設の段差解消や手すりの使いやすさ		0.18		−0.09		0.04		−0.07		−0.17		−0.01		−0.19	2	−0.19
⑰	地震・水害などの自然災害に対する安全性		−0.28		−0.55		−0.51		−0.39	3	−0.47	1	−0.49	1	−0.54		−0.04
⑱	まちの防犯対策		0.02		−0.37		−0.11		−0.08		−0.16		−0.09		−0.26		0.24

※数字のうち、下線なしは各年齢層で評価が上位３位まで、下線ありは下位３位までを示す。
※網掛けのうち、濃い灰色は、各項目のうち最も高く評価している年代、薄い灰色は、最も低く評価している年代を示す。

■居住地区別の地域の住み心地の満足度（評価点）

○　居住地区別に満足度を評価点みると、どの地区でも概ね「⑨緑や水辺などの自然の豊かさ」や「⑩自然景観の美しさ」が上位となっています。その他、西条地区では「④高速バスの利用しやすさ」、東条地区では「⑦病院などの医療施設への行きやすさ」、大山地区と曽呂地区では「⑭騒音などの公害の少なさ」が１位となっています。

○　一方、満足度の評価点の低い項目は、市中央部の田原地区、西条地区、東条地区、鴨川地区、天津地区では「⑮身近な道路の安全性」、太海地区と小湊地区では「⑰地震・水害などの自然災害に対する安全性」、大山地区、主基地区、江見地区では「③路線バスの利用しやすさ」、吉尾地区と曽呂地区では「②鉄道の利用しやすさ」が１位となっています。また、「②鉄道の利用しやすさ」、「③路線バスの利用しやすさ」、「⑮身近な道路の安全性」は、どの地区でも概ね下位となっています。

○　項目ごとの満足度の評価点を居住地区別にみると、吉尾地区では快適性に関する項目を低く評価する傾向がうかがえます。

番号	項　目	田原		西条		東条		鴨川		大山		吉尾		主基		江見		曽呂		太海		小湊		天津	
①	通勤・通学の便利さ		0.40		0.46		0.44		0.45		-0.48		-0.13		-0.20		-0.02		-0.10		-0.05		0.10		0.26
②	鉄道の利用しやすさ	3	-0.30		-0.25		-0.28		-0.16	2	-0.88	1	-0.74	2	-0.89	2	-0.71	1	-0.66	3	-0.42		-0.13	3	-0.40
③	路線バスの利用しやすさ	2	-0.32	2	-0.41	2	-0.42	3	-0.23	1	-1.14	3	-0.57	1	-1.11	1	-0.77	2	-0.61		-0.41		-0.38		-0.39
④	高速バスの利用しやすさ		0.65	1	1.11		0.83		0.66		-0.35		-0.02		-0.04		-0.09		0.16		0.63		0.16		0.62
⑤	自動車の利用しやすさ		0.01	3	-0.33		0.07		-0.05		-0.02		-0.17		-0.21		-0.02		-0.04		0.14		0.14		-0.08
⑥	公園の利用しやすさ		-0.19		-0.25	3	-0.33		-0.19		-0.49		-0.43	3	-0.81	3	-0.56		-0.24		-0.23		-0.13		-0.34
⑦	病院などの医療施設への行きやすさ		0.56		0.80	1	1.14	3	0.79		0.00		0.20		0.04		0.49		0.32		0.68		0.32		0.82
⑧	買い物の便利さ		0.31		0.14		0.32		0.38		-0.19		0.00		0.00		0.21		0.14		0.27	2	-0.49		0.05
⑨	緑や水辺などの自然の豊かさ	2	0.96	2	0.99	2	1.02	2	0.95	3	0.98	1	0.91	1	1.17	2	1.21	3	0.97	1	1.03	1	1.13	2	1.03
⑩	自然景観の美しさ	1	1.03	2	0.99	3	0.99	1	0.97		0.95	2	0.78	3	1.02	1	1.25	2	1.13	2	0.97	2	1.11	1	1.09
⑪	お住まいのまちの景観の美しさ		0.75		0.67		0.55		0.51		0.51		0.47		0.66		0.85		0.76	3	0.88	3	1.04		0.70
⑫	お住まいの周辺の土地の使われ方		0.01		0.03		0.03		0.02		0.19		0.02		-0.13		-0.36		-0.28		-0.12		-0.16		-0.04
⑬	宅地の広さやゆとり		0.61		0.71		0.62		0.30	2	1.02	3	0.64		0.80		0.64		0.89		0.26		0.14		0.18
⑭	騒音などの公害の少なさ	3	0.94		0.89		0.74		0.53	1	1.24		0.52	2	1.09	3	0.97	1	1.16		0.66		0.87	3	0.85
⑮	身近な道路の安全性	1	-0.46	1	-0.51	1	-0.77	1	-0.55		-0.40	2	-0.67		-0.59		-0.04		-0.42	2	-0.45	3	-0.43	1	-0.70
⑯	公共施設の段差解消や手すりの使いやすさ		-0.01		0.03		-0.07		-0.13		0.05		0.05		-0.24		-0.01		-0.07		-0.22		0.27		-0.12
⑰	地震・水害などの自然災害に対する安全性		-0.21		-0.10		-0.28	2	-0.52	3	-0.63		-0.36		-0.47		-0.51	3	-0.53	1	-0.47	1	-0.76	2	-0.69
⑱	まちの防犯対策		-0.08		0.07		-0.10		-0.16		-0.38		-0.22		-0.23		0.11		-0.23		-0.13		-0.23		-0.13

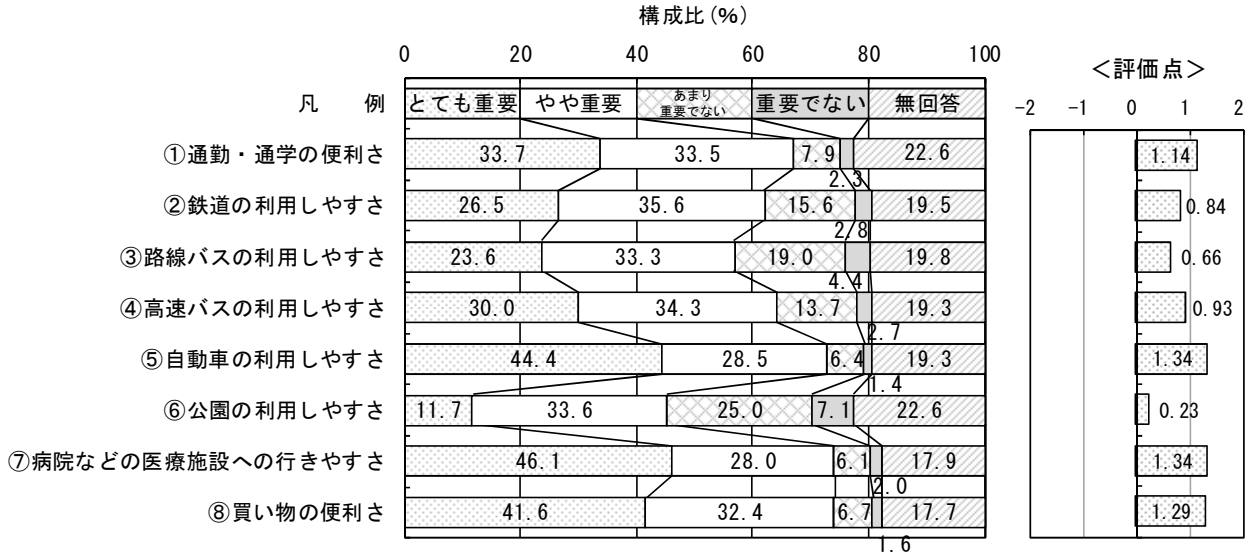
※数字のうち、下線なしは各地区で評価が上位３位まで、下線ありは下位３位までを示す。
※網掛けのうち、濃い灰色は、各項目のうち最も高く評価している地区、薄い灰色は、最も低く評価している地区を示す。

②重要度

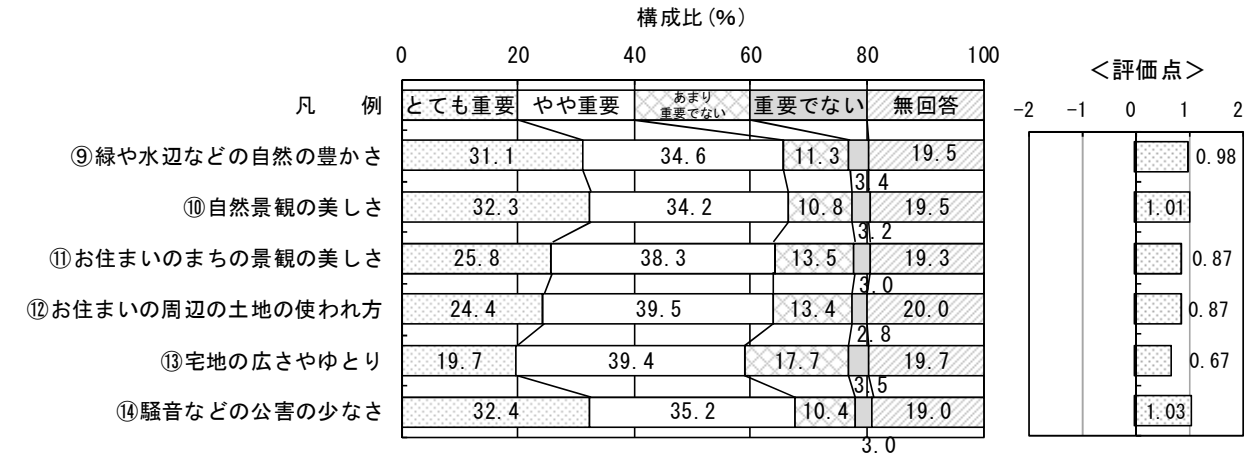
○　今後のまちづくりにおける重要度を評価点でみると、「⑰地震・水害などの自然災害に対する安全性」が 1.55 で最も高く、次いで「⑮身近な道路の安全性」の 1.50、「⑱まちの防犯対策」の 1.49、「⑤自動車の利用しやすさ」の 1.34、「⑦病院などの医療施設への行きやすさ」の 1.34 が続き、安全性に関する項目で高くなっています。

○　一方、重要度の評価点が低い項目は、「⑥公園の利用しやすさ」が 0.23 で最も低く、次いで「③路線バスの利用しやすさ」の 0.66、「⑬宅地の広さやゆとり」の 0.67、「②鉄道の利用しやすさ」の 0.84 が続き、公園に関する重要度が相対的に低くなっています。

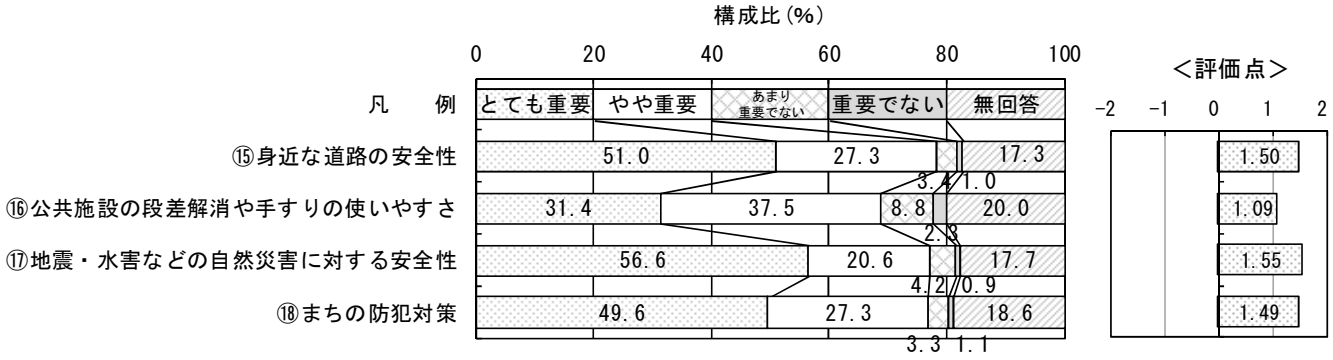
【利便性】



【快適性】



【安全性】


構成比(%)
0
20
40
60
80
100
＜評価点＞
凡　例
とても重要
やや重要
あまり重要でない
重要でない
無回答
⑮身近な道路の安全性
51.0
27.3
3.4
1.0
17.3
⑯公共施設の段差解消や手すりの使いやすさ
31.4
37.5
8.8
2.3
20.0
⑰地震・水害などの自然災害に対する安全性
56.6
20.6
4.2
0.9
17.7
⑱まちの防犯対策
49.6
27.3
3.3
1.1
18.6
-2
-1
0
1
2
1.50
1.09
1.55
1.49

■年齢階層別の今後のまちづくりにおける重要度（評価点）

○　年齢階層別に重要度を評価点でみると、どの年代でも概ね「⑮身近な道路の安全性」、「⑰地震・水害などの自然災害に対する安全性」、「⑱まちの防犯対策」が上位となっています。特に、10 歳代と 40 歳代を除いた年代で「⑰地震・水害などの自然災害に対する安全性」が１位となっています。

○　一方、重要度の評価点の低い項目は、30 歳代を除いた年代では「⑥公園の利用しやすさ」、30 歳代では「③路線バスの利用しやすさ」が１位となっています。また、「⑥公園の利用しやすさ」のほか、「③路線バスの利用しやすさ」や「⑬宅地の広さやゆとり」は、どの年代でも概ね下位となっています。

○　項目ごとの重要度の評価点を年齢階層別にみると、60 歳代では快適性に関する項目、80 歳以上では安全性に関する項目を高く評価しており、一方で 40 歳代では利便性に関する項目、20 歳代では快適性と安全性に関する項目を低く評価する傾向がうかがえます。

番号	項　目	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		80歳以上	
①	通勤・通学の便利さ		1.36		1.11		1.22		1.02		1.14		1.13		1.19		1.00
②	鉄道の利用しやすさ	3	1.43		0.93		0.75		0.64		0.88	3	0.85		0.81	2	0.86
③	路線バスの利用しやすさ		0.90	3	0.51	1	0.46	2	0.46	3	0.78	2	0.74	2	0.74		1.18
④	高速バスの利用しやすさ		0.87		0.86		0.90		0.69		1.13		1.10		0.85	3	0.91
⑤	自動車の利用しやすさ		1.17		1.21		1.33		1.26		1.51		1.42		1.24		1.38
⑥	公園の利用しやすさ	1	0.13	1	0.34	3	0.55	1	0.05	1	0.03	1	0.24	1	0.43	1	0.27
⑦	病院などの医療施設への行きやすさ		1.17		1.17		1.15		1.14		1.51		1.53	3	1.59		1.68
⑧	買い物の便利さ		1.26		1.17		1.23		1.12		1.32		1.44		1.50		1.49
⑨	緑や水辺などの自然の豊かさ		1.13		0.67		0.92		0.76		1.01		1.22		1.25		1.26
⑩	自然景観の美しさ		1.10		0.82		0.90		0.73		1.05		1.35		1.23		1.32
⑪	お住まいのまちの景観の美しさ		0.98		0.68		0.83	3	0.62		0.88		1.20		1.05		0.97
⑫	お住まいの周辺の土地の使われ方	3	0.66		0.60		0.74		0.84		0.86		1.22		0.97		1.00
⑬	宅地の広さやゆとり	2	0.57	2	0.45	2	0.53		0.66	2	0.65		0.92	3	0.80	3	0.91
⑭	騒音などの公害の少なさ		1.03		0.78		0.97		0.84		1.10		1.27		1.22		1.14
⑮	身近な道路の安全性	3	1.43	2	1.32	2	1.51	1	1.39	2	1.56	3	1.63		1.49	3	1.69
⑯	公共施設の段差解消や手すりの使いやすさ		1.05		0.84		0.90		0.90		1.15		1.37		1.37		1.54
⑰	地震・水害などの自然災害に対する安全性	2	1.52	1	1.39	1	1.54	2	1.37	1	1.61	1	1.72	1	1.62	1	1.83
⑱	まちの防犯対策	1	1.53	3	1.27	3	1.44	3	1.29	3	1.55	2	1.70	2	1.61	1	1.83

※数字のうち、下線なしは各年齢層で評価が上位３位まで、下線ありは下位３位までを示す。
※網掛けのうち、濃い灰色は、各項目のうち最も高く評価している年代、薄い灰色は、最も低く評価している年代を示す。

■居住地区別の今後のまちづくりにおける重要度（評価点）

○　居住地区別に重要度を評価点でみると、どの地区でも概ね「⑮身近な道路の安全性」、「⑰地震・水害などの自然災害に対する安全性」、「⑱まちの防犯対策」が上位となっています。その他、西条地区では「⑤自動車の利用しやすさ」が１位となっています。

○　一方、重要度の評価点の低い項目は、すべての地区で「⑥公園の利用しやすさ」が１位となっています。

○　項目ごとの重要度の評価点を居住地区別にみると、曽呂地区では安全性に関する項目を低く評価する傾向がうかがえます。

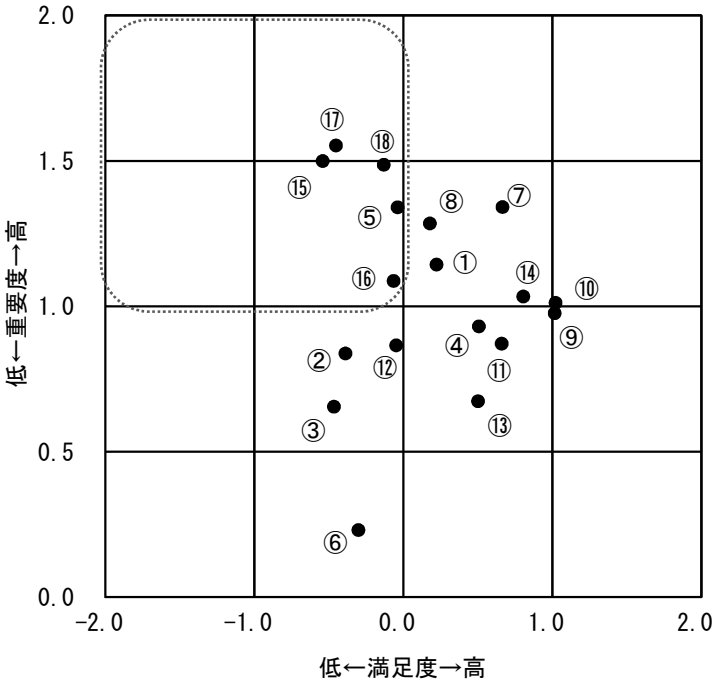
番号	項　目	田原		西条		東条		鴨川		大山		吉尾		主基		江見		曽呂		太海		小湊		天津	
①	通勤・通学の便利さ		1.02		1.16		1.11		1.22		1.11		1.08		1.29		1.05		1.03		1.08		1.20		1.24
②	鉄道の利用しやすさ	2	0.59		0.90		0.80		0.97		0.80		0.90		1.12		0.85	3	0.45	3	0.78		1.13		0.84
③	路線バスの利用しやすさ		0.63	2	0.66	2	0.43	2	0.69		0.89	3	0.69		1.21	2	0.55	2	0.44	2	0.70		0.60		0.79
④	高速バスの利用しやすさ		1.06		1.32		0.90		1.00		0.72		0.97		1.09		1.12		0.81		0.83	2	0.43		0.80
⑤	自動車の利用しやすさ		1.35	1	1.64		1.37		1.35		1.00		1.38		1.26		1.34		1.16		1.28		1.32		1.39
⑥	公園の利用しやすさ	1	0.26	1	0.23	1	0.29	1	0.40	1	0.00	1	0.21	1	0.18	1	0.29	1	-0.09	1	0.13	1	-0.07	1	0.24
⑦	病院などの医療施設への行きやすさ		1.18		1.38		1.31		1.34		1.16		1.50		1.23	3	1.37	3	1.27		1.36	3	1.51		1.49
⑧	買い物の便利さ		1.23		1.23		1.34		1.25		1.16		1.48		1.20		1.12		1.15		1.33	2	1.52		1.41
⑨	緑や水辺などの自然の豊かさ		0.95		0.91		1.04		0.92	3	0.69		1.38		1.12		1.07		0.75		1.17		1.06		0.95
⑩	自然景観の美しさ		1.07		0.98		1.07		1.00		0.79		1.23		1.10		1.10		0.75		1.22		1.04		0.90
⑪	お住まいのまちの景観の美しさ		0.88		0.92		0.90		0.84		0.83		1.16		0.90		0.90		0.79		1.13		0.87		0.73
⑫	お住まいの周辺の土地の使われ方		0.86		1.08		0.88		0.89		1.06		0.92	3	0.83		1.00		0.73		1.00	3	0.59	3	0.69
⑬	宅地の広さやゆとり	2	0.59	3	0.75	3	0.78	3	0.70	2	0.64	2	0.61	2	0.58	3	0.56		0.50	3	0.78		0.77	2	0.66
⑭	騒音などの公害の少なさ		0.98		1.12		1.12		1.16		0.94		0.95		1.16		0.90		0.70		1.02		0.80		1.11
⑮	身近な道路の安全性	1	1.51	2	1.63	1	1.66	3	1.50	1	1.42	3	1.51	1	1.52		1.25		1.24	2	1.47		1.46	3	1.51
⑯	公共施設の段差解消や手すりの使いやすさ		1.19		1.12		1.06		1.03		0.76		1.13		1.12		1.29		0.99		1.37		1.04		1.04
⑰	地震・水害などの自然災害に対する安全性	2	1.41	3	1.60	2	1.52	1	1.63	3	1.29	1	1.55	2	1.46	1	1.67	2	1.28	1	1.61	1	1.65	1	1.69
⑱	まちの防犯対策	2	1.41		1.58	3	1.50	2	1.53	2	1.31	2	1.53	3	1.37	2	1.66	1	1.31	3	1.38		1.47	2	1.61

※数字のうち、下線なしは各地区で評価が上位３位まで、下線ありは下位３位までを示す。
※網掛けのうち、濃い灰色は、各項目のうち最も高く評価している地区、薄い灰色は、最も低く評価している地区を示す。

■地域の住み心地の満足度と今後のまちづくりにおける重要度の関係

○　満足度と今後のまちづくりにおける重要度から、取り組みの優先度を評価すると、最も優先度の高い『強化領域』に位置する項目として「⑤自動車の利用しやすさ」、「⑮身近な道路の安全性」、「⑯公共施設の段差解消や手すりの使いやすさ」、「⑰地震・水害などの自然災害に対する安全性」、「⑱まちの防犯対策」があげられ、安全性に関する項目が多くなっています。

＜住み心地に関する項目＞
①通勤・通学の便利さ
②鉄道の利用しやすさ
③路線バスの利用しやすさ
④高速バスの利用しやすさ
⑤自動車の利用しやすさ
⑥公園の利用しやすさ
⑦病院などの医療施設への行きやすさ
⑧買い物の便利さ
⑨緑や水辺などの自然の豊かさ
⑩自然景観の美しさ
⑪お住まいのまちの景観の美しさ
⑫お住まいの周辺の土地の使われ方
⑬宅地の広さやゆとり
⑭騒音などの公害の少なさ
⑮身近な道路の安全性
⑯公共施設の段差解消や手すりの使いやすさ
⑰地震・水害などの自然災害に対する安全性
⑱まちの防犯対策



◎グラフの見方

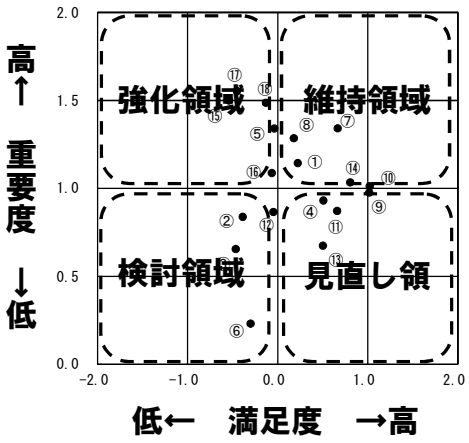
住み心地に関する項目に対する満足度と今後の取り組みに対する重要度から、取り組みとしての優先度を評価しています。

「強化領域」
満足度が低く、重要度が高い領域に位置する項目は、取り組みの内容を見直し、満足度を高めることが必要となる項目として評価されます。

「維持領域」
満足度と重要度がともに高い領域に位置する項目は、現状の方向を継続して取り組むことが必要となる項目として評価されます。

「見直し領域」
満足度が高く、重要度が低い領域に位置する項目は、取り組むことの要否そのものを検討することが必要となる項目として評価されます。

「検討領域」
満足度と重要度が相対的に低い領域に位置する項目は、重点をおいて取り組むことの要否を検討することが必要となる項目として評価されます。



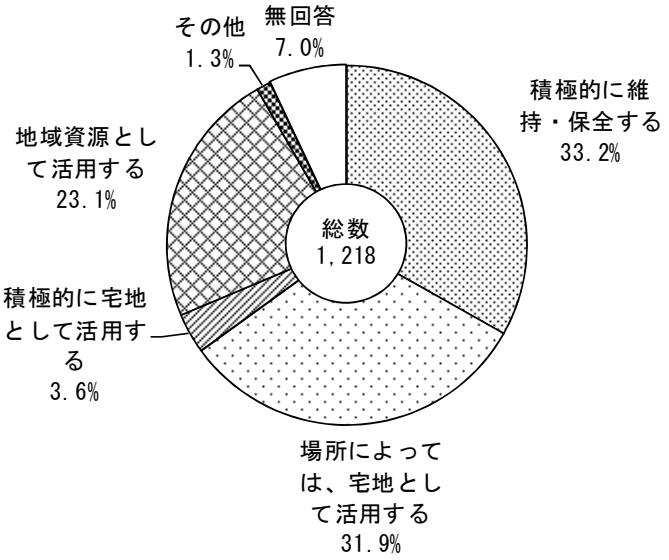
（８）今後の土地利用や施設整備のあり方について

１）今後の土地利用や施設整備のあり方

問 16　今後の望ましい土地利用や施設整備のあり方について、お聞きします。
分野ごとにお考えに近いものを1つ選んで、番号に○印を付けてください。

①農地・山林

○　農地・山林の今後のあり方は、「積極的に維持・保全する」の 33.2%、「場所によっては、宅地として活用する」の 31.9%が高く、次いで「地域資源として活用する」の 23.1%、「積極的に宅地として活用する」の 3.6%の順となっています。



■年齢階層別の農地・山林のあり方（上位３つ）

○　年齢階層別にみると、「積極的に維持・保全する」が１位となっている年代が多くなっていますが、30 歳代から 50 歳代では「場所によっては、宅地として活用する」、70 歳代では「地域資源として活用する」が１位となっています。

○　特に、10 歳代の「積極的に維持・保全する」が 53.1%と比率が高くなっています。

	１位		２位		３位	
10歳代	・積極的に維持・保全する	(53.1%)	・場所によっては、宅地として活用する	(26.6%)	・地域資源として活用する	(15.6%)
20歳代	・積極的に維持・保全する	(33.9%)	・場所によっては、宅地として活用する	(26.8%)	・地域資源として活用する	(25.0%)
30歳代	・場所によっては、宅地として活用する	(44.0%)	・積極的に維持・保全する	(34.8%)	・地域資源として活用する	(16.3%)
40歳代	・積極的に維持・保全する ・場所によっては、宅地として活用する	(34.1%)	－	－	・地域資源として活用する	(21.3%)
50歳代	・場所によっては、宅地として活用する	(36.4%)	・地域資源として活用する	(28.9%)	・積極的に維持・保全する	(27.7%)
60歳代	・積極的に維持・保全する	(37.2%)	・地域資源として活用する	(26.6%)	・場所によっては、宅地として活用する	(24.1%)
70歳代	・積極的に維持・保全する ・地域資源として活用する	(27.8%)	－	－	・場所によっては、宅地として活用する	(24.3%)
80歳以上	・積極的に維持・保全する	(28.2%)	・場所によっては、宅地として活用する	(24.4%)	・地域資源として活用する	(14.1%)

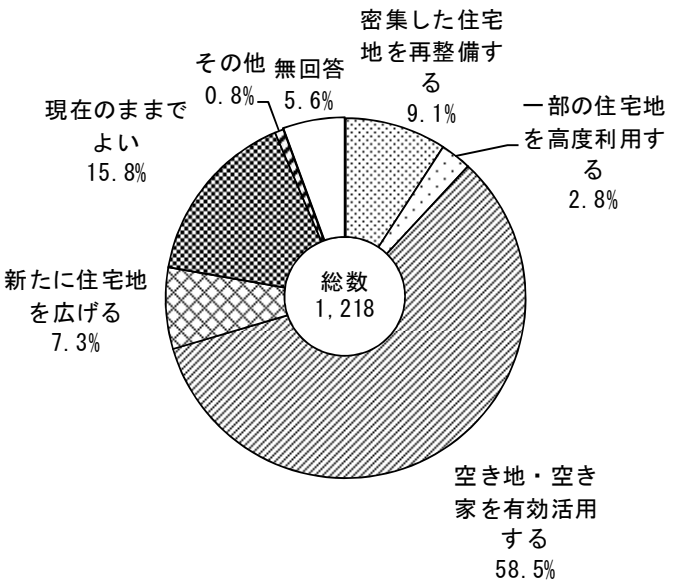
■居住地区別の農地・山林のあり方（上位３つ）

○　居住地区別にみると、すべての地区で「積極的に維持・保全する」または「場所によっては、宅地として活用する」のいずれかが１位となっています。また、吉尾地区では「地域資源として活用する」も１位となっています。

	１位		２位		３位	
田原	・場所によっては、宅地として活用する	(35.8%)	・積極的に維持・保全する	(30.2%)	・地域資源として活用する	(22.6%)
西条	・場所によっては、宅地として活用する	(33.3%)	・積極的に維持・保全する	(30.8%)	・地域資源として活用する	(23.1%)
東条	・積極的に維持・保全する	(38.9%)	・場所によっては、宅地として活用する	(32.4%)	・地域資源として活用する	(21.1%)
鴨川	・積極的に維持・保全する	(34.1%)	・場所によっては、宅地として活用する	(31.8%)	・地域資源として活用する	(20.7%)
大山	・積極的に維持・保全する	(39.6%)	・場所によっては、宅地として活用する	(29.2%)	・地域資源として活用する	(18.8%)
吉尾	・場所によっては、宅地として活用する ・地域資源として活用する	(32.0%)	－	－	・積極的に維持・保全する	(28.0%)
主基	・場所によっては、宅地として活用する	(37.7%)	・地域資源として活用する	(28.3%)	・積極的に維持・保全する	(26.4%)
江見	・積極的に維持・保全する	(43.0%)	・地域資源として活用する	(22.8%)	・場所によっては、宅地として活用する	(20.3%)
曽呂	・場所によっては、宅地として活用する	(35.0%)	・積極的に維持・保全する	(31.3%)	・地域資源として活用する	(25.0%)
太海	・積極的に維持・保全する	(40.0%)	・場所によっては、宅地として活用する	(24.6%)	・地域資源として活用する	(21.5%)
小湊	・積極的に維持・保全する	(35.5%)	・場所によっては、宅地として活用する	(30.6%)	・地域資源として活用する	(19.4%)
天津	・場所によっては、宅地として活用する	(34.3%)	・地域資源として活用する	(30.0%)	・積極的に維持・保全する	(23.6%)

②住宅地

○　住宅地の今後のあり方は、「空き地・空き家を有効活用する」が58.5%で過半を占めており、次いで「現在のままでよい」の15.8%、「密集した住宅地を再整備する」の9.1%の順となっています。



■年齢階層別の住宅地のあり方（上位３つ）

○　年齢階層別にみると、すべての年代で「空き地・空き家を有効活用する」が１位、「現在のままでよい」が２位となっています。

○　また、30 歳代から 70 歳代では、半数以上の方が「空き地・空き家を有効活用する」に回答しています。

	１位		２位		３位	
10歳代	・空き地・空き家を有効活用する	(48.4%)	・現在のままでよい	(23.4%)	・密集した住宅地を再整備する	(12.5%)
20歳代	・空き地・空き家を有効活用する	(49.1%)	・現在のままでよい	(17.0%)	・密集した住宅地を再整備する	(13.4%)
30歳代	・空き地・空き家を有効活用する	(60.9%)	・現在のままでよい	(12.5%)	・新たに住宅地を広げる	(12.0%)
40歳代	・空き地・空き家を有効活用する	(55.9%)	・現在のままでよい	(16.6%)	・密集した住宅地を再整備する	(12.8%)
50歳代	・空き地・空き家を有効活用する	(65.3%)	・現在のままでよい	(13.6%)	・新たに住宅地を広げる	(8.3%)
60歳代	・空き地・空き家を有効活用する	(65.8%)	・現在のままでよい	(16.6%)	・密集した住宅地を再整備する	(5.5%)
70歳代	・空き地・空き家を有効活用する	(57.4%)	・現在のままでよい	(20.9%)	・密集した住宅地を再整備する	(7.0%)
80歳以上	・空き地・空き家を有効活用する	(44.9%)	・現在のままでよい	(14.1%)	・密集した住宅地を再整備する	(9.0%)

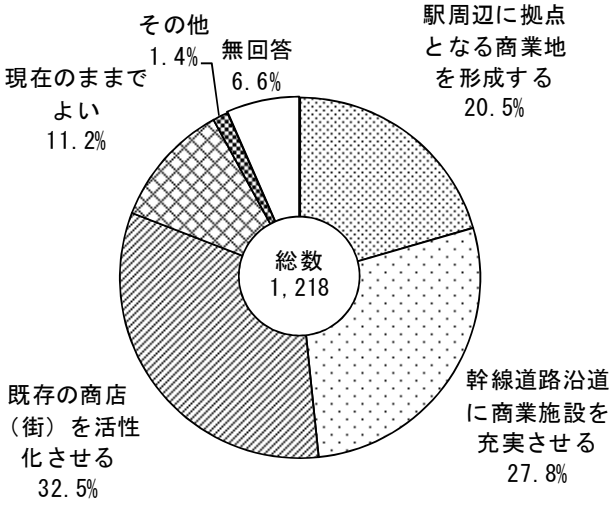
■居住地区別の住宅地のあり方（上位３つ）

○　居住地区別にみると、すべての地区で「空き地・空き家を有効活用する」が１位となっています。２位は、西条地区を除いた地区では「現在のままでよい」となっていますが、西条地区では「密集した住宅地を整備する」となっています。

	１位		２位		３位	
田原	・空き地・空き家を有効活用する	(67.9%)	・現在のままでよい	(10.4%)	・密集した住宅地を再整備する ・新たに住宅地を広げる	(7.5%)
西条	・空き地・空き家を有効活用する	(56.4%)	・密集した住宅地を再整備する	(14.1%)	・現在のままでよい	(12.8%)
東条	・空き地・空き家を有効活用する	(56.2%)	・現在のままでよい	(18.4%)	・密集した住宅地を再整備する	(9.2%)
鴨川	・空き地・空き家を有効活用する	(57.9%)	・現在のままでよい	(15.3%)	・密集した住宅地を再整備する	(10.7%)
大山	・空き地・空き家を有効活用する	(60.4%)	・現在のままでよい	(14.6%)	・密集した住宅地を再整備する	(10.4%)
吉尾	・空き地・空き家を有効活用する	(60.0%)	・現在のままでよい	(14.0%)	・新たに住宅地を広げる	(8.0%)
主基	・空き地・空き家を有効活用する	(60.4%)	・現在のままでよい	(17.0%)	・新たに住宅地を広げる	(9.4%)
江見	・空き地・空き家を有効活用する	(55.7%)	・現在のままでよい	(24.1%)	・密集した住宅地を再整備する	(6.3%)
曽呂	・空き地・空き家を有効活用する	(61.3%)	・現在のままでよい	(18.8%)	・密集した住宅地を再整備する	(8.8%)
太海	・空き地・空き家を有効活用する	(56.9%)	・現在のままでよい	(18.5%)	・一部の住宅地を高度利用する ・新たに住宅地を広げる	(4.6%)
小湊	・空き地・空き家を有効活用する	(51.6%)	・現在のままでよい	(17.7%)	・新たに住宅地を広げる	(12.9%)
天津	・空き地・空き家を有効活用する	(62.1%)	・現在のままでよい	(12.1%)	・密集した住宅地を再整備する	(10.7%)

③商業地

○　商業地の今後のあり方は、「既存の商店（街）を活性化させる」が 32.5%で最も高く、次いで「幹線道路沿道に商業施設を充実させる」の 27.8%、「駅周辺に拠点となる商業地を形成する」の 20.5%の順となっています。



■年齢階層別の商業地のあり方（上位３つ）

○　年齢階層別にみると、10 歳代では「駅周辺に拠点となる商業地を形成する」、20 歳代から 50 歳代では「幹線道路沿道に商業施設を充実させる」、60 歳代以上では「既存の商店（街）を活性化させる」が１位となっており、年齢層の違いによる傾向がうかがわれます。

	１位		２位		３位	
10歳代	・駅周辺に拠点となる商業地を形成する	(43.8%)	・既存の商店（街）を活性化させる	(31.3%)	・現在のままでよい	(10.9%)
20歳代	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(33.9%)	・駅周辺に拠点となる商業地を形成する	(28.6%)	・既存の商店（街）を活性化させる	(18.8%)
30歳代	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(35.3%)	・既存の商店（街）を活性化させる	(32.6%)	・駅周辺に拠点となる商業地を形成する	(20.1%)
40歳代	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(32.2%)	・既存の商店（街）を活性化させる	(27.0%)	・駅周辺に拠点となる商業地を形成する	(23.7%)
50歳代	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(36.8%)	・既存の商店（街）を活性化させる	(28.1%)	・駅周辺に拠点となる商業地を形成する	(19.0%)
60歳代	・既存の商店（街）を活性化させる	(44.2%)	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(20.1%)	・駅周辺に拠点となる商業地を形成する	(16.6%)
70歳代	・既存の商店（街）を活性化させる	(47.8%)	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(14.8%)	・現在のままでよい	(13.0%)
80歳以上	・既存の商店（街）を活性化させる	(30.8%)	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(17.9%)	・駅周辺に拠点となる商業地を形成する	(14.1%)

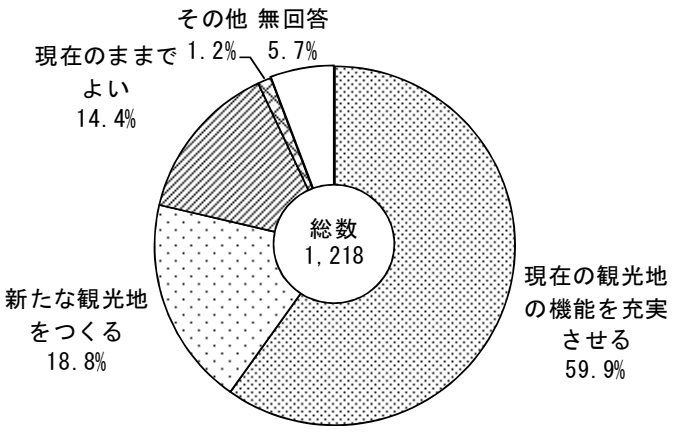
■居住地区別の商業地のあり方（上位３つ）

○　居住地区別にみると、「既存の商店（街）を活性化させる」が１位となっている地区が多くなっていますが、田原地区、西条地区、小湊地区では「幹線道路沿道に商業施設を充実させる」、東条地区では「駅周辺に拠点となる商業地を形成する」が１位となっています。

	１位		２位		３位	
田原	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(34.0%)	・既存の商店（街）を活性化させる	(30.2%)	・駅周辺に拠点となる商業地を形成する ・現在のままでよい	(14.2%)
西条	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(35.9%)	・既存の商店（街）を活性化させる	(29.5%)	・駅周辺に拠点となる商業地を形成する	(20.5%)
東条	・駅周辺に拠点となる商業地を形成する	(29.2%)	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(28.6%)	・既存の商店（街）を活性化させる	(28.1%)
鴨川	・既存の商店（街）を活性化させる	(32.2%)	・駅周辺に拠点となる商業地を形成する	(26.1%)	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(23.4%)
大山	・既存の商店（街）を活性化させる	(39.6%)	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(33.3%)	・現在のままでよい	(12.5%)
吉尾	・既存の商店（街）を活性化させる	(38.0%)	・現在のままでよい	(22.0%)	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(20.0%)
主基	・既存の商店（街）を活性化させる	(35.8%)	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(34.0%)	・現在のままでよい	(15.1%)
江見	・既存の商店（街）を活性化させる	(35.4%)	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(25.3%)	・駅周辺に拠点となる商業地を形成する	(17.7%)
曽呂	・既存の商店（街）を活性化させる	(40.0%)	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(28.8%)	・現在のままでよい	(13.8%)
太海	・既存の商店（街）を活性化させる	(30.8%)	・駅周辺に拠点となる商業地を形成する	(29.2%)	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(21.5%)
小湊	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(29.0%)	・既存の商店（街）を活性化させる	(25.8%)	・駅周辺に拠点となる商業地を形成する	(21.0%)
天津	・既存の商店（街）を活性化させる	(36.4%)	・幹線道路沿道に商業施設を充実させる	(29.3%)	・駅周辺に拠点となる商業地を形成する	(17.1%)

④観光地

○　観光地の今後のあり方は、「現在の観光地の機能を充実させる」が59.9%で過半を占めており、次いで「新たな観光地をつくる」の18.8%、「現在のままでよい」の14.4%の順となっています。



■年齢階層別の観光地のあり方（上位３つ）

○　年齢階層別にみると、すべての年代で「現在の観光地の機能を充実させる」が１位となっています。２位は、60 歳代と 70 歳代では「現在のままでよい」となっていますが、これらを除いた年代では「新たな観光地をつくる」となっています。

○　また、80 歳以上を除いた年代では、半数以上の方が「現在の観光地の機能を充実させる」に回答しています。一方で、20 歳代から 40 歳代では「新たな観光地をつくる」の比率が 20.0%以上と相対的に高くなっています。

	１位		２位		３位	
10歳代	・現在の観光地の機能を充実させる	(60.9%)	・新たな観光地をつくる	(18.8%)	・現在のままでよい	(15.6%)
20歳代	・現在の観光地の機能を充実させる	(52.7%)	・新たな観光地をつくる	(24.1%)	・現在のままでよい	(15.2%)
30歳代	・現在の観光地の機能を充実させる	(64.1%)	・新たな観光地をつくる	(20.7%)	・現在のままでよい	(12.5%)
40歳代	・現在の観光地の機能を充実させる	(53.1%)	・新たな観光地をつくる	(24.6%)	・現在のままでよい	(17.1%)
50歳代	・現在の観光地の機能を充実させる	(68.2%)	・新たな観光地をつくる	(17.4%)	・現在のままでよい	(12.0%)
60歳代	・現在の観光地の機能を充実させる	(64.8%)	・現在のままでよい	(14.6%)	・新たな観光地をつくる	(13.6%)
70歳代	・現在の観光地の機能を充実させる	(58.3%)	・現在のままでよい	(16.5%)	・新たな観光地をつくる	(14.8%)
80歳以上	・現在の観光地の機能を充実させる	(43.6%)	・新たな観光地をつくる	(15.4%)	・現在のままでよい	(12.8%)

■居住地区別の観光地のあり方（上位３つ）

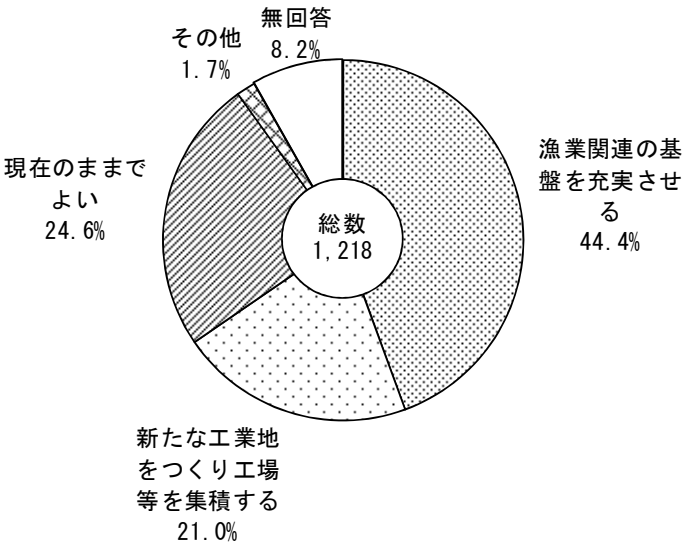
○　居住地区別にみると、すべての地区で「現在の観光地の機能を充実させる」が１位となっています。２位は、大山地区、吉尾地区、太海地区では「現在のままでよい」となっていますが、これらを除いた地区では「新たな観光地をつくる」となっています。

○　また、吉尾地区を除いた地区では、半数以上の方が「現在の観光地の機能を充実させる」に回答しています。

	１位		２位		３位	
田原	・現在の観光地の機能を充実させる	(52.8%)	・新たな観光地をつくる	(22.6%)	・現在のままでよい	(19.8%)
西条	・現在の観光地の機能を充実させる	(64.1%)	・新たな観光地をつくる	(20.5%)	・現在のままでよい	(9.0%)
東条	・現在の観光地の機能を充実させる	(63.2%)	・新たな観光地をつくる	(20.0%)	・現在のままでよい	(12.4%)
鴨川	・現在の観光地の機能を充実させる	(60.2%)	・新たな観光地をつくる	(21.5%)	・現在のままでよい	(11.1%)
大山	・現在の観光地の機能を充実させる	(60.4%)	・現在のままでよい	(16.7%)	・新たな観光地をつくる	(14.6%)
吉尾	・現在の観光地の機能を充実させる	(44.0%)	・現在のままでよい	(32.0%)	・新たな観光地をつくる	(16.0%)
主基	・現在の観光地の機能を充実させる	(54.7%)	・新たな観光地をつくる	(22.6%)	・現在のままでよい	(18.9%)
江見	・現在の観光地の機能を充実させる	(65.8%)	・新たな観光地をつくる	(12.7%)	・現在のままでよい	(12.7%)
曽呂	・現在の観光地の機能を充実させる	(60.0%)	・新たな観光地をつくる	(20.0%)	・現在のままでよい	(16.3%)
太海	・現在の観光地の機能を充実させる	(58.5%)	・現在のままでよい	(16.9%)	・新たな観光地をつくる	(15.4%)
小湊	・現在の観光地の機能を充実させる	(67.7%)	・新たな観光地をつくる	(12.9%)	・現在のままでよい	(8.1%)
天津	・現在の観光地の機能を充実させる	(62.1%)	・新たな観光地をつくる	(17.1%)	・現在のままでよい	(13.6%)

⑤工業地

○　工業地の今後のあり方は、「漁業関連の基盤を充実させる」が 44.4％で最も高く、次いで「現在のままでよい」の 24.6%、「新たな工業地をつくり工場等を集積する」の 21.0％の順となっています。



■年齢階層別の工業地のあり方（上位３つ）

○　年齢階層別にみると、すべての年代で「漁業関連の基盤を充実させる」が１位となっています。２位は、40 歳代以下では「現在のままでよい」となっていますが、50 歳代以上では「新たな工業地をつくり工場等を集積する」となっています。

	１位		２位		３位	
10歳代	・漁業関連の基盤を充実させる	(56.3%)	・現在のままでよい	(32.8%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(6.3%)
20歳代	・漁業関連の基盤を充実させる	(46.4%)	・現在のままでよい	(32.1%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(9.8%)
30歳代	・漁業関連の基盤を充実させる	(53.3%)	・現在のままでよい	(27.2%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(16.8%)
40歳代	・漁業関連の基盤を充実させる	(42.7%)	・現在のままでよい	(29.9%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(21.8%)
50歳代	・漁業関連の基盤を充実させる	(44.6%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(27.3%)	・現在のままでよい	(23.1%)
60歳代	・漁業関連の基盤を充実させる	(45.2%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(24.6%)	・現在のままでよい	(17.6%)
70歳代	・漁業関連の基盤を充実させる	(31.3%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(27.0%)	・現在のままでよい	(21.7%)
80歳以上	・漁業関連の基盤を充実させる	(35.9%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(19.2%)	・現在のままでよい	(12.8%)

■居住地区別の工業地のあり方（上位３つ）

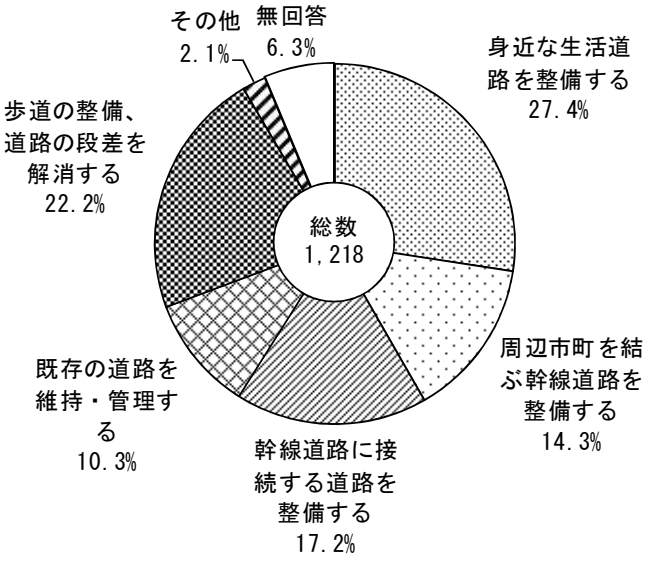
○　居住地区別にみると、吉尾地区を除いた地区では「漁業関連の基盤を充実させる」が１位となっていますが、吉尾地区では「現在のままでよい」が１位となっています。

○　また、西条地区、小湊地区、天津地区では、半数以上の方が「漁業関連の基盤を充実させる」に回答しています。

	１位		２位		３位	
田原	・漁業関連の基盤を充実させる	(41.5%)	・現在のままでよい	(28.3%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(22.6%)
西条	・漁業関連の基盤を充実させる	(50.0%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(21.8%)	・現在のままでよい	(20.5%)
東条	・漁業関連の基盤を充実させる	(40.0%)	・現在のままでよい	(30.8%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(18.9%)
鴨川	・漁業関連の基盤を充実させる	(47.5%)	・現在のままでよい	(24.1%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(19.9%)
大山	・漁業関連の基盤を充実させる	(29.2%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(29.2%)	・現在のままでよい	(27.1%)
吉尾	・現在のままでよい	(32.0%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(28.0%)	・漁業関連の基盤を充実させる	(22.0%)
主基	・漁業関連の基盤を充実させる	(47.2%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(24.5%)	・現在のままでよい	(22.6%)
江見	・漁業関連の基盤を充実させる	(46.8%)	・現在のままでよい	(29.1%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(12.7%)
曽呂	・漁業関連の基盤を充実させる	(42.5%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(26.3%)	・現在のままでよい	(25.0%)
太海	・漁業関連の基盤を充実させる	(40.0%)	・現在のままでよい	(27.7%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(20.0%)
小湊	・漁業関連の基盤を充実させる	(51.6%)	・現在のままでよい	(19.4%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(17.7%)
天津	・漁業関連の基盤を充実させる	(56.4%)	・新たな工業地をつくり工場等を集積する	(21.4%)	・現在のままでよい	(12.9%)

⑥道路

○　道路の整備の今後のあり方は、「身近な生活道路を整備する」が 27.4%で最も高く、次いで「歩道の整備、道路の段差を解消する」の 22.2%、「幹線道路に接続する道路を整備する」の 17.2%の順となっています。



■年齢階層別の道路の整備のあり方（上位３つ）

○　年齢階層別にみると、「身近な生活道路を整備する」が１位となっている年代が多くなっていますが、20 歳代では「周辺市町を結ぶ幹線道路を整備する」、70 歳代では「歩道の整備、道路の段差を解消する」が１位となっています。

	１位		２位		３位	
10歳代	・身近な生活道路を整備する	(37.5%)	・歩道の整備、道路の段差を解消する	(21.9%)	・周辺市町を結ぶ幹線道路を整備する	(18.8%)
20歳代	・周辺市町を結ぶ幹線道路を整備する	(22.3%)	・歩道の整備、道路の段差を解消する	(21.4%)	・身近な生活道路を整備する	(17.9%)
30歳代	・身近な生活道路を整備する	(28.3%)	・幹線道路に接続する道路を整備する	(22.8%)	・歩道の整備、道路の段差を解消する	(20.1%)
40歳代	・身近な生活道路を整備する	(25.1%)	・幹線道路に接続する道路を整備する	(21.8%)	・周辺市町を結ぶ幹線道路を整備する	(18.0%)
50歳代	・身近な生活道路を整備する	(28.5%)	・歩道の整備、道路の段差を解消する	(25.6%)	・幹線道路に接続する道路を整備する	(18.2%)
60歳代	・身近な生活道路を整備する	(30.2%)	・歩道の整備、道路の段差を解消する	(24.1%)	・幹線道路に接続する道路を整備する	(13.6%)
70歳代	・歩道の整備、道路の段差を解消する	(29.6%)	・身近な生活道路を整備する	(25.2%)	・幹線道路に接続する道路を整備する	(17.4%)
80歳以上	・身近な生活道路を整備する	(30.8%)	・歩道の整備、道路の段差を解消する	(16.7%)	・幹線道路に接続する道路を整備する	(9.0%)

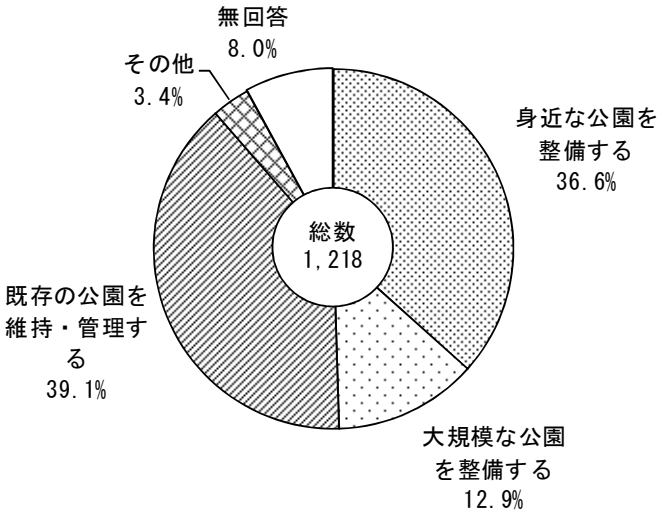
■居住地区別の道路の整備のあり方（上位３つ）

○　居住地区別にみると、東条地区、主基地区、天津地区では「歩道の整備、道路の段差を解消する」が１位となっていますが、これらを除いた地区では「身近な生活道路を整備する」が１位となっています。

	１位		２位		３位	
田原	・身近な生活道路を整備する	(29.2%)	・幹線道路に接続する道路を整備する	(20.8%)	・歩道の整備、道路の段差を解消する	(18.9%)
西条	・身近な生活道路を整備する	(24.4%)	・周辺市町を結ぶ幹線道路を整備する ・歩道の整備、道路の段差を解消する	(21.8%)	－	－
東条	・歩道の整備、道路の段差を解消する	(24.9%)	・身近な生活道路を整備する	(23.8%)	・幹線道路に接続する道路を整備する	(23.2%)
鴨川	・身近な生活道路を整備する	(28.0%)	・幹線道路に接続する道路を整備する	(20.3%)	・歩道の整備、道路の段差を解消する	(18.4%)
大山	・身近な生活道路を整備する	(29.2%)	・歩道の整備、道路の段差を解消する	(22.9%)	・周辺市町を結ぶ幹線道路を整備する	(18.8%)
吉尾	・身近な生活道路を整備する	(30.0%)	・歩道の整備、道路の段差を解消する	(20.0%)	・既存の道路を維持・管理する	(16.0%)
主基	・歩道の整備、道路の段差を解消する	(32.1%)	・身近な生活道路を整備する	(28.3%)	・幹線道路に接続する道路を整備する	(20.8%)
江見	・身近な生活道路を整備する	(35.4%)	・歩道の整備、道路の段差を解消する	(19.0%)	・周辺市町を結ぶ幹線道路を整備する	(16.5%)
曽呂	・身近な生活道路を整備する	(23.8%)	・既存の道路を維持・管理する	(20.0%)	・歩道の整備、道路の段差を解消する	(18.8%)
太海	・身近な生活道路を整備する	(29.2%)	・歩道の整備、道路の段差を解消する	(24.6%)	・幹線道路に接続する道路を整備する	(13.8%)
小湊	・身近な生活道路を整備する	(33.9%)	・周辺市町を結ぶ幹線道路を整備する ・幹線道路に接続する道路を整備する	(16.1%)	－	－
天津	・歩道の整備、道路の段差を解消する	(32.9%)	・身近な生活道路を整備する	(25.0%)	・周辺市町を結ぶ幹線道路を整備する	(14.3%)

⑦公園

○　公園の整備の今後のあり方は、「既存の公園を維持・管理する」が 39.1%で最も高く、次いで「身近な公園を整備する」の 36.6%、「大規模な公園を整備する」の 12.9%の順となっています。



■年齢階層別の公園のあり方（上位３つ）

○　年齢階層別にみると、「既存の公園を維持・管理する」が１位となっている年代が多くなっていますが、20 歳代と 30 歳代では「身近な公園を整備する」が１位となっています。

○　30 歳代以下では「大規模な公園を整備する」の比率が 15.0%以上と相対的に高くなっています。

	１位		２位		３位	
10歳代	・既存の公園を維持・管理する	(39.1%)	・身近な公園を整備する	(34.4%)	・大規模な公園を整備する	(20.3%)
20歳代	・身近な公園を整備する	(37.5%)	・既存の公園を維持・管理する	(34.8%)	・大規模な公園を整備する	(17.0%)
30歳代	・身近な公園を整備する	(40.8%)	・既存の公園を維持・管理する	(32.1%)	・大規模な公園を整備する	(20.1%)
40歳代	・既存の公園を維持・管理する	(43.6%)	・身近な公園を整備する	(36.5%)	・大規模な公園を整備する	(13.7%)
50歳代	・既存の公園を維持・管理する	(43.4%)	・身近な公園を整備する	(38.0%)	・大規模な公園を整備する	(10.3%)
60歳代	・既存の公園を維持・管理する	(42.2%)	・身近な公園を整備する	(37.7%)	・大規模な公園を整備する	(9.0%)
70歳代	・既存の公園を維持・管理する	(38.3%)	・身近な公園を整備する	(32.2%)	・大規模な公園を整備する	(9.6%)
80歳以上	・既存の公園を維持・管理する	(29.5%)	・身近な公園を整備する	(28.2%)	・大規模な公園を整備する	(5.1%)

■居住地区別の公園のあり方（上位３つ）

○　居住地区別にみると、すべての地区で「既存の公園を維持・管理する」または「身近な公園を整備する」のいずれかが１位となっています。

○　また、曽呂地区では「既存の公園を維持・管理する」が 50.0％と高くなっており、半数の方がこれに回答しています。

	１位		２位		３位	
田原	・既存の公園を維持・管理する	(42.5%)	・身近な公園を整備する	(31.1%)	・大規模な公園を整備する	(16.0%)
西条	・既存の公園を維持・管理する	(47.4%)	・身近な公園を整備する	(24.4%)	・大規模な公園を整備する	(17.9%)
東条	・身近な公園を整備する	(39.5%)	・既存の公園を維持・管理する	(38.9%)	・大規模な公園を整備する	(13.5%)
鴨川	・身近な公園を整備する	(41.8%)	・既存の公園を維持・管理する	(33.0%)	・大規模な公園を整備する	(16.1%)
大山	・既存の公園を維持・管理する	(43.8%)	・身近な公園を整備する	(31.3%)	・大規模な公園を整備する	(8.3%)
吉尾	・身近な公園を整備する	(42.0%)	・既存の公園を維持・管理する	(32.0%)	・大規模な公園を整備する	(8.0%)
主基	・身近な公園を整備する	(43.4%)	・既存の公園を維持・管理する	(34.0%)	・大規模な公園を整備する	(15.1%)
江見	・既存の公園を維持・管理する	(45.6%)	・身近な公園を整備する	(30.4%)	・大規模な公園を整備する	(10.1%)
曽呂	・既存の公園を維持・管理する	(50.0%)	・身近な公園を整備する	(23.8%)	・大規模な公園を整備する	(15.0%)
太海	・既存の公園を維持・管理する	(41.5%)	・身近な公園を整備する	(35.4%)	・大規模な公園を整備する	(9.2%)
小湊	・身近な公園を整備する	(43.5%)	・既存の公園を維持・管理する	(38.7%)	・大規模な公園を整備する	(3.2%)
天津	・身近な公園を整備する	(41.4%)	・既存の公園を維持・管理する	(36.4%)	・大規模な公園を整備する	(10.7%)

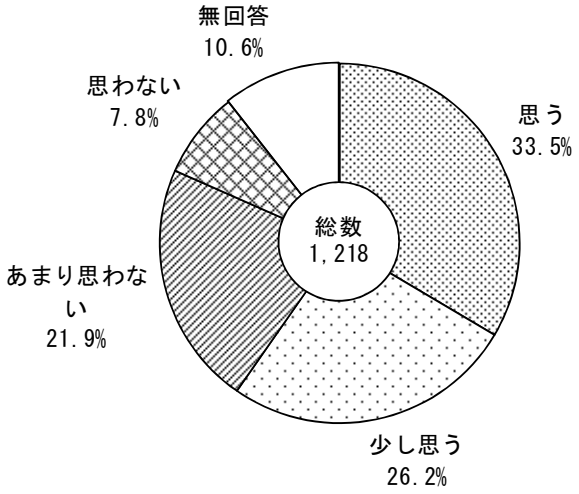
（９）住まいの周辺の状況について

１）住まいの周辺の状況

問 17　あなたがお住まいの地域の周辺の状況について、お聞きします。最もお考えに近い内容を回答欄から1つ選んで、○印を付けてください。

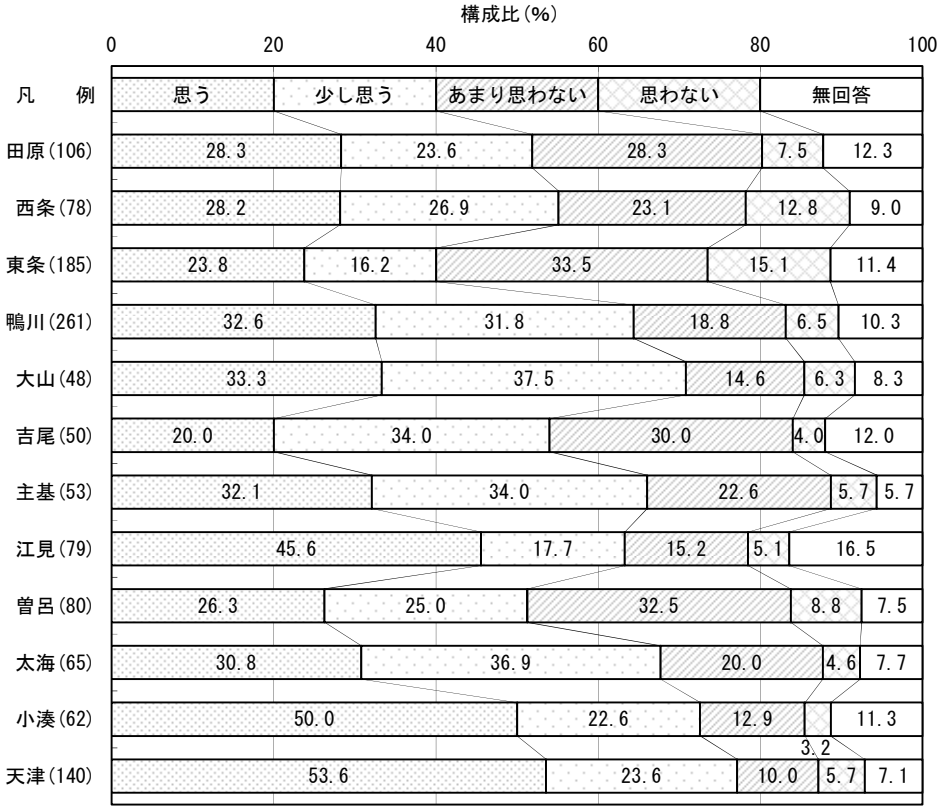
①空き家の増加

○　空き家の増加は、「思う」（33.5％）と「少し思う」（26.2％）の合計は 59.7％で過半を占めています。



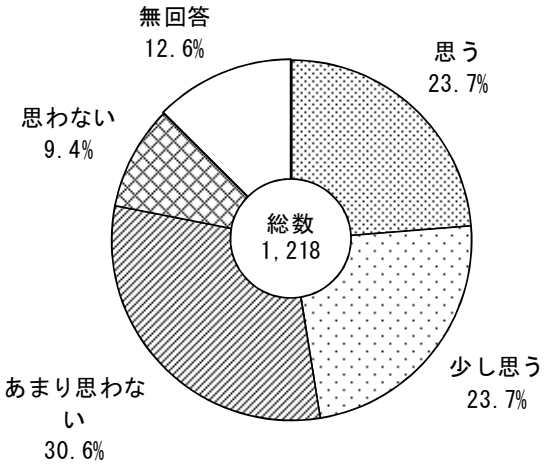
■居住地区別の空き家の増加

○　居住地区別にみると、東条地区を除いた地区で「思う」と「少し思う」の合計が過半を占めており、特に天津地区では 77.2％、小湊地区では 72.6％、大山地区では 70.8％と高くなっています。



②空き地の増加

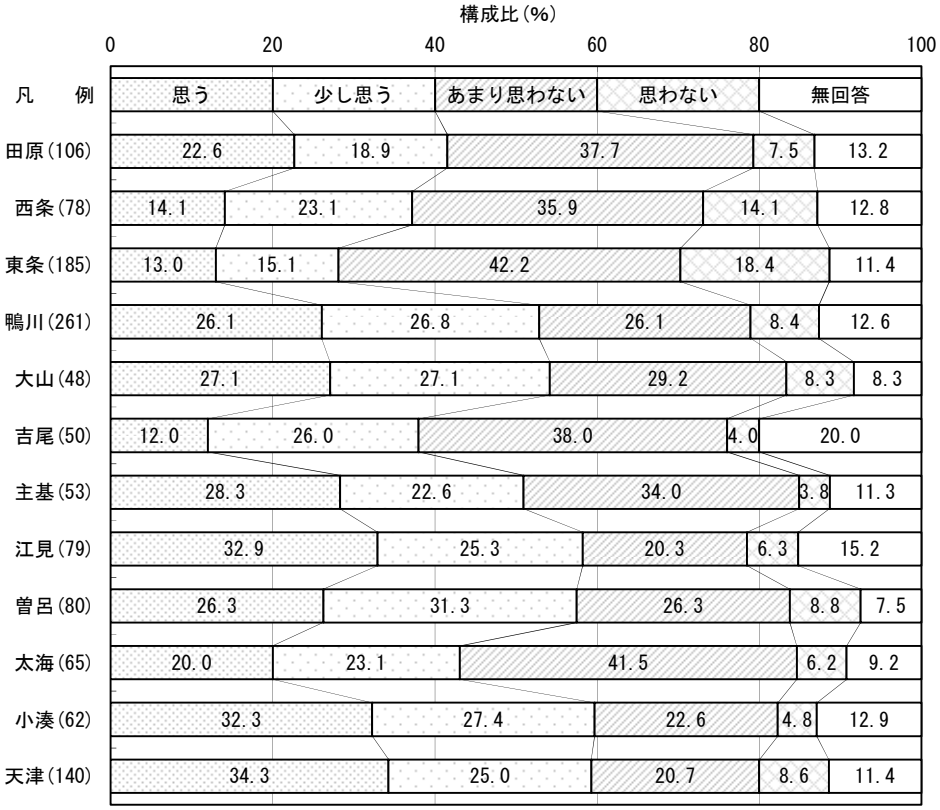
○　空き地の増加は、「思う」（23.7％）と「少し思う」（23.7％）の合計は 47.4％で、「思わない」（9.4％）と「あまり思わない」（30.6％）の合計（40.0％）よりも多くなっています。



■居住地区別の空き地の増加

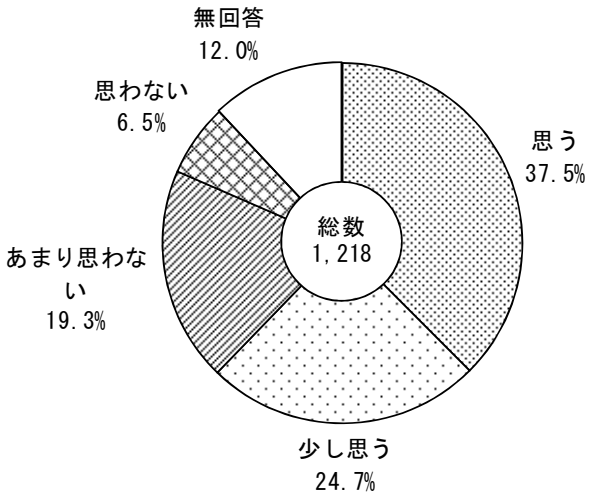
○　居住地区別にみると、鴨川地区、大山地区、主基地区、江見地区、曽呂地区、小湊地区、天津地区で「思う」と「少し思う」の合計が過半を占めており、特に小湊地区では 59.7％、天津地区では 59.3％と高くなっています。

○　一方、西条地区と東条地区で「あまり思わない」と「思わない」の合計が過半を占めています。



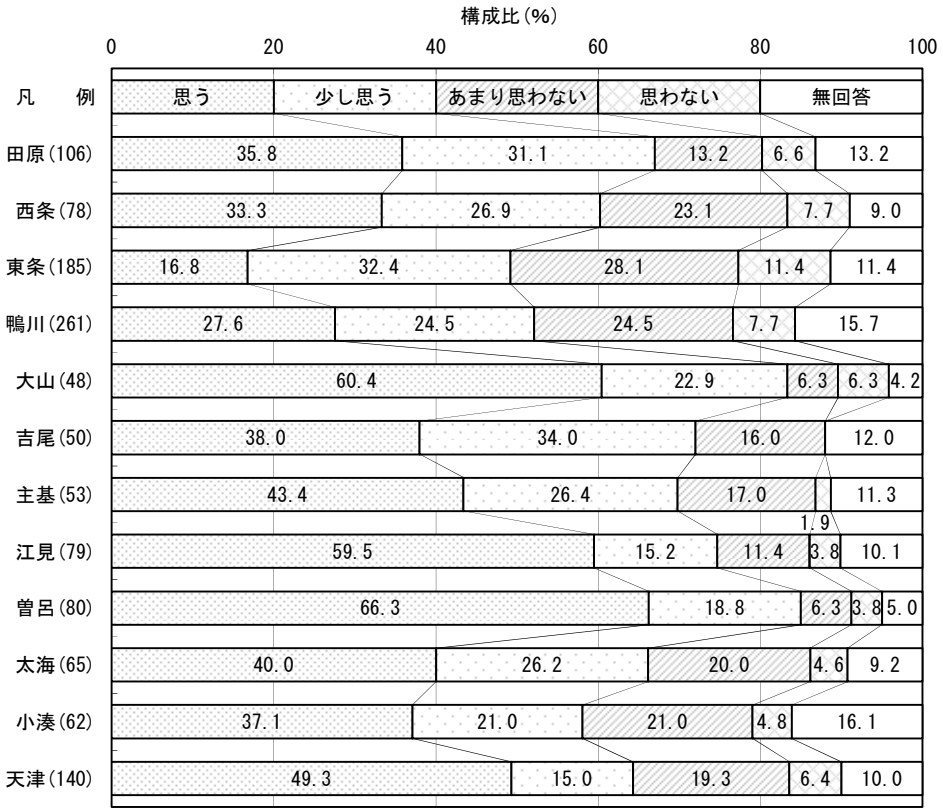
③荒廃農地の増加

○　荒廃農地の増加は、「思う」（37.5％）と「少し思う」（24.7％）の合計は62.2％で過半を占めています。



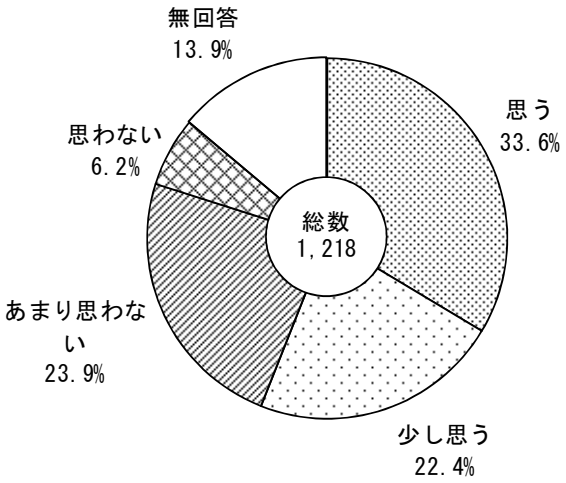
■居住地区別の荒廃農地の増加

○　居住地区別にみると、東条地区を除いた地区で「思う」と「少し思う」の合計が過半を占めており、特に曽呂地区では85.1％、大山地区では83.3％と高くなっています。



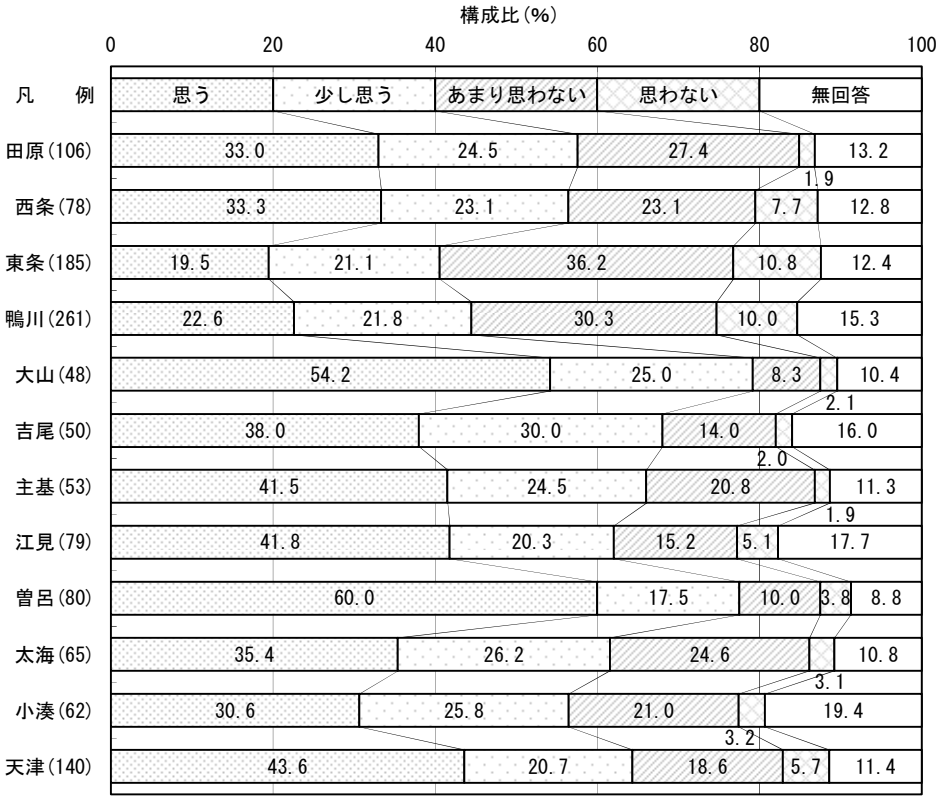
④荒廃山林の増加

○　荒廃山林の増加は、「思う」（33.6％）と「少し思う」（22.4％）の合計は 56.0％で過半を占めています。



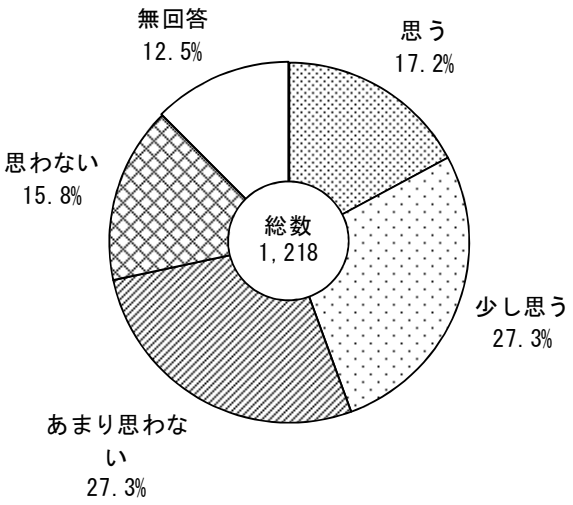
■居住地区別の荒廃山林の増加

○　居住地区別にみると、東条地区、鴨川地区を除いた地区で「思う」と「少し思う」の合計が過半を占めており、特に大山地区では 79.2％、曽呂地区では 77.5％と高くなっています。



⑤住宅の増加

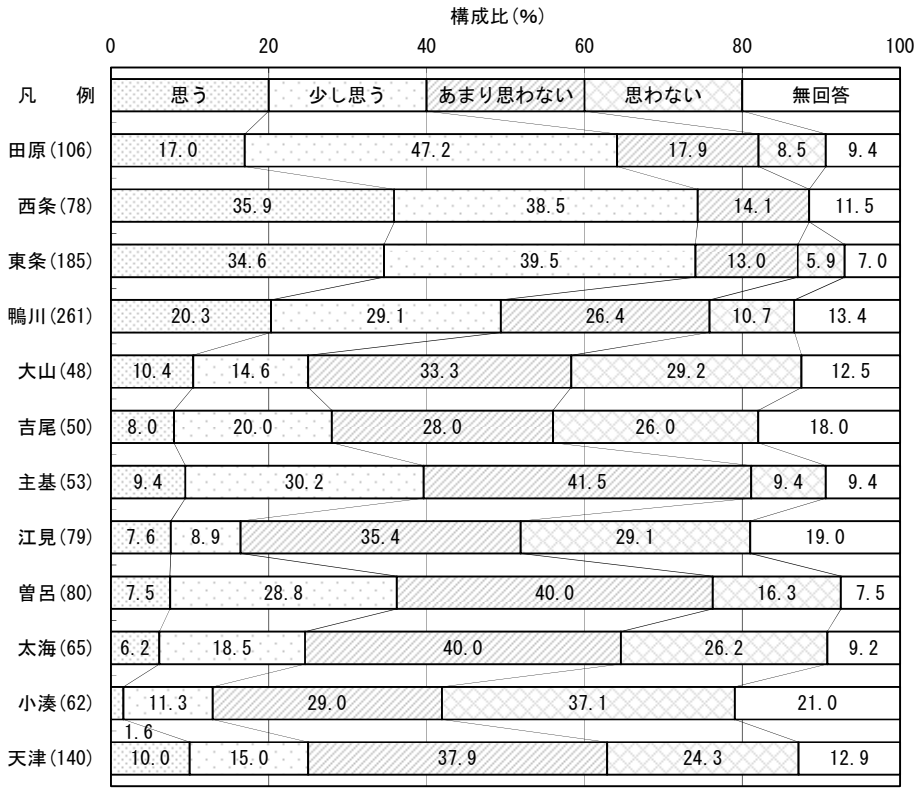
○　住宅の増加は、「思う」（17.2%）と「少し思う」（27.3%）の合計は44.5%で、「思わない」（15.8%）と「あまり思わない」（27.3%）の合計（43.1%）よりも多くなっています。



■居住地区別の住宅の増加

○　居住地区別にみると、市中央部の田原地区、西条地区、東条地区で「思う」と「少し思う」の合計が過半を占めており、特に西条地区では74.4%、東条地区では74.1%と高くなっています。

○　一方、田原地区、西条地区、東条地区、鴨川地区を除いた地区で「あまり思わない」と「思わない」の合計が過半を占めています。

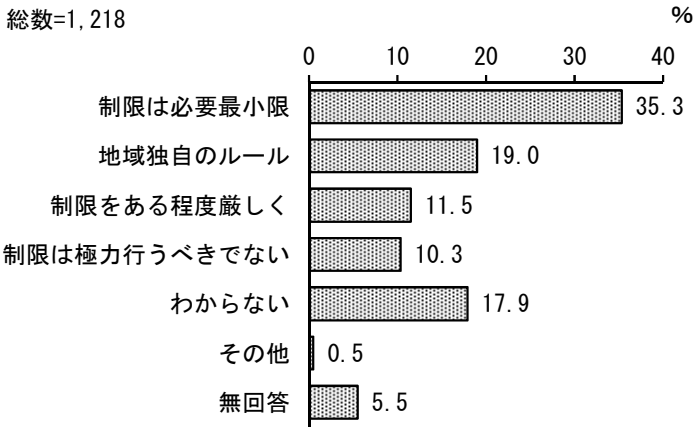


（10）土地利用・建築形態の規制誘導の方向性について

１）土地利用・建築形態の規制誘導の方向性

問 18　今後のあなたがお住まいの地域の土地の利用や建物の建て方について、お聞きします。お考えに近いものを1つ選んで、番号に○印を付けてください。

○　土地利用・建築形態の規制誘導の方向性は、「制限は必要最小限」が 35.3%と最も高く、次いで「地域独自のルール」の 19.0%、「制限をある程度厳しく」の 11.5%、「制限は極力行うべきでない」の 10.3%の順となっています。



■居住地区別の土地利用・建築形態の規制誘導の方向性（上位３つ）

○　居住地区別にみると、「制限は必要最小限」が１位となっている地区が多くなっていますが、大山地区、主基地区、曽呂地区では「地域独自のルール」が１位となっています。

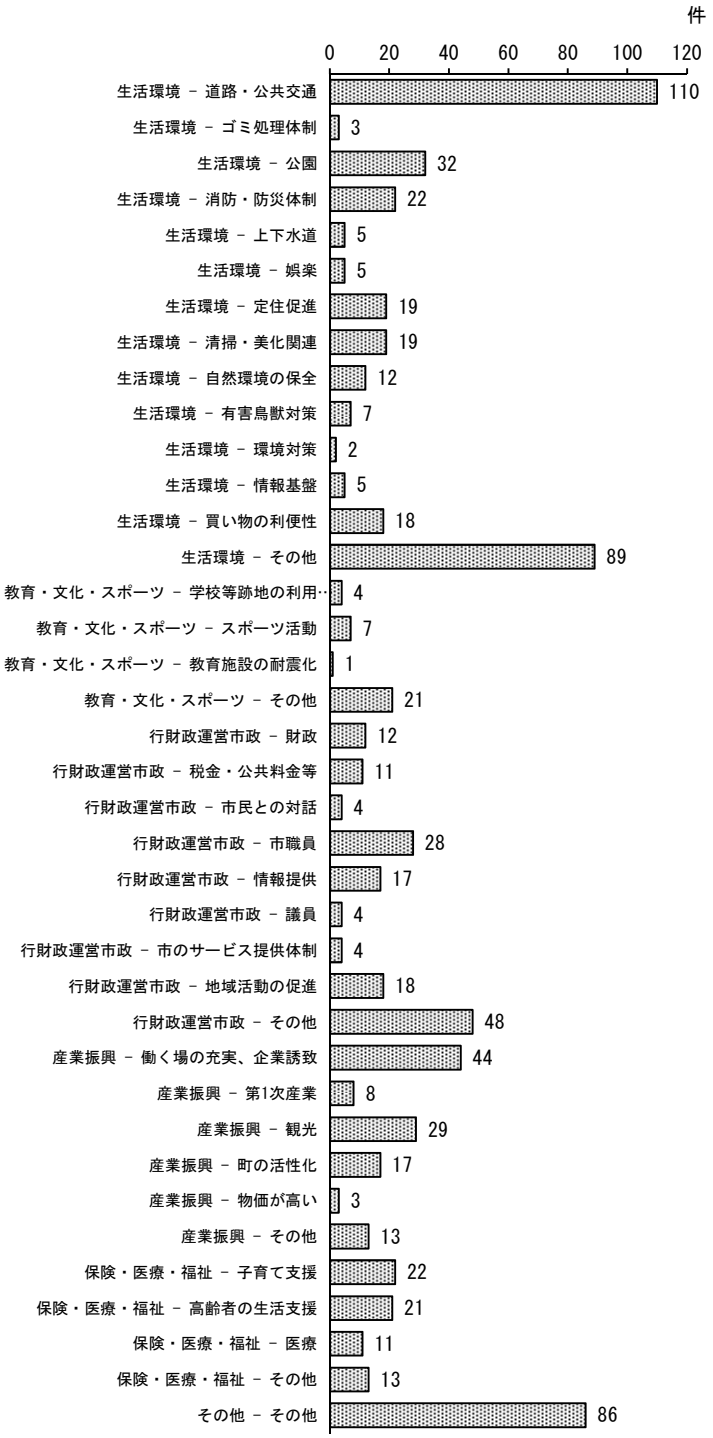
	１位		２位		３位	
田原	・制限は必要最小限	(36.8%)	・地域独自のルール	(19.8%)	・制限を極力行うべきではない	(12.3%)
西条	・制限は必要最小限	(44.9%)	・制限をある程度厳しく	(14.1%)	・地域独自のルール	(11.5%)
東条	・制限は必要最小限	(40.0%)	・制限をある程度厳しく	(16.2%)	・地域独自のルール	(14.6%)
鴨川	・制限は必要最小限	(35.2%)	・地域独自のルール	(18.0%)	・制限を極力行うべきではない	(10.7%)
大山	・制限は必要最小限 ・地域独自のルール	(29.2%)	－	－	・制限を極力行うべきではない	(10.4%)
吉尾	・制限は必要最小限	(28.0%)	・制限をある程度厳しく	(18.0%)	・地域独自のルール	(12.0%)
主基	・地域独自のルール	(34.0%)	・制限は必要最小限	(17.0%)	・制限をある程度厳しく	(15.1%)
江見	・制限は必要最小限	(32.9%)	・地域独自のルール	(17.7%)	・制限を極力行うべきではない	(13.9%)
曽呂	・地域独自のルール	(31.3%)	・制限は必要最小限	(28.8%)	・制限を極力行うべきではない	(12.5%)
太海	・制限は必要最小限	(36.9%)	・地域独自のルール	(24.6%)	・制限を極力行うべきではない	(12.3%)
小湊	・制限は必要最小限	(37.1%)	・制限をある程度厳しく ・地域独自のルール	(16.1%)	－	－
天津	・制限は必要最小限	(38.6%)	・地域独自のルール	(17.1%)	・制限をある程度厳しく	(10.7%)

（11）自由意見

１）自由意見（まとめ）

問 19　最後に、市政全般に関するご意見やご要望、「まちづくり」へのアイデアなど、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

○　自由回答については、431 人から意見を頂いており、分野・内容ごとに分類すると、「道路・公共交通」をはじめ、「働く場の充実、企業誘致」、「公園」、「観光」、「市職員」についての意見が多くなっています。（自由意見の詳細は、Ｐ88～）



３．資料

（１）自由意見（個別まとめ）

■生活環境

（道路・公共交通）110 件

・嶺岡トンネルは自転車・歩行者にはとても危ないと思います。自動車で通り過ぎる時も危険に感じます。中の空気、排気ガスも気になります。早く整備をお願いします。

・鴨川は車がなければ生活ができない街である。これは中心地に住人がいても同じである。車での生活の便を重視していくことは、生活の基幹である。駐車場・道の整備が重要である。車がない人、年寄りの「足」をどうするか。小型のバスを多く、ルートも多く走らせることが大切である。幹線道路だけでなく、生活道路を走るバスを整備し、いつでも、どこからでも、お年寄りが買い物に出られるようにして欲しい。

・コミュニティバスの有効活用（運賃の改定・ルート変更)。

・高速までのアクセスをもっと良くしてほしい。

・通学路がせまいので、もっと安全に子どもたちが通学出来るようにしてほしい。

・電車、バスの使い勝手が悪いので良くして下さい。

・田舎だから仕方ないのかもしれませんが、もっと街灯を増やすなどして、町全体を明るくしてほしいです。危険な道路が多いので見直しをしてほしいです。

・道路の整備（狭い橋、歩道の無い道路等)。鴨川北部道路の全面開通（天津方面への接続）を早く進めてほしい。

・鴨川有料道路の無料化。房総スカイラインの無料化。

・コミュニティバスよりももっと小回りの利く移送サービス（病院や買物など）のシステムの構築をすすめてほしいです。

・細い道のため、救急車や消防車など通れません。もしもの時どうしたらよいか、何とかしてほしい。

・渋滞になる場所の道路の見直し。

・街灯の設置。止まれの看板。ミラーの点検。駐車場の確保。

・館山駅から出ている羽田空港や横浜駅へ行く高速バスのように、鴨川から羽田や横浜へ行く高速バスが出来れば、首都圏の人達だけでなく、関西などの遠方の方達も鴨川に来やすくなるし、鴨川に住んでいる人達も遠方へ行きやすくなって、人の交流が活発になると思います。

（ゴミ処理体制）3 件

・ゴミ収集員は少しでも分別が悪いと持って行かない！老齢になると分別がうまくいかない。臨時職員を増やし、分別をゆるくするべき？

・ごみの回収日が少ない（人のごみ…隙間が少しでもあると盗む人もいます。ごみ袋の大きさのサイズを増やすとかしてほしい）。
・一つだけアイディアを書かせて頂きます。「ゴミ集積所」何とかなりませんかね？各地区と地域交流がある人は、自分の捨てる場所が分かっているのですが、大きい集積箱を持っている所は、他地区から来た人がゴミを捨てて行くのです。…延々この話をするつもりはありません。「何でも引き取り屋」無いですか？車もPCでも産廃でも何でも、日時関係ナシ。「このゴミはコチラに今後捨てれば良いですよ！」とか。この会社はコレも引き取ってくれますとか、市内の業者を紹介してくれれば良いです。既存の市内の仕事にもなりますし。人口のあまり多くない所だから、手間のかかる事が楽しいと思うのですが…。ゴミはタダで手に入る宝です。これからどんどん増えるゴミに今のうちからよく対策を考えておいた方が良いと思います。

（公園）32件

・子供達が自由にのびのびと遊べる大きな公園やアスレチックなどがあればいいと思う。遊べる場所が少ない。
・海岸がきれいなので、大型の横浜のようなすてきな公園をつくり、おしゃれなまちになるといいなと思っています。
・学童の遊ぶ場所の確保にご協力下さい。空き地等で遊ばれるのはとても迷惑です。
・子育て世代が安心して遊ばせられる公園を整備してほしい。
・鴨川市はお年寄りから子供までが利用できる公園がない。むだな小さな公園はいらないと思う。公共施設はなるべく1つにかたまって建ててほしい。
・大きな公園を作って欲しい。

（消防・防災体制）22件

・市民会館は津波等の心配がない所に建設し、災害等の時、市民が避難できる様にする。
・災害に強いまちづくりを願っています。
・トンネル内のラジオは、防災情報を流すためのもの。たとえトンネルの距離が短くても、必要ではないか？
・津波避難道の充実化、高台への誘導路。
・防災放送の聞こえが悪い地域に対してどのように対応するのか（何を言っているのか、よくわからない）。いざという時には間に合わない可能性が高い。聞きづらい地域の確認と対策を！
・民生委員の活躍。独居老人、子供たちの安心安全の生活が出来る様、見回り等を行う。
・鴨川市全体が、地震や津波時に安全なのか不安。子供やお年寄りもスムーズに避難できる高台などを早急につくってほしい。これからも鴨川市に住み続けたいと思っ

ているので、まずは、地震や津波などの自然災害から身を守れるような、安心・安全な町にしてほしいと思っています。

（上下水道）5 件

・水道水が臭い。
・冠水対策として、都市計画、下水道整備計画といった長期計画の立案と実行。
・海が好きで鴨川に越して来ましたが、せっかくすばらしいきれいな海がありながら未だに雑排水がそのまま流れている家が多いのを知り、非常に残念に思いました。一つの貴重な財産であるきれいな海を守るため、浄化槽の整備を進めてほしいです。
・下水道の整備→豊かな海（海の浄化につながる）を早急に！
・川や海の汚水が気になります。一般家庭での不燃物の焼却も同様です。市民皆で意識をもって欲しい。

（娯楽）5 件

・千葉県は子供連れで遊べるレジャー施設が多いのが特徴だと思います。この利点を今後活かし、地元住民も子どもを連れて遊べる施設を充実してほしい。たとえば、「大人の本屋」というコンセプトで作った代官山の TSUTAYA のように、「子供のための本屋」とか「図書館」とか…。
・若い人たちが楽しく過ごせるように娯楽施設や買い物できる店等、誘致してほしい。
・文化ホール、映画館、ショッピングモール。習い事、巨大入浴施設、古民家再生…。
・他にレジャー施設が無く、毎月、君津方面や館山方面へ行き、お風呂や食事を楽しんでいますが、鴨川には何も無く、不満に思います。大江戸温泉等のような家族で楽しめる所を計画してほしいと思います。
・映画館や大きな本屋が近くになく不便を感じる。

（定住促進）19 件

・公営住宅を充実させて、転入を推進し転出を防ぐ。
・若い人が住み続けやすい市にして頂きたい。子育て環境など、一軒家の賃貸物件など。
・市営住宅の増設。
・空家が増えてきている。他県からの入居者等に情報を発信し、少しでも若い方を呼び込んで欲しい。
・高齢化で手がつけられなくなった土地（竹林、山林など）が沢山あります。市道の草刈りも不十分です。景観が損なわれています。土地住民だけでは力不足です。移住してきたい都市からの若者たちのニーズ（仕事、家）とからめて、何とかできないだろうか？

（清掃・美化関連）19 件

・海の清掃をやった方が良い。砂地、ガレキなど。
・鴨川という地をこれ以上汚染させないで下さい。幸い、震災後の汚染は他地域にくらべると少なく、子どもにとってもいい環境だと思います。鴨川の安全性をより向上させ、クリーンなところをもっとアピールしていただきたいです。
・北部道路の花壇、なくてもよいのではないでしょうか。田園風景が美しいですし、お花の管理が出来ておらず、草の方が伸びていたりしています。かえって、きたないです。又もったいないと思います。
・道路や歩道の草、何とかなりませんか？
・国道の花壇のことですが、車で走ってパッと見ても手入れが行き届いてなく草がぼうぼうになっている時の方が多いように感じます。良い方法はないものでしょうか…？これも税金で賄われているんですよね。
・友人を連れて来て楽しめるような町であってほしいです。海がキレイであれば良い遊び場になると思うので、美化活動などがあったらぜひ参加したいです。

（自然環境の保全）12 件

・鴨川市の自然豊かな土地、空間を更にアピールし、食の安全（無農薬野菜 etc.）、土地・水・緑を美しく保つまちづくりができたら嬉しい。フリーエネルギーなど地球に優しいまちづくりを行うことで、住民も心豊かに生活でき、都会に住む健康志向の方も鴨川に来たい、住みたいと思うようなまちづくりができたら良いなと思います。
・豊かな自然環境でとても住みやすい街だと思うので、もっとアピールしてもよいのでは。
・森林、里山を整備してほしい。
・耕作放棄地の活用。
・インフラの整備。山の手入れ→海の浄化へとつながる（長野県の山の手入れ状況を参考に）。
・進めてほしいのが景観づくりと利便性、防災を優先しながらも無二の景観を残すこと、美しい景観は地域の財産ですし、どの人の心にも寄り添います。

（有害鳥獣対策）7 件

・いのしし、さる、しかの駆除（はくびしん）。作物を作っても皆食べられてしまうので作らなくなっている農地が荒れている。
・近年、いのしし、シカ等が当地区でも多く出没するようになりました。ダニやヒルのせいで野山に子どもを連れて行くことも出来なくなってしまいました。市でも駆除にもっと力を入れて下さい。

（環境対策）2 件

・原子力に頼らないクリーンエネルギー、太陽光等、積極的に取り入れ、市民が少しでも暮らしやすいように提供してくれませんかね。そうして鴨川市もクリーンエネルギーを使って市が豊かになる施策が生まれるのではないかと思うのですが。

・再生可能エネルギー、循環型の地域づくりをして観光と結び付け、より多くの観光客を呼び込む。そのために代替エネルギー生産企業を誘致する。温暖、医療の充実、豊かな自然と食材、エネルギーの自立、魅力的なまちづくりをして、移住者を増やして下さい。スーパーなどで廃油の回収をする。

（情報基盤）5 件

・ラジオ全ての局の放送が聞ける中継基地、又はアンテナは出来ないだろうか。今、NHK がかすかに、ベイエリアが一局のみ。テレビだけが情報。自分は眼が悪いから、ほとんどラジオに頼っている。

・災害情報などの防災無線は聞こえないので、Twitter、Facebook などリアルタイムの情報更新ができるツールの活用も並行してお願いしたい。何かあった時にスマホや PC で見るページがない（市の HP は役に立たないので)。

・「みまもりサポートシステム」や埼玉県和光市における高齢者に対するアンケート（データベース化）等、予算・人員の限られた地方都市だからこそ、IT を積極的に活用すべきだと思います。

（買い物の利便性）18 件

・店が少ない。

・大型ショッピングセンターの誘致（ベイシアはスーパーだと思う)。→土地を有効利用する。

・鴨川にはいろいろな商店・店舗があるが専門的というか、いざ買いたいと思う必要な店がない。その為、わざわざ他へ出かけなければならず不便を感じる。

・マリーナに水産・農産物を売る市場を作ってほしい。レストランなど地元の物を使っての飲食をさせる店も作ってほしい。

・商店街がやせ細り、我々はいつの間にか買い物弱者になってしまい、近所には店が無くなる。

（その他（生活環境））89 件

・自然豊かなのも大切なことだが、住んでいる人間が楽しく住みやすいものでなければ意味がないと思います。是非、この鴨川市に来て良かったと今よりも思えるまちづくりを期待します。

・文化的な意識が低いので、市民会館ができても運営はむずかしいと思う。

・駅近辺の駐車場は、いつもいっぱいのようだ。特定の個人が固定的に利用しているのではないのか？

・住みやすい街づくりについては、教育施設、福祉施設の面積が人数と見合っていない所があると感じます。
・テレビでも多く取り上げられる観光地でもある鴨川が、もっとステキな住みやすくもあり、楽しいところとなることを願います。
・どこを見ても老人が多くて若者が居ない。税収がなくて、市の職員も大変だと思います。若い人の働く所があれば地元に残りますが、皆他県、都会へ出て行き、そこに居住してしまいます。老人ばかり、空家が多くなります。
・買い物の不便さ、都市へのアクセスの不便さ、子育て環境の不充実が不満。街灯が少ない、舗道がない、夜になると人気が少ない、路上駐車が当たり前（駐車場が目の前にあるのになぜか路上駐車をしている)、高齢者が飛び出してくる、自転車で道路の中央を走っていたり…など、交通や治安にも不安・不満があります。
・鴨川市の“活力あるまちづくり”が未来へと続くように…。今やってほしいこと…婚活ツアー（近隣、木更津等）の中核となり～定住助成～子育て支援～子育てしながらも就労（環境を整えての雇用）（子供２人目も３人目もどんどん市政の Back Up 必要)。人がいなければ、(人が生まれなければ）何も始まらないし、始められない。“鴨川の住みづらさ”に本気で向き合うこと。なぜアパート、土地、高すぎるのか？なぜ物価が高すぎるのに気付かないの？なぜ、市の借金があるからとあきらめるのか？なぜ、他の土地からの移住（老年代含）を勧めないのか？なぜ、これほど温暖な気候、風土に恵まれながらも活かせず…いつも対岸の火事。もったいなさすぎ！（失礼ながら…本気で向き合いました)。
・駅付近を商業地域として活性化しないのはなぜか？
・子どもが丸一日体や頭を使って過ごせる児童館のような施設を作ってほしい。市役所脇でいいと思う！図書館と陸橋（トンネル）でつなげて！
・工業等を誘致する等の考えもありますが、インフラの整備を迅速に行うべきと考えます。
・空家の整備。
・鴨川駅周辺に有料でもよいので駐車場を作って欲しいです。電車やバスが使えないので。今はイオンの駐車場に車を置いて、電車に乗って東京などに行っています。無料の駐車場は通勤・通学の方が使っていていつも満車です。
・若い人が働く場所が少なく、都市部に出たまま、戻ることが出来ない。高齢者ばかりがいる市になってしまう不安があります。若い人が暮らし、安心して生活できる市になるように、官、民、大学、市民が考えていく必要があると思います。
・孫をみている立場から。子供の減少、社会環境、親の共働きなど。自分の子育て時代とは大きく様変わりしています。学校の問題、災害時の避難場所（市民の問題でもありますが）など様々な悩みを抱えています。親達が安心して、働きながら子育てが出来るよう推進して欲しいと思います。
・まず一番はかもがわの人が幸せに毎日生活できるパブリックスペースが大事だと思う。

■教育・文化・スポーツ

（学校等跡地の利用方法）4 件

・小中学校の統廃合に伴う、廃校など遊休施設の有効活用についての意見を広くデータを集め、すみやかに活用するよう希望します。例：一般に払い下げる。地域の人々が有効利用。※少なくとも目も当てられぬような姿にはしない様、御願い申し上げます。

・統廃合により廃校となった学校の校庭及び遊具を、子供達が自由に遊ぶことができるようにしてほしい。

（スポーツ活動）7 件

・プロスポーツ選手を育成できる街づくり（ゴルフ選手等)。安いゴルフ場が沢山あるのに練習場がない、学校がない（部活)。スポーツ場に貸し出し、ラケットや道具があると人が増え、街としての魅力も増える。

・2020 年、東京オリンピックが行われる。その際、今あるスポーツ施設をよりよく整備して、世界各国の方々が鴨川市でキャンプするよう誘致したら、よいと思います。

・健康の為のスポーツジム。館山、袖ケ浦のような。

（教育施設の耐震化）1 件

・子供の人数が減り、小学校の統合問題がありますが、現在の旧江見中学は地すべり地帯であり、学校の両サイドの土地が地すべり地帯なのに、学校の部分は地すべり地帯ではないというのは、おかしいと思う。統合するのはしかたがないのかもしれないが、学校に通わせる児童の安全は確保してほしい。耐震工事も、もう 2 回も行っているわけで、本当に安全な建物と言えるのか？新築しても良いと思うが、行政担当者は“お金がない”と言っている。鴨川市の将来を担う子供達を育てるためのお金もないのでしょうか？

（その他（教育・文化・スポーツ））21 件

・市民体育館の建設。現場の指導者の意見を取り入れたものにして欲しい。

・市営のスポーツ施設等をもっと有効に利用するようにする。

・大学を建てたり、スポーツ施設を建てたりしましたが、果たして鴨川市のためになったでしょうか。疑問に思います。有効活用できているでしょうか。

・小中学校も子供の人数が減少傾向にあり、近い将来、また統廃合となるのだろうか。統廃合のデメリットにももっと目をやり、長期に渡るビジョンのもとに方向性をさぐって行ってほしい。

・個人的意見ですが、少子化になり、各小学校も一学年 10 名位になっている現状ですが、早くから出生の統計もとっているはずなのだから、もっと市・町で対応してもらいたかった（その学年の保護者にアンケートを取るなど色々方法はあると思います)。実際小学校入学になり、子供の行かなければいけない小学校は女の子 1 人

で男の子が数名…という感じでは、通わせる保護者からすれば、同性のいる小学校（仮に学区外でも）に通わせたいと思うはずです。それを「学区外だ」とか「保護者が学校を選ぶようになっては困る」という発言をされては、保護者からすれば、ならば早い段階でアンケートをとるなり、意見を聞いて一緒に対策を練ってくれたら…と思います。少人数すぎる学校では集団生活で色々学ぶことも得られず、協調性なども育ちにくいと思います。もう少し、通わせる側の保護者の身になってもらいたいと思います。通わせられるものなら自宅のある小学校に通わせたいです！！

■行財政運営市政

（財政）12 件

・借金返済の目安を市民に示し、財政の健全化に取り組んで欲しい。
・どこの市町村も大変ですが、行政のスリム化、議員を減らす、公務員も能力給にする。どこの会社でもやっている事です。大事な税金は本当に必要な事に使ってほしい。
・先ずは財政の再建を要望します。
・市民会館を建て直す前にもっと優先してお金を使うべき所があると思います。

（税金・公共料金等）11 件

・税金が高いと思います。両親もおどろいていましたが、ゴミ袋 10 枚入りで 600 円以上は考えられない。家族がたくさんいる人達は大変だと思う。
・給料が安い割には税金などが高いかな。考えてください。
・税金の使い道（細部まで公表してほしい。エンピツ 1 本、紙一枚、封筒等)。鴨川大好きな夫婦より。
・給与所得者の立場からは農業自営者等の納税について不公平感・不信感を感じる。
・鴨川市は他市より介護保険料、税金、市職員の人件費等が高い。

（市民との対話）4 件

・市長さんも、市内を見回ることも必要。
・退職後、議会の定例会には前市長時に何度か傍聴に行きましたが、市民の関心がなく、傍聴席は毎回がらがらなのには失望致しました。何が原因でしょうか？鴨川は何を言っても無駄ですよという声が多いようです。市民の声をもう少しよく聞き、市民の為の行政をして頂きたい。最近の例を申しますと、市民会館の問題、主基の小中学校の文理開成の土地の件、鴨川中の問題等、その他昔から色々と問題な点が多いように思われます。陰では色々と市政に対する不満はかなり多いです。過去にさかのぼるとまた色々ありますから、今回はこれ位にしておきます。乱筆乱文失礼致します。

（市職員）28 件

・職員の削減。雇用の場の確保。職員の給料の削減。
・若い職員は大変良く動いていると思う。しかし、管理職は必要ないと思える者が大変多い。
・職員、議員の人数削減。職員の質の向上。赤字対策。
・市役所に行くたびに感じることですが、職員の方の活気が感じられません。玄関にいる方は良いのですが、特に税務課の方など、いつ行っても、顔を見てもあいさつもしてくれず、いつも気分を悪くして帰って来ます。「まちづくり」などと議論する前に、もっと基本的なことで模範を見せて下さい。
・市役所の職員、ふれあいセンターの職員、もう少し人間味ある人たちに変えてほしい。愛想がなく、こっちの質問等に対してバカにしているような態度をとられて毎回、不快な思いをしています。接遇の研修等、行った方が良いのでは？
・市役所、電話対応が悪い。要領が得られずたらい回し。態度の悪い人もいる。個人のプライバシーが守られているか不安。仕事上得た情報をもらしていないか。紙の上での仕事が多く、人に寄り添っていないと感じることがある。
・現実に市職員に質問しても答えられない事が多々あるので、もう少し教育してもらいたい。課を問わず。

（情報提供）17 件

・鴨川市で行っている制度をわかりやすく、まとめて見れる冊子がほしい。
・鴨川市に移住して 1 年程ですが、未だに広報誌とか読んだことがありません。市役所に行かないともらえないのですか？以前の住まいは町内会で配布していました。
・市のホームページが見にくい。鴨ナビもあまり使いやすくない。更新が少ないと思う。
・P12 安全性、P18 まちの防犯対策について。防犯等のアナウンスが全く聞こえない。何を発しているのか聞き取れないことがほとんどなので、何か対処できるとよいと考えます（住まいにいても、職場にいても）。職員がところどころに位置して、アナウンス状況を実際に確認してみてはどうでしょうか。
・私たちは市政、福祉情報などほとんど知り得ません。なんらかの形で情報共有できる機会を作って頂けたらと望みます。ごくろうさまです。
・防災無線が聞こえない。ほとんど役に立っていない。

（議員）4 件

・市会議員の定数削減を要望します。館山市は当市より人口が多いのに 18 人です。当市は 20 人。あきらかにおかしい。聞くところによると、議会等に登場しない議員もいるとの事ですが、事実でしょうか？15 人くらいが適当だと思います。
・市議会議員の 1 年間の活動報告、及び収入。

（市のサービス提供体制）4 件

・土日に役所とのやり取りができないのはこの時代どうかと思う。
・財政難ということもあってか、既存の施設・整備の維持管理が疎かになっている。修理・修繕が必要なものへの対応が後回しになっている。市道などの点検も、組長まかせでなく、職員が見廻ってもいいと思う。

（地域活動の促進）18 件

・若い人達の出会いの場が少なく未婚者が多いので、市で街コンや婚活イベントをもっと主催してもらって、若い人達の出会いの場を作るとともに、若者の活気さを取り戻してもらいたいと思います。婚活イベントに積極的に取り組む市としての町づくりも、今後大切だと思いますのでよろしくお願いします。
・鴨川をアピールするイベントなどしてほしい。館山等ではイベントがあっても鴨川では少ない（自転車のイベントも通過するのみ。鴨川発のイベントがほしい）。
・公民館活動も重要な一環となる。
・何かを行うに際しても市民全体が協力しないと大きな力にはならないと思います。その為にもっと行政が様々なプランを市民に呼びかけてもっとリードして頂きたい。
・年間を通しても町おこし的なイベント等、少ないかも。

（その他（行財政運営市政））48 件

・駅周辺の活性化、整備など、優先順位をはっきりとさせて、着々と市政を良い方向にして欲しいと思います。その為には、市民の声や意見などを聞き、何を必要としているのかを行政がしっかりと認識していく事だと考えます。
・土地の有効活用がなされないので人口が増えない。
・少子化対策を充実し、子供を増やし、人口を増やし、市政の充実を図ってください。
・土をだめにしない、農薬・化学肥料は使わず、一生懸命やっている人たちの味方になるような行政。鴨川の豊かな自然を大切にする行政。お金より、人の心を大切にする子どもと老人に優しい行政を切に願っています。
・もっと市民の声を聞いた方がいいんじゃないですか？
・若い人が夢や希望が持てるようなまちづくりに市民も行政も共に努力しなければならないと思う。
・暮れも近づき助け合いの時が来ました。この所、アパートや団地が出来ていますが、寄付金（年数回）はどうなっていますか。昔から住んでいる老人家庭の人達は気持ちよく参加してくださいます（組長経験者）。
・何しろ、市民の目線に立って市政を行ってほしい。
・まわりを見渡すと結婚していない独身男女の多さに驚きます。先日シーワールドでの婚活パーティの情報を広報で見かけました。少子化、過疎化対策の為にも、もっと予算を取って活発な活動がなされる様望みます。

・鴨川市は道の駅などに、大変お金をかけているにもかかわらず、行ってみようという気にならない！もっと、他の道の駅を勉強し、魅力あるものにして頂きたい。そして、又、来ようと思えるように。
・新しい物を作ることを考えるばかりではなく、昔からある物を大切に保存、整備し、鴨川にはお城はないけれど、神社やお寺がたくさんあり、歴史的な文化もあると思います。生まれた時から鴨川の人でも、看板は見てもそこがどういう所なのか知らない人がいっぱいいる中で、鴨川の良さを他県の方にアピールしようと思っていても無理な事だと思います。まず、地元の人々が地元の事を良く知る事が必要で、市民の協力を得ながら鴨川のいいところを再発見し市民に還元、知ってもらう。
・市の中心だけに目を向けられ、辺地への配慮に欠けている様、感じます。

■産業振興

（働く場の充実、企業誘致）44 件

・雇用につながる事業があれば良いと思います。若い人も地元で働ける様に。
・若者が働ける職場を増やせる様に、努力して欲しい。
・この狭い鴨川市では企業誘致は無理なのでしょうか。観光、農業、漁業だけで現在の子ども達が地元に就職できず他県へ流出しています。雇用確保が安定していければと切に願っています。
・市の財政を将来的に強固にしていくには、まず、もっと多くの人（若い人）に住んでもらい、税収入を増やすことであると思う。そのためには、雇用の確保が重要で、新たな産業の開発や企業の誘致を積極的に行う。例えば、自然エネルギーの開発（風力・太陽光も含めて）や地元の気候や風土を生かした産業など、将来的に成長しそうな分野に注目し、多くの企業・人に住んでもらうことである。人がいなければ「まちづくり」どころではないので、まずは人口を増やすことであると思う。
・雇用の促進。若い人が進学・就職しやすい環境作り。
・子供がいても働きやすい職場ももっと増やして欲しい。施設を整えるだけで終わりにするのでなく、預りの時間の延長や平日の職員研修時に預かりを実施する等も行って欲しい。鴨川は子育てがしやすい、と言われる様な市になると良いと思います。

（第１次産業）8 件

・農業の”あとつぎ”がいないと聞きますが、豊かな農地を荒れさせない為にも、都会から来る農業希望者に農地を貸す制度をつくってほしい。
・耕作放棄地の再利用（間に市などが入り、農家と新規農家の橋渡しになれると良い）。農業・漁業の若手の育成。
・教育も大事ですが、鴨川は第一次産業に力を入れて、鴨川に来た観光客が喜んでもらえるような食材が沢山あるので、そういったところに力を入れてみてはどうかと思います。

（観光）29 件

・体験型の観光があるといいのかな…と思いました（ひじき狩りや漁業等の）。
・もっと観光業に力を入れて頂きたい。良い自然があるので、もっとメディアに出すなどして、人を呼び経済を活性化してほしい。
・海や山と自然が多くとても魅力的であるので、まちづくりの強化、観光地としてもっと PR していくのがよいと思う。
・観光地なので仕方ありませんが、観光業にお金をかけすぎていると思います。観光業が地元の農海産物を気持ち高値で購入し、還元されていれば良いのですが…。観光 PR のチラシ、のぼり旗等、ムダな物も多い。
・観光で来た方達の案内・道路標示等がわかりづらい。
・観光地として、おもてなし。観光施設の充実。市の積極的な観光アピール。
・「おいしい、安い」メニューの開発、勝浦のような。観光地としての宣伝効果のある食品、食事内容を。個々の店ではなく「鴨川」で飲食（土産品を含む）したら、どこの店でも新鮮でおいしい野菜、コメ、魚介が食べられる、という「鴨川」にこだわった飲食店にする（鴨川ブランド）。旅行業者との提携を進める。自然環境、食材に恵まれた鴨川なので、観光地として更に、発展させたらどうか。

（町の活性化）17 件

・農薬などのない作物による健康な食材の提供で、健康推進のまちにできたらいいです。
・地産地消、魚と野菜豊富な鴨川を他県、首都圏の人にアピールして欲しい。
・6 次産業を進めて欲しい（共同で使える施設などの建設など）。
・地産地消の強化。特産物のさらなる PR（長狭米）。とにかく PR が下手！！
・鴨川の魅力と言えば、豊かな自然。だけどもう一押しがないから、いまいち盛り上がらない。なので鴨川らしくインパクトのあるものをどんどんアピールしてみては？魅力はなければつくるもの。
・商店側も閉まりっきりで何もないので、新しくつくりなおしたり、新しい商売をしていったらいいと思いました。

（物価が高い）3 件

・物が高い。
・福島県いわき市から自主避難しています。鴨川市からの支援をとてもありがたく感じています。来年の 3 月で支援も打ち切られてしまうので、新しく家を探したりしているのですが、家賃が高くて大変です。
・東京並みの家賃、土地では、住みたくなくなるかも…。

（その他（産業振興））13 件

・道の駅の充実（もっと鴨川市をアピールする場所)。
・昔から言えることですが、若者の定着できる環境作りに力を入れるべきです。後継ぎが都会で働かざるを得ない状況が続けば、老人だけの街になり、活気ある街は望めません。
・鴨川市特有のみやげ物。
・大学は誘致していますが、その大学生のどの位の人が鴨川市に残って仕事をしようと考えているのですか？その疑問があります。大学生活はしかたないが、就職は都市部に流れていることが多いと思います。
・道の駅がもっともっと人気が出るように、アイディアをつのって下さい。
・各企業、観光地等、おもてなしの志をもって対応して頂きたい。

■保健・医療・福祉

（子育て支援）22 件

・中心地しか子育てができない街は拡大しない。人口減を止めて欲しい。
・若い世代の家族が他から引っ越してくる位、子育て支援等を充実させるのも一つの手である（他の市町村から人を呼び込む施策)。
・鴨川市は亀田病院があり、子どもがいる家族にとっては安心な街だと思いますが、子どもの教育や遊びなどには少し不便を感じます。
・子供を育てるのに、もっと遊び場がほしい。雨でも遊べる室内や親同士が子連れでも気楽に入れる施設や飲食店など。託児所付きの職場を増やす。
・“子育て支援”についても働きたいのに保育園に空きがなかったり、平日に休まなくてはいけない事が多かったりすると安心して働けません。保育士が足りないなら年度の途中であっても増やして頂きたい。遠くの園なら空いています、職員を増やす予定はありません、では困ります。結果、鴨川市から出て行く人もいると思います。

（高齢者の生活支援）21 件

・特別養護老人ホームなど高齢者施設を増やしてほしいです。他市町村に比べ、高齢者福祉が遅れているように思います。
・高齢者も年をとっても元気はあると思うので、活動・活躍のできる場が必要となる。
・健康増進（寝たきりをつくらない！）のための公共施設の場。
・市政全般に対し、効率化・スリム化は必要であると思うが、市民の高齢化、一人生活が増加している中、対応ももう少し考えていった方がよいと思う。単にバスを走らせれば良いというものではない。
・医療、福祉は充実しているとは思いますが、それを上回る高齢が現状であり、独居老人への対応や低所得世帯への対応など、更なる充実を望みます。皆に当たり前にやってくる「老い」に対し、不安があるような「まち」ではならないと思います。

安心して年を取り、余生を暮らせる市であって欲しいと思います。財源の確保も大切だと思いますが、目に見える形で繁栄されれば、税金は上がることも納得し、我々働ける世代ががんばることで老後の安心も得られるのではないでしょうか。災害時の早期避難など、老人が増えている地域では大きな問題だと思われます。

（医療）11 件

・国保病院の充実化。医療、交通。
・子供の医療費（中学校 3 年まで）の無料化。
・医療、福祉の充実。
・亀田病院や看護大学、JIU などの大学や医療施設が存在しているので、都市部より高齢者などが移住しやすい環境や対策をしていくべき。医療都市を目指す。

（その他（保健・医療・福祉））13 件

・高齢者にやさしい町に、生活しやすい町にしてほしいです。
・福祉関係の人材が不足しています。市の方で人材の確保を推進してもらいたい。
・障害者、高齢者等、弱い立場の人々が住みやすい街は誰にとっても住みやすい街です。どうぞ誰にとっても住みやすい素敵な鴨川の街を作ってください。
・福祉・医療・子ども教育などの福祉・医療の充実。障害者・高齢者に優しい町づくり。

■その他

（その他）86 件

・市役所のみなさん、税収入が少なく大変だと思いますが、鴨川が今以上に素敵な町になるようがんばって下さい。応援しています！！
・もっと地域の人達が関われるようなことをして、地域の人達との交流を深めたいとは思っています。ですが、方法もなく、今は特に何もしていないです。
・今後、鴨川市が住んでみたい、住みやすい街とたくさんの人に思ってもらえるような街作りに期待します。
・南房総の美しい風景と気候の良さと人情の温かさに接し、北国からの者にとってどれだけ嬉しかったことか、しみじみと、あ～っ来てよかったと思っております。益々の鴨川市の御発展をお祈りいたします。
・もう少し活気のあるまちづくり、都市づくりを考えるべきだと思います。私も介護をしている人間として、何年かしたら、地域の人の役に立てる仕事がしたいと思います。
・鴨川には潜在能力、というか何でもできる基盤はあると思います。よろしくお願いします。
・大学生のまち。観光のまち。農村漁業のまち。花のまち。

・この地に住んで 36 年になり、自分の人生の中でも一番長く住んでいるこの地が大好きである。自然環境を大切に社会福祉・子育て・子供教育、地域の安全・安心・防災対策の力を入れ、住みやすく住んでみたくなる鴨川市になる事を願います。
・だれもがいいなーという「まちづくり」が希望です。あたりまえのことですけど、ほっとする町づくりです。なかなか、むずかしいですけど、市民が笑顔でくらせる町にしたいです。
・今後も、自然環境を活かしながら、全ての人が住みやすい街づくりをお願いします。娘が大きくなった時、「私の故郷は鴨川」と胸を張って言えるような街になることを祈ります。
・アンケート調査ありがたいと思っております。今後とも鴨川をよろしくお願い致します。
・若い層の安定生活、高齢者の安定生活が、共に存在・実現する街でありますよう願っています。
・アンケートの内容が難しすぎて、回答するのが大変だった。もう少し簡単に回答できるような質問内容には出来ないのでしょうか。
・現在、鴨川市在住ということは誇らしいことであります。今後も、市民のためにある市政であって欲しいと思います。
・日常の生活活動にせいいっぱいで、市政のことはあまりよくわかっていないので、思うような回答ができませんでした。
・このようなアンケートをまた行ってほしい。
・「鴨川市まちづくり」に市民の声を反映させていく旨がよくわかり、アンケートはよいと思う。市の取り組みについての自分の考え（P8～）等は、議会だより、各市議だより、市広報だより等を読み、できるだけ情報を得た上で記入しようと思ったが、なかなかチェックは難しい。よくわからない点は、どうしても「どちらともいえない」にチェックがいってしまった。だからこそ、問 19 のように自由に記述できるページがあることはよいと思う。
・若者が働く、元気な鴨川市にして下さい。
・東京→千葉市から鴨川市に移って来ました。鴨川が大好きです。このままの鴨川でいて欲しい。自然と医療が強いイメージのままでいいと思います。
・アンケートの問いについて。回答の方法は、良い物は何個でも印を付けてもよいし、悪い物には何個でも印を付けても良い方法のアンケートやりかたに変えた方が良いと思います。
・「鴨川市イコール○○」という様にわかりやすい特徴があれば良いと思います。
・20 年ちょっと鴨川市に住んでいますが、市についてほとんど何も知らないとアンケートに答えながら思いました。しかし、生まれ育った市なので、多くの人にも鴨川市の良いところを知ってもらいたいと思いました。PR の仕方や、住民自身が参加して鴨川市のまちづくりが出来たら良いと思います。

（２）各設問の「その他」の意見

問１(ｳ)　職業	(件)
その他	23

問１(ｵ)　居住形態	(件)
高齢者施設	5
その他	8

問１(ｷ)　家族構成	(件)
四世代	15
兄弟	3
その他	33

問２　転入前の居住都道府県	(件)
東京都	50
神奈川県	23
埼玉県	16
福島県	7
岩手県	7
新潟県	6
茨城県	6
北海道	5
山形県	5
栃木県	4
長野県	4
愛知県	2
山梨県	2
大分県	2
広島県	2
宮城県	2
群馬県	1
静岡県	1
富山県	1
福井県	1
秋田県	1
香川県	1
愛媛県	1

島根県	1
熊本県	1
佐賀県	1
沖縄県	1
福岡県　→　東京都	1
台北	1
中国河南省	1
中国吉林省	1
国外	1
その他	1

問 2-1　鴨川市に移り住んだ主な理由　（件）

持ち家があるため	15
家業を継ぐため	11
親の介護のため	4
離婚したため	4
海があり、釣りやサーフィンをしたいため	3
疎開のため	2
兄弟が居住しているため	2
老後は田舎で過ごしたいため	2
医療施設へ入所のため	2
商業施設が多いため	1
原発事故の発生に伴うもの	1
養子として	1
ひらめき	1
進学と就職で 5 年ほど都内で生活したが、永く住む気持ちにならなかったため	1
その他	1

問 3　将来の定住意向　（件）

仕事の都合による	6
実家に戻る	6
鴨川市内であればどこでも	4
高齢独居となった場合に市内の子世帯と同居	4
市内の実家に戻る	3
交通利便性の高い地域	2
自然災害に強い地域	2
環境が良い地域	1
子どもが通う小学校区内	1

決めかねている	3
その他	3
わからない	8
考えていない	3

問 3-1　現在の場所に住み続けたい理由　（件）

経済的な理由により転居したくてもできない	2
病気により転居したくてもできないできない	2
立地環境が良いため	1
田舎が好きなため	1
住環境が良好なため	1
先祖伝来の土地であるため	1
嫁いだため仕方なく	1

問 4　不便に感じていることや困っていること　（件）

税金が高い	6
イノシシ、猿、ヒル等の被害がある	4
高齢者サービスが不十分(健康診査場所、生活支援施設や人材の確保など)	3
市外からの転入者がよそ者扱いされる	2
道路事情が良くない(未舗装、渋滞の慢性化等)	2
公園やハイキングコースが少ない	2
家賃が高い	1
地デジが見れない	1
買い物が本当に不便	1
防災無線が聞こえづらい	1
ごみ袋の代金にばらつきがある	1
鉄道が不通になることが多い	1
脇道に街灯が少ない	1
その他	4

問 5　市政に対する意見の伝え方　（件）

市議会議員を通じて	6
意見を伝えても無駄だと感じている	5
市から意見を聴取して欲しい（アンケートの活用など）	3
意見を伝える方法がわからない	2
その他	2
特になし	3

問 6　提供して欲しい情報　（件）

公民館活動の内容	1
地域別の苦情マップ	1
市政に興味がない・無関心	2
その他	3
わからない	2
特になし	5

問 7　参加したい、協力したい地域活動　（件）

健康増進の普及などといった予防医療	2
国際交流・国際協力	1
文化的教養の普及	1
有害鳥獣の駆除・耕作放棄地の解消	1
ＩＴの推進	1
参加したいが参加できない(高齢、療養中、経済的に余裕がないなど)	17
その他	2
わからない	3
特になし	3

問 8　市民参加に必要なこと　（件）

市民が参加できる仕組みづくり(若い人の意見を取り入れる機会、市民の意見を聞く場の創出、年代別の話し合いの場など)	4
市民のやる気、自立	2
市の方針や市政を市民に伝えるなど、まちづくりポイントの明確化	2
インターネットを使った「まちづくり」に関わりやすい環境(フェイスブックなど)	1
行政の積極的な参画	1
まずは市民の生活基盤の安定を図ることが必要	1
通常行っていることで十分	1
その他	7
わからない	9
特になし	4

問 9　自立した行財政運営を進めていくために重要なこと　（件）

市議会議員数の削減	3
職員数及び給与の削減	3
行財政運営の方針や成果がわからない	1
その他	6

問 10　市の魅力

	（件）
海	1
観光事業	1
亀田産業	1
その他	4

問 11　将来イメージ

	（件）
首都圏へのアクセスの良い都市	1
首都圏から近い立地を活かして地元食材でできる健康生活のできる都市	1
安価、安全、良質な食が豊富な都市	1
大学生やサーファーなど市外から来る人が定住し、若い世代が多い都市	1
生活が便利で里山が整った首都圏に近い都市	1
近代的な都市	1
大学の都市	1
その他	7
わかりません	1
特になし	1

問 12　将来像にふさわしいキーワード

	（件）
温暖な	1
ゆっくり	1
たんたんと	1
のびやかな	1
のどか	1
いやされる	1
落ち着ける	1
きれいな海、山	1
田舎そのもの	1
借金の無い、又は少ない	1

問 14　食料品や日常雑貨などの買物(行き先)

	（件）
インターネット	8
通信販売	3
注文	1
色々	3
県外	3
全国	5
山梨・長野	1

生協	1
自宅	1
亀田	1
その時の気分	1
なし	5
どこでやっているのかわからない	1

問 14　食料品や日常雑貨などの買物(交通手段)

	(件)
インターネット	7
電車やバス	2
レンタカー	1
親の送迎	1
子ども（娘）の車に便乗	1
友達の車	1
馴染みの業者	1
利用なし	3
送迎者	1
どこでやっているのかわからない	1

問 14-1　食料品や日常雑貨などの買物(最も頻度の高い店舗)

	(件)
生協	8
決まっていない	1
その他	2

問 16①　今後の土地利用や施設整備のあり方(農地・山林)

	(件)
耕作放棄地の有効利用	2
農地を使いたい人に農業を行ってもらい、山林についても維持してもらう	1
余り開発しない	1
荒れ地にしないように利用、整地の工夫	1
場所によって宅地に限らず有効な活用を考える	1
その他	2

問 16②　今後の土地利用や施設整備のあり方(住宅地)

	(件)
周辺の整備	1
その他	1
わからない	2
特になし	1

問 16③　今後の土地利用や施設整備のあり方(商業地)

	(件)
病院の近く	2
駅周辺でなくてもよいので、商業地の形成	1
主要道路沿いに形成	1
既存の商店街を新しい商業地に誘致	1
大型店の進出を制限し、商店街に補助	1
その他	6

問 16④　今後の土地利用や施設整備のあり方(観光地)

	(件)
みんなみの里の充実	1
長期休暇、リゾート地を新たにつくる	1
自然環境は壊さないで欲しい	1
これ以上は要らない	1
これというものが少ない	1
わからない	1
特になし	1

問 16⑤　今後の土地利用や施設整備のあり方(工業地)

	(件)
漁業団体が商業施設をつくる（魚マーケット、市場、食堂など）	1
これ以上は要らない	2
その他	3
わからない	5

問 16⑥　今後の土地利用や施設整備のあり方(道路)

	(件)
高速道路の整備	6
高速道へのアクセスの充実	5
有料道路の無料化	4
自転車道の充実	1
シーワールド周辺の道路の整備	1
駅、バス停等駐車場の整備	1
トンネル、道路の維持管理	1
その他	3
特になし	1

問 16⑦　今後の土地利用や施設整備のあり方(公園)

	(件)
子どもと高齢者が集まりやすいコミュニティの場の整備	3
大きな公園	3
自然の地を活かしたもの	2

公園を作って欲しい	2
公園が少ない	2
イベントやバーベキューなどにも利用しやすく魅力のある公園	1
墓地公園	1
屋内公園	1
緑の多い公園	1
特に利用されている公園を整備する	1
作らないで欲しい	4
その他	8
わからない	1
特になし	1

問 18　土地利用・建築形態の規制誘導の方向性　（件）

明確な観光イベントがあれば、それに習った居住環境を作ればよい	1
危険地域に指定され、制限があるようです	1
その他	2

（３）市民アンケート調査票

鴨川市まちづくりアンケート
あなたのご意見をお聞かせください

市民の皆様には、日頃より市政運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

鴨川市はこれまで、平成18年に策定した「第１次鴨川市基本構想（計画期間：平成18～27年度）」及びこれに基づく第１次・第２次５か年計画に沿ったまちづくりを推進して参りました。

この間、地方分権の一層の進展、未曾有の自然災害となった東日本大震災やこれに伴う福島第一原子力発電所の事故の発生、第２次安倍内閣の発足及び「アベノミクス」と称される経済再生政策の推進による景気の回復基調への転換、そして、2020年東京オリンピックの招致成功など、本市を取り巻く経済社会情勢は大きく変容しております。

このような状況の中、第１次基本構想の計画満了を間近に控える本市におきましては、市内外の大きな情勢変化に適切かつ柔軟に対応しながら、引き続き、総合的かつ計画的なまちづくりを推進して参りますため、その指針となる新たな「総合計画」の策定に着手して参りますとともに、平成16年に策定された「鴨川市都市計画マスタープラン」につきましても、その見直し作業を進めて参ります。

もとより、この計画策定やマスタープランの見直しに当たりましては、幅広く市民の皆様のご意見をお聞きすることが極めて重要かつ必要不可欠であることは言うまでもなく、今般、このアンケート調査を実施させていただくこととといたしました。

いずれも、今後の鴨川市のまちづくりの方向性を見定める重要な計画となりますので、誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 11 月

鴨川市長　　長谷川　孝夫

◆ご記入にあたってのお願い

1．このアンケートは、ご本人による記入が難しい場合を除き、必ずあて名のご本人がご記入ください。
2．ご記入は、黒のボールペンか濃い鉛筆、サインペンなどではっきりとお書きください。
3．ご回答は、該当する番号を○で囲んだり、具体的に記述するなど、指定する方法でお書きください。
4．回答欄の「その他」を選んだときは、（　）内にその内容を具体的にお書きください。
5．封筒やアンケート用紙にお名前を記入する必要はありません。

◆アンケートの回収について

・誠に勝手ながら、集計の都合上、このアンケート用紙に回答をご記入の上、同封の返信用封筒に入れて、**11月25日（月）までに、切手を貼らずにポストにご投かん**ください。

◆その他

・アンケート調査は、16歳以上の市民の皆様3,000人を対象に実施しています。
・お答えいただいた内容につきましては、すべて集計処理し、調査の目的以外には一切使用いたしませんので、お考えのままをお書きください。

◆アンケートに関する問い合わせ先

2～10ページ　鴨川市 企画政策課　電話：04-7093-7828　　FAX：04-7093-7851
11～14ページ　鴨川市 都市建設課　電話：04-7093-7835　　FAX：04-7093-7856

問１　まず、あなたご自身のことについて、お聞きします。

次の各項目について、**該当するものを選んで、番号に○印**を付けてください。

（ア）性別 【○は１つだけ】	1　男性　　2　女性
（イ）年齢 【○は１つだけ】	1　10歳代　　4　40歳代　　7　70歳代 2　20歳代　　5　50歳代　　8　80歳以上 3　30歳代　　6　60歳代
（ウ）職業 【○は１つだけ】	1　会社員　　6　パートタイマー・アルバイト 2　公務員・教員・団体職員　　7　学生 3　農林漁業　　8　無職 4　農林漁業以外の自営業　　9　その他（　　） 5　家事専業
（エ）お住まいの地区 【○は１つだけ】	1　田原　　5　大山　　9　曽呂 2　西条　　6　吉尾　　10　太海 3　東条　　7　主基　　11　小湊 4　鴨川　　8　江見　　12　天津
（オ）現在のお住まい 【○は１つだけ】	1　一戸建て（持ち家）　　5　市営・県営住宅などの公営住宅 2　マンションなどの中高層住宅（持ち家）　　6　賃貸アパート・マンションなどの集合住宅 3　一戸建て（賃貸）　　7　間借り・寮・住み込み 4　社宅・官舎　　8　その他（　　）
（カ）鴨川市での 居住年数 【○は１つだけ】	1　１年未満　　3　５～10年未満　　5　20年以上 2　１～５年未満　　4　10～20年未満
（キ）家族構成 【○は１つだけ】	1　ひとり暮らし　　4　祖父母と親と子（三世代） 2　夫婦のみ　　5　その他（　　） 3　親と子（二世代）
a.同居するご家族に**中学生以下のお子さんが**いらっしゃる場合	
【○はいくつでも】	1　小学校就学前　　2　小学生　　3　中学生
b.同居するご家族に**65歳以上の方が**いらっしゃる場合	
	65歳以上の方の人数（ご本人を含めて　（　　人））

問２　居住状況についてお聞きします。

あなたは、どのようにして鴨川市に住むようになりましたか。

当てはまるものを１つ選んで、番号に○印を付けてください。

1　生まれてからずっと鴨川市に住んでいる
2　鴨川市の生まれだが、市外での居住経験がある
3　県内の他の市町村から転入してきた
4　県外から転入してきた（都道府県名：　　）

→ **問２－１に進む**

問２－１　問２で「２」から「４」のいずれかに回答した方に、お聞きします。

鴨川市に移り住んだ主な理由は何ですか。

当てはまるものを２つまで選んで、番号に○印を付けてください。

1　就職や転勤のため
2　結婚のため
3　家族の都合（親の転勤など）のため
4　入学や進学のため
5　農林漁業に従事するため
6　自然環境が良いため
7　保健・医療・福祉が充実しているため
8　住宅を取得したため
9　地域の人間性に惹かれたため
10　理由は特になし
11　その他（　　）

問３　将来の定住意向について、お聞きします。

お考えに近いものを１つ選んで、番号に○印を付けてください。

1　現在の場所にこのまま住み続けたい　→ **問３－１に進む**
2　市内の自然が豊かな地域に移り住みたい
3　市内の市街地に近い地域に移り住みたい
4　鴨川市以外に移り住みたい
5　その他（　　）

問３－１　問３で「１」と回答した方に、お聞きします。現在の場所にこのまま住み続けたいと思う理由について、**当てはまるものを１つ選んで、番号に○印**を付けてください。

1　愛着があるため
2　昔から住んでいるため
3　通勤・通学が便利なため
4　買い物・遊びに便利なため
5　地域の結びつきが強いため
6　仕事の都合のため
7　自然環境がよいため
8　行政サービスが充実しているため
9　土地、家屋を所有しているため
10　その他（　　）

問４　あなたは、鴨川市で生活していて、不便に感じていることや困っていることはありますか。**当てはまるものを３つまで選んで、番号に○印**を付けてください。

1	公共の交通機関が少ない
2	高速道へのアクセスが悪い
3	観光シーズンなどに交通渋滞が発生しやすい
4	交通安全対策や生活道路の整備が遅れている
5	インターネットなどの通信状況がよくない
6	買い物、娯楽などの生活施設が少ない
7	公害や騒音など衛生環境が悪い
8	仕事や雇用の場が少ない
9	公共料金や家賃が高い
10	高齢者や障害者が暮らしにくい
11	子育て支援が十分でない
12	保健・医療・福祉面の支援が十分に受けられない
13	公共施設が充実していない
14	子どもの教育環境に不安を感じる
15	生涯学習の場や機会が少ない
16	首都圏の文化が享受しにくい
17	治安が悪い
18	古いしきたりや近所づきあいがわずらわしい
19	台風・地震等の自然災害が心配である
20	その他（　　）
21	特にない

問５　あなたは、市政に対する意見をどのような方法で市に伝えていますか。（伝えたいですか。）**当てはまるものをすべて選んで、番号に○印**を付けてください。

1	地区懇談会や団体会議など
2	市役所又は支所・出張所の窓口
3	市のホームページのお問い合わせサイト
4	区長や町内会長、隣組長を通じて
5	市長への手紙
6	市の担当職員との意見交換
7	意見公募（パブリックコメント）
8	方法がわからない
9	その他（　　）
10	特にない

問６　あなたが、今後、より積極的に提供してもらいたい情報は何ですか。**最も当てはまるものを２つ選んで、番号に○印**を付けてください。

1	新しい制度や事務手続き	9	地域の歴史・文化
2	施設の紹介・利用方法など	10	地域の安全・安心、防災対策
3	市長の基本的な考え方	11	市民サークル等の募集や活動
4	予算・決算の状況	12	子育て支援、教育や青少年活動
5	行政サービスの内容	13	各種審議会や委員会等の内容
6	市の計画全般	14	地域における自治活動
7	人口などの基本的な統計情報	15	起業・雇用等の情報
8	行事・イベント等の予定	16	その他（　　）

問７　あなたは、現在及び将来、市内や地域でどのような活動に参加したい、協力したいとお考えですか。（災害時の復旧や復興活動は除きます。）**当てはまるものをすべて選んで、番号に○印**を付けてください。

1	自治会や地域のコミュニティ活動	9	子育て・子ども教育の支援活動
2	防災・防犯活動	10	生涯学習の支援活動
3	社会福祉活動（高齢者や障害者支援など）	11	まちおこしや地域の活性化活動
4	スポーツの普及・振興活動	12	イベントや行事の支援活動
5	伝統芸能や文化の保存活動	13	観光ガイド・ＰＲ活動
6	歴史的史跡や文化財の保全活動	14	参加したくない（参加していない）
7	環境美化活動	15	その他（　　）
8	青少年の育成・支援活動		

問８　あなたは、市民参加による「まちづくり」を進めるために、何が必要であると考えますか。**お考えに近いものを３つまで選んで、番号に○印**を付けてください。

1	市民と行政の役割を明確にした制度の確立
2	市政への提案・提言の機会の充実
3	総合計画をはじめとする各種計画づくりへの参画機会の充実
4	市政情報の積極的な提供
5	同じ課題を持つ市民同士が情報交換や活動ができる場・機会の充実
6	行事・イベント等の立案から運営までの参加
7	総合窓口の機能の充実
8	まちづくり活動やＮＰＯ活動への支援促進
9	アンケートなど、市民意識調査の定期的な実施
10	その他（　　）

問９　あなたは、鴨川市が自立した行財政運営を進めていくためには、何が重要とお考えですか。
最もお考えに近いものを２つまで選んで、番号に○印を付けてください。

1	行政経費の削減と行政組織のスリム化を図るべき
2	既成事実や慣習に捉われない各種行政サービスを見直すべき
3	公共事業を削減し、借金（地方債の発行）を抑制すべき
4	安定かつ柔軟な財政基盤の構築を図るべき
5	地域単位で、まちづくりに関する協議会などを設置し、住民や住民団体自らがまちづくりを行っていく体制を構築すべき
6	徹底した情報公開と情報提供により、行政事務の透明化と市民の市政への参加機会を拡充すべき
7	職員の意識改革や、意欲・能力に溢れ、専門性を有した人材を育成すべき
8	行政課題や施策に即した組織・執行体制の整備を図るべき
9	行政事務の一層の民営化・民間委託を推進すべき
10	産・学・民・官の役割分担を明確化し、これらとの連携・協力体制を構築すべき
11	行政サービスについては、適切かつ応分の受益者負担を求めるべき
12	共通の行政課題の解決や事務の効率化を図るため、近隣市町との広域行政を推進すべき
13	公共施設の統廃合をさらに推進すべき
14	ＮＰＯ・ボランティアとの積極的な協働を推進すべき
15	わからない
16	その他（具体的に：　　）

問10　あなたが鴨川市の魅力や誇りと感じ、また、これからのまちづくりに活かしていくべき持ち味（特色）は何だと考えますか。
お考えに近いものを２つまで選んで、番号に○印を付けてください。

1	温暖な気候と豊かな自然環境	9	野山や海岸線などの景観
2	良質かつ新鮮な農林水産物	10	充実したスポーツ施設
3	充実した保健・医療・福祉環境	11	著名な名刹や歴史的な文化財
4	特色ある教育環境	12	地域の伝統行事や地域文化
5	４年制大学や高度な教育研究関連施設の立地	13	知名度の高い観光施設と充実した宿泊施設
6	地域での助け合いや連帯感	14	首都圏や羽田･成田空港に近い立地環境
7	豊富な食材とおいしい食べ物	15	わからない
8	良好な居住環境	16	その他（　　）

問11　鴨川市は、将来どのような都市になったら良いと思われますか。

お考えに近いイメージを３つまで選んで、番号に○印を付けてください。

1	自然環境・景観を大切にする都市	14	災害に強い都市
2	農林漁業が盛んな都市	15	住民活動が盛んな都市
3	商業施設が集積した県南の中核都市	16	郷土の歴史・文化を大切にする都市
4	製造工業が盛んな都市	17	高齢者の居住環境が整った都市
5	交通・交流の拠点都市	18	スポーツ環境が充実した都市
6	良好な住宅地が整った都市	19	国際・地域間交流が盛んな都市
7	地域資源を活かした観光の都市	20	世代間コミュニティが盛んな都市
8	保健・医療・福祉が充実した都市	21	子どもや高齢者を大切にする都市
9	子育て支援の充実した都市	22	財政基盤の安定した都市
10	首都圏への通勤都市	23	バリアフリーの整備された都市
11	特色ある町並み景観が整備された都市	24	自然・再生可能エネルギーを活かした地球環境に配慮した都市
12	郷土を愛する心を育む教育環境の充実した都市	25	道路や公園など社会資本が整備された都市
13	多種多様な学習が展開される生涯学習環境が充実した都市	26	その他（　　）

問12　問11でお答えいただいた将来都市像にふさわしい「キーワード」として、**お考えに近いものを３つまで選んで、番号に○印**を付けてください。

1	躍進する	12	親しみのある	23	明るい
2	元気あふれる	13	住みやすい	24	緑あふれる
3	いきいきとした	14	楽しい	25	あたたかい
4	活力（活気）ある	15	誇れる	26	さわやかな
5	賑わいのある	16	輝く	27	美しい
6	健やかな	17	豊かな	28	やさしい
7	飛躍する	18	創造的な	29	快適な
8	情緒ある	19	ゆとりある	30	個性ある
9	発展する	20	調和のとれた	31	その他
10	うるおいある	21	心かよう		（　　）
11	ふれあいの	22	安全・安心		

問13　鴨川市の取り組みについておたずねします。

①の「満足度」の欄：あなたは、鴨川市の各種施策の現状について、どの程度、満足していますか。**最もお考えに近いものを１つずつ選んで、番号に○印**を付けてください。

②の「優先度」の欄：あなたは、今後のまちづくりを進めていくうえで、特にどのような施策に予算を配分し、優先的に進めていくべきと思いますか。

最もお考えに近いものを５つまで選んで、○印を付けてください。

項　　目	① 満足度					②
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	優先度
行政運営						
(1)広域行政の推進（粗大ゴミ処理・常備消防・救急業務・火葬場など）	1	2	3	4	5	
(2)行財政運営の効率化及び健全化	1	2	3	4	5	
(3)市有財産の適正な管理	1	2	3	4	5	
(4)広報誌・ホームページによる市政情報の発信及び市民からの意見聴取	1	2	3	4	5	
(5)情報公開及び個人情報保護制度の適切な運用	1	2	3	4	5	
(6)高度情報化施策の推進（地デジ対応、光回線、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄの活用など）	1	2	3	4	5	
生活環境						
(7)消防施設・設備の整備充実	1	2	3	4	5	
(8)自然災害に対する防災対策の充実（避難所・備蓄倉庫の整備など）	1	2	3	4	5	
(9)交通安全対策の推進	1	2	3	4	5	
(10)防犯灯の設置、防犯活動など防犯対策の推進	1	2	3	4	5	
(11)自然環境・景観の保全	1	2	3	4	5	
(12)公害防止等の環境保全施策の推進	1	2	3	4	5	
(13)ごみ処理体制・リサイクル体制や施設の整備充実	1	2	3	4	5	
(14)省エネルギー化、再生可能エネルギーの活用など地球温暖化対策の推進	1	2	3	4	5	
(15)花壇の設置など環境美化の推進	1	2	3	4	5	
交流・人権						
(16)地区コミュニティ施設の充実や地域活動の促進	1	2	3	4	5	
(17)市民と行政との協力（協働）によるまちづくりの推進	1	2	3	4	5	
(18)新たな会館施設の整備促進	1	2	3	4	5	
(19)国際交流、姉妹・友好都市との交流活動の促進	1	2	3	4	5	
(20)大学との連携・協働による地域課題等への取り組みの促進	1	2	3	4	5	
(21)男女共同参画社会づくりの推進	1	2	3	4	5	

項　　目	① 満足度					② 優先度
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	
健康・福祉						
(22)保健サービスの充実・促進（検診・予防接種の促進等）	1	2	3	4	5	
(23)地域における健康づくり活動の促進	1	2	3	4	5	
(24)地域医療環境の充実(看護師の確保､国保病院の整備充実など)	1	2	3	4	5	
(25)低所得世帯等への社会保障の充実	1	2	3	4	5	
(26)保育サービスの充実、施設の整備	1	2	3	4	5	
(27)子育て支援施策の促進	1	2	3	4	5	
(28)高齢者施策の充実（見守り・支え合いの仕組みづくりなど）	1	2	3	4	5	
(29)障害者施策の充実（自立支援、バリアフリー化の推進など）	1	2	3	4	5	
産業・経済						
(30)商業の振興（商店街の活性化支援等）	1	2	3	4	5	
(31)工業の振興（既存企業の支援等）	1	2	3	4	5	
(32)消費者トラブルや悪質商法等への対応の充実	1	2	3	4	5	
(33)農業の振興（生産基盤整備、担い手育成、有害鳥獣対策など）	1	2	3	4	5	
(34)水産業の振興（漁港の整備、水産資源の増繁殖の促進など）	1	2	3	4	5	
(35)畜産業及び林業の振興	1	2	3	4	5	
(36)第１次産業の６次産業化又は農商工連携の推進	1	2	3	4	5	
(37)都市と農山漁村の交流促進	1	2	3	4	5	
(38)移住・定住の促進（住宅の取得等支援、ＵＩＪターンの推進など）	1	2	3	4	5	
(39)企業誘致の促進、起業の支援等による雇用の場の確保	1	2	3	4	5	
(40)雇用対策の推進（ハローワークの機能充実、求人情報の提供など）	1	2	3	4	5	
(41)観光関連施設の整備（観光案内看板の設置、街路灯整備など）	1	2	3	4	5	
(42)観光資源の発掘・創出（滞在型・体験型観光の推進など）	1	2	3	4	5	
(43)誘客の促進（観光イベントの開催、観光情報の発信など）	1	2	3	4	5	
(44)外客受入れ体制の充実(近隣市町､観光関連団体との連携など)	1	2	3	4	5	
生活基盤						
(45)国・県道など幹線道路網の整備促進	1	2	3	4	5	
(46)市道の整備（舗装・側溝整備・拡幅など）	1	2	3	4	5	
(47)公共交通の便の充実（鉄道・高速バス・市内路線バスなど）	1	2	3	4	5	
(48)下水路・排水処理施設の整備	1	2	3	4	5	

項　　目	① 満足度					② 優先度
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	
(49)都市計画マスタープランに基づく計画的な土地利用の推進	1	2	3	4	5	
(50)住民の憩いの場の整備充実（公園・緑地・水辺など）	1	2	3	4	5	
(51)住宅・住環境の整備支援（耐震診断、リフォーム支援など）	1	2	3	4	5	
(52)市営住宅の適切な維持管理	1	2	3	4	5	
(53)治山治水事業など防災対策の推進	1	2	3	4	5	
(54)上水道施設の整備等による安全で安定的な浄水の供給	1	2	3	4	5	
教育・文化						
(55)学校教育の振興（施設整備を含む）	1	2	3	4	5	
(56)小中学校の統廃合による学校の適正配置等の推進	1	2	3	4	5	
(57)小中学校施設の耐震化事業の推進	1	2	3	4	5	
(58)幼児教育の振興（施設整備を含む）	1	2	3	4	5	
(59)幼保一元化の推進（施設整備、預かり保育の実施など）	1	2	3	4	5	
(60)学校給食の充実(施設の適切な維持管理、地産地消の推進など)	1	2	3	4	5	
(61)通園・通学における安全性の確保（ｽｸｰﾙﾊﾞｽの運行、通学路の安全対策など）	1	2	3	4	5	
(62)小中学校の統廃合に伴う廃校など遊休施設の有効活用	1	2	3	4	5	
(63)大学関連教育研究機関との交流の促進	1	2	3	4	5	
(64)体験教室や公民館活動など生涯学習活動の振興	1	2	3	4	5	
(65)公民館、図書館など社会教育施設の整備	1	2	3	4	5	
(66)青少年健全育成活動の促進	1	2	3	4	5	
(67)歴史資源や文化財の適切な保全及びその活用	1	2	3	4	5	
(68)市民の芸術・文化活動の振興	1	2	3	4	5	
(69)スポーツ施設の整備充実	1	2	3	4	5	
(70)市民スポーツの振興（地域スポーツ団体等の活動支援など）	1	2	3	4	5	

ここからは、都市計画に関して、より踏み込んだご質問をさせていただきます。

問14　あなたの日常の生活について、お聞きします。次の（ア）～（コ）の活動の主な「行き先」とその際の「主な交通手段（**最も利用する距離が長いもの**）」について、**該当するものを下表からそれぞれ１つ選んで、回答欄①と②に番号を記入**してください。

活動内容	回答欄① （行き先）	回答欄② （主な交通手段）
記入例）「市内」で「自家用自動車」の場合	1	5
（ア）食料品や日用雑貨などの買物		
（イ）衣料品や贈答品などの買物		
（ウ）電気製品、家具、自動車などの購入		
（エ）通勤・通学		
（オ）病院などへの通院		
（カ）日常的な外食		
（キ）映画・音楽・演劇などの鑑賞		
（ク）スポーツ・レクリエーション活動		
（ケ）習い事・サークル活動		
（コ）休日などの余暇		

回答欄①に番号を記入

回答欄②に番号を記入

＜行き先＞			
1	市内	8	千葉市
2	館山市	9	その他の千葉県内
3	南房総市	10	神奈川県
4	勝浦市	11	東京都
5	君津市	12	あまり出かけない
6	富津市	13	その他
7	木更津市	（	）

＜交通手段＞			
1	鉄道	5	自家用自動車
2	路線バス	6	自転車・バイク
3	高速バス	7	徒歩
4	タクシー・ハイヤー	8	あまり出かけない
9	その他（		）

問14－１　食料品や日用雑貨などの買物（問14（ア））は、主にどのような店舗に行かれますか。**最も頻度の高いものを１つ選んで、番号に○印**を付けてください。

1	大型ショッピングセンター	4	近所の個人商店など
2	スーパーマーケット	5	その他（　　）
3	コンビニエンスストアー		

問15　あなたの地域の住み心地について、お聞きします。

回答欄①：お住まいの地域の周辺についてどの程度、満足していますか。

最もお考えに近い内容を回答欄①から１つ選んで、○印を付けてください。

回答欄②：今後、まちづくりを進めていく上でどの程度、重要と思われますか。

最もお考えに近い内容を回答欄②から１つ選んで、○印を付けてください。

住み心地に関する内容（すべての項目についてお答えください）		回答欄①（現状の満足度）				回答欄②（今後の重要度）			
		満足	やや満足	やや不満	不満	とても重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない
記入例）「やや満足」で「とても重要」な場合			○			○			
利便性	1　通勤・通学の便利さ								
	2　鉄道（駅）の利用しやすさ								
	3　路線バスの利用しやすさ								
	4　高速バスの利用しやすさ								
	5　自動車の利用しやすさ（幹線道路の整備状況）								
	6　公園の利用しやすさ								
	7　病院などの医療施設への行きやすさ								
	8　買い物の便利さ								
快適性	9　緑や水辺などの自然の豊かさ								
	10　自然景観の美しさ								
	11　お住まいのまちの景観の美しさ								
	12　お住まいの周辺の土地の使われ方								
	13　宅地の広さやゆとり								
	14　騒音などの公害の少なさ								
安全性	15　身近な道路の安全性（道路の幅や歩道の有無）								
	16　公共施設の段差解消や手すりの使いやすさ								
	17　地震・水害などの自然災害に対する安全性								
	18　まちの防犯対策								

問16　今後の望ましい土地利用や施設整備のあり方について、お聞きします。
　分野ごとに**お考えに近いものを１つ選んで、番号に○印**を付けてください。

① 農地・山林

1　積極的に維持・保全する	4　地域資源として活用する
2　場所によっては、宅地として活用する	5　その他（　　）
3　積極的に宅地として活用する	

② 住宅地

1　密集した住宅地を再整備する	4　新たに住宅地を広げる
2　一部の住宅地を高度利用する	5　現在のままでよい
3　空き地・空き家を有効活用する	6　その他（　　）

③ 商業地

1　駅周辺に拠点となる商業地を形成する	4　現在のままでよい
2　幹線道路沿道に商業施設を充実させる	5　その他（　　）
3　既存の商店（街）を活性化させる	

④ 観光地

1　現在の観光地の機能を充実させる	3　現在のままでよい
2　新たな観光地をつくる	4　その他（　　）

⑤ 工業地

1　漁業関連の基盤を充実させる	3　現在のままでよい
2　新たな工業地をつくり工場等を集積する	4　その他（　　）

⑥ 道路

1　身近な生活道路を整備する	4　既存の道路を維持・管理する
2　周辺市町を結ぶ幹線道路を整備する	5　歩道の整備、道路の段差を解消する
3　幹線道路に接続する道路を整備する	6　その他（　　）

⑦ 公園

1　身近な公園を整備する	3　既存の公園を維持・管理する
2　大規模な公園を整備する	4　その他（　　）

問17　あなたがお住まいの地域の周辺の状況について、お聞きします。

最もお考えに近い内容を回答欄から１つ選んで、○印を付けてください。

項　　目	回答欄			
	思う	少し思う	あまり思わない	思わない
1　空き家が増えてきた				
2　空き地が増えてきた				
3　荒れた農地が増えてきた				
4　荒れた山林が増えてきた				
5　住宅が増えてきた				

問18　今後のあなたがお住まいの地域の土地の利用や建物の建て方について、お聞きします。

お考えに近いものを１つ選んで、番号に○印を付けてください。

1　居住環境を守るため、制限をある程度厳しくした方が良い

2　居住環境は確保しつつも、制限は必要最小限にとどめた方が良い

3　個人の財産として自由に使えるよう、制限は極力行うべきでない

4　地域関係者の合意形成のもと、地域独自のルールにより居住環境などを守る方が良い

5　わからない

6　その他（　　）

問19　最後に、市政全般に関するご意見やご要望、「まちづくり」へのアイデアなど、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございました。
お手数ですが、11 月 25 日（月）までに、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストに投かんいただきますようお願いいたします。

鴨川市のイメージキャクター

ななちゃん　　たいよう君　　まっつー

イメージキャラクターのプロフィール

この子たちは妖精でみんなのお友だち。

鴨川の海が大好きな“たいよう君”は海辺にいる“まっつー”と“ななちゃん”と大の仲良し。

鴨川の人々は鯛にも松にも菜の花にもとってもやさしいので“たいよう君”たちはこのまちが大好きです。